仕様

本　機

品名	BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー
品番	TU-BHD250
使用電源	AC100 V　50 Hz／60 Hz両用
消費電力	電源オン　25 W　（アンテナへの電源供給なし時） 電源オフ　0.5 W 18 W（機能待機時）　（アンテナへの電源供給なし時）
受信衛星	BSAT-2、N-SAT-110
放送方式	衛星デジタル放送方式（日本）
受信周波数	1 032 MHz～2 071 MHz
接続端子	BS・110度CS-IF入力端子　：－61 dBm～－28 dBm、75 Ω コンポーネントビデオ出力端子：D4／D3／D2／D1映像 （（Y）1.0 V[p-p]、75 Ω （P_B、P_R）0.7 V[p-p]、75 Ω） 音声（250 mV[rms]（標準）、2.2 kΩ以下） 出力1／出力2端子　：S1／S2映像（（Y）1.0 V[p-p]、75 Ω （C）0.286 V[p-p]、75 Ω） 映像（1.0 V[p-p]、75 Ω） 音声（250 mV[rms]（標準）、2.2 kΩ以下） デジタル音声出力（光）端子：－18 dBm 660 nm EIAJ CP-1201準拠 i.LINK端子（2系統）　：IEEE1394準拠　4ピン、S200、MPEG2-TS信号 電話回線端子　：V.22bis（2 400 bps）、MNP4（着呼機能なし） Irシステム端子　：Irシステムケーブル用
アンテナ電源供給	DC15 V、最大4 W（右旋円偏波時） DC11 V、最大3 W（左旋円偏波時）
外形寸法	幅28 cm・高さ6.7 cm（脚含む）・奥行き27.7 cm（端子含まず）
質量	2.0 kg
環境条件	使用周囲温度 0 ℃～40 ℃　使用周囲湿度 10 %～80 %（結露のないこと）

リモコン（品番：TNQE241-1）

使用電源	DC3 V（単3形乾電池2個使用）
リモコン操作距離	約7 m以内（チューナー正面距離）
質量	120 g（乾電池含まず）

● 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

※ 本機を使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
（This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.）

愛情点検　**長年ご使用のチューナーの点検を！**

このような症状はありませんか？

●映像も音も出ない。
●映像が時々消える。
●異常な臭いや音がする。
●水や異物が入った。

▶ このような症状のときは使用を中止し、故障や事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ
おぼえのため記入されると便利です。

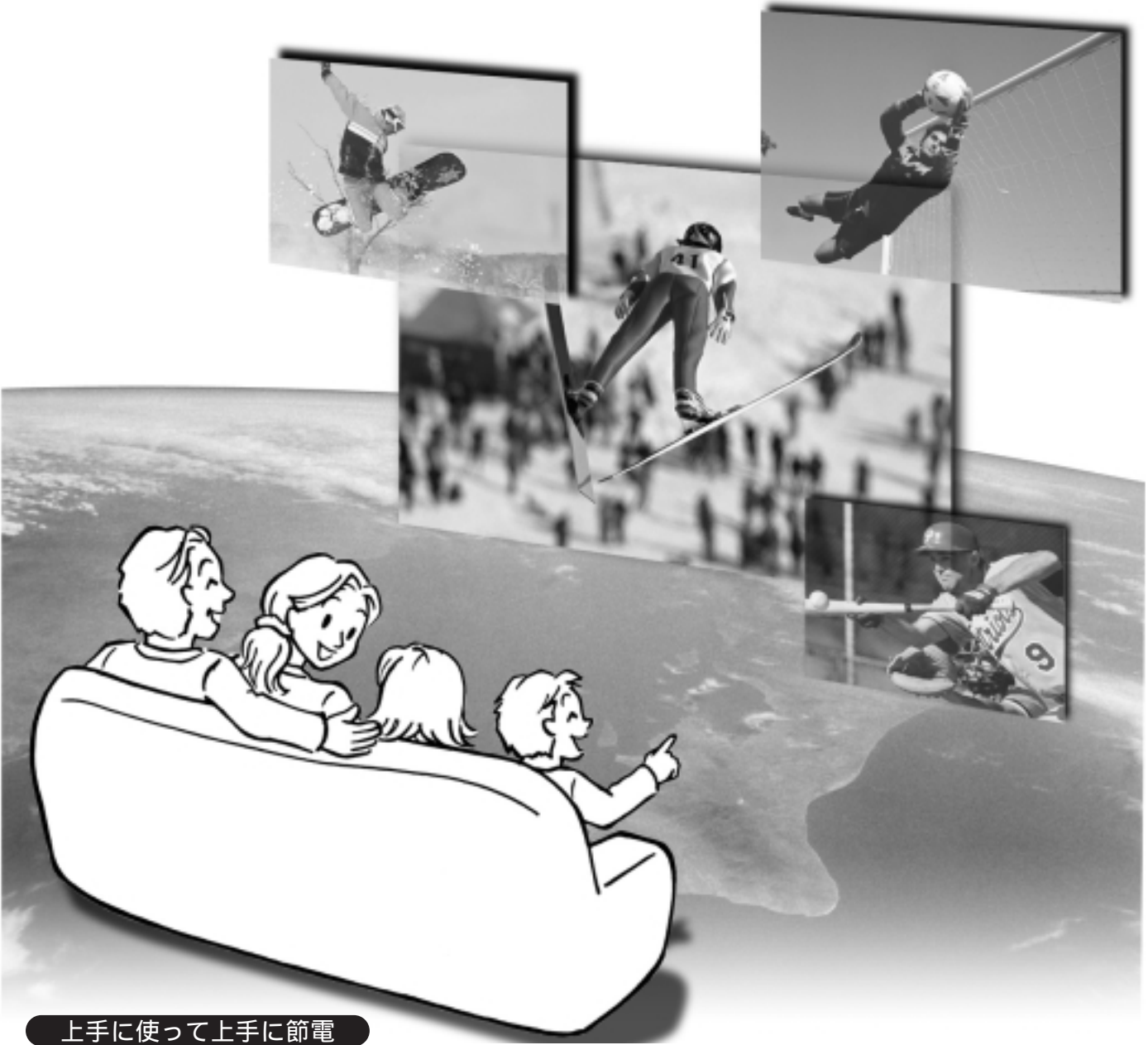
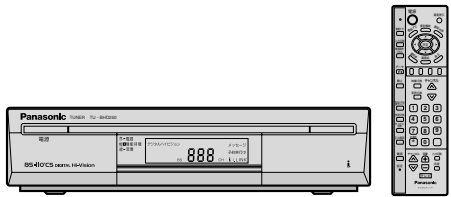
お買い上げ日	年　月　日	品　番	TU-BHD250
販売店名	☎（　）－	お客様ご相談窓口	☎（　）－
ID番号 （19ページに記載の「インフォメーション」画面の「B-CASカード」、「ID表示」で確認できる「カードID」と「デコーダーID」の番号を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。）	カードID（B-CASカード番号）		
	デコーダーID		

松下電器産業株式会社　テレビシステムプロダクツ事業部
〒567－0026　大阪府茨木市松下町1番1号

S0202-2062C

Panasonic

BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー
取扱説明書

品番 **TU-BHD250**

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、パナソニックBS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

● この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
● 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
● 製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

TQBP0049

はじめに

本機は、BS・110度CSデジタル放送を受信するためのチューナーです。
アンテナ、電話回線を接続のうえ、付属のB-CASカードを挿入すれば、お手持ちの映像・音声入力端子付きテレビなどでBS・110度CSデジタル放送が視聴できます。（視聴契約が必要なチャンネルもあります）

特長

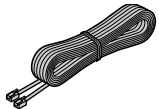
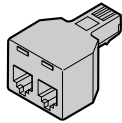
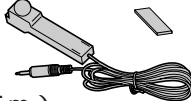
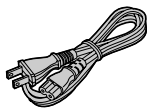
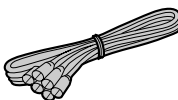
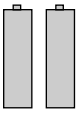
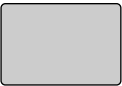
● **BS・110度CSデジタル放送に対応**
本機は、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送に対応しています。

● **D端子を装備**
本機は、コンポーネントビデオ信号を出力するD端子（D4／D3／D2／D1切り換え可能）を装備しています。D端子付きテレビやコンポーネントビデオ入力端子付きの機器に接続すれば、高画質な映像をお楽しみいただけます。

● **EPG（電子番組ガイド）機能**
新聞のテレビ欄と同様の番組表を最大8日間まで表示できます。また、チャンネル一覧やジャンル別に表示する機能もあり簡単に選局できます。

● **ｉ．ＬＩＮＫ端子を装備**
i.LINK対応の当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー（HDR）を接続すれば、録画予約が簡単に行えます。また、本機のリモコンで基本的な操作が行えます。

次の点にご留意ください。

■本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■付属のB-CAS（ビーキャス）カードはBS・110度CSデジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合はただちにB-CAS（ビーキャス）〔（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕カスタマーセンターへご連絡ください。なお、お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。（9ページ参照）

■本機から電話回線を通じて通信を行うと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

■本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については本機に接続されたテレビの画面でご確認ください。

付属品の確認を

□リモコン	□モジュラーケーブル	□モジュラー分配器（2分配用）	□Irシステムケーブル（両面テープ付属）
1個（品番：TNQE241-1）	1本（10 m）	1個	1個（1.5m）
□電源コード	□映像・音声コード	□リモコン用単3形乾電池	□B-CAS（ビーキャス）カード
1本（1.7 m）	1組（1.5 m）	2個	1枚

視聴するまでの流れともくじ

お買い上げ後、はじめてお使いになるときの流れを説明します。

1 **付属品を確認する**（2ページ）

2 **リモコンに乾電池を入れる**（15ページ）

3 **各機器を接続する**
- アンテナ（22ページ）
- テレビ（23、24ページ）
- 電話回線（25ページ）
- 録画機器（26ページ）
- i.LINK対応機器（27ページ）
- デジタル音声入力端子付きオーディオ機器（28ページ）

4 **B-CASカードを挿入する**（29ページ）

5 **テレビが本機からの信号で受像できるようにテレビ側の入力切り換えをする**

6 **本機の電源プラグを電源コンセントに接続し、電源をオンにする**（30ページ）

7 **「設置設定」画面から「初期設定」画面に切り換える**（31ページ）

8 **初期設定を行う**
- アンテナ設定（32ページ）
- 電話設定（34ページ）
- 地域設定（38ページ）
- 接続テレビ設定（40ページ）
- B-CASカードテスト（44ページ）
- CS受信選択（45ページ）

9 **「設置設定」画面を消去する**（45ページ）

番組を楽しむ（46ページ）

商標について
●i.LINKはIEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様、i はi.LINKに準拠した製品につけられるロゴです。i.LINK、i は商標です。
●D-VHSは、日本ビクター株式会社の登録商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	意味
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

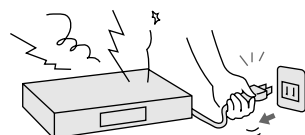
■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

絵表示	意味
⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

⚠ 警告

異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

■ 故障や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！

煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですからおやめください。

■ 内部に異物や水などが入ったり、落としたり、カバーが破損したら、電源プラグを抜く！

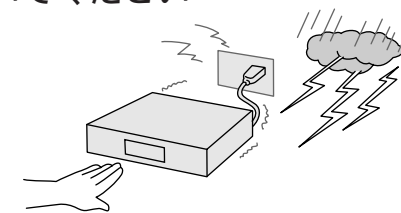
● 4 ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

⚠ 警告

■ 異物を入れないでください

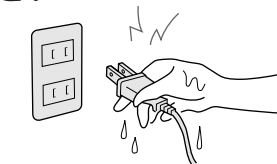
通風孔やB-CASカード挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

● 特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴り出したら、機器やケーブルには触れないでください

感電の原因となります。

■ コンセントや配線機器の定格を超える使い方や交流100 V以外での使用はしないでください

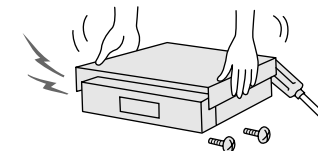
たこ足配線などで、定格を超えると発熱による火災・感電の原因となります。

■ ぬれた手で電源プラグの抜き差しは、しないでください

感電の原因となります。

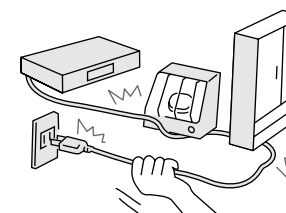
■ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ カバーを外したり、改造したりしないでください

内部に触れないでください。火災・感電の原因となります。

● 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったり重いものを載せたり束ねたりしないでください。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

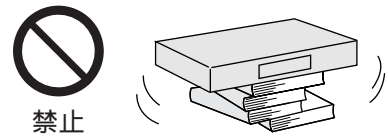
● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

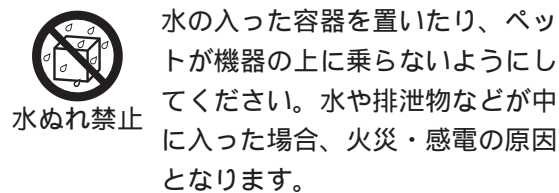
■ 電源プラグのほこりは定期的に掃除をしてください

湿気等で絶縁不良となり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠警告

■ **不安定な場所に置かないでください**

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと倒れたり、落ちたりしてけがの原因となります。

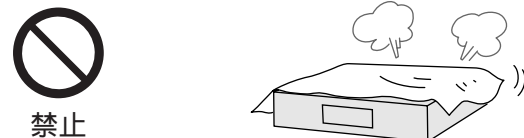
■ **水が入ったり、ぬらしたりしないようにしてください。**

水の入った容器を置いたり、ペットが機器の上に乗らないようにしてください。水や排泄物などが中に入った場合、火災・感電の原因となります。

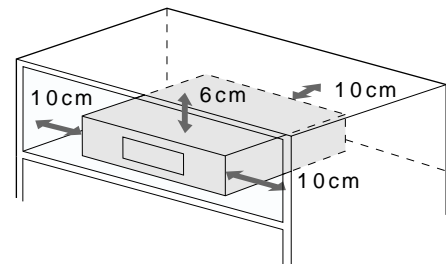
■ **デジタル音声出力（光）端子のカバーは幼児の手の届かないところへ保管してください**

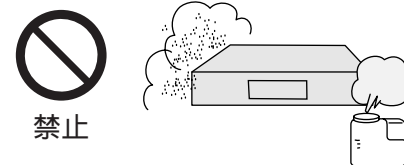
お子様が誤って飲み込むと、窒息死する恐れがあります。

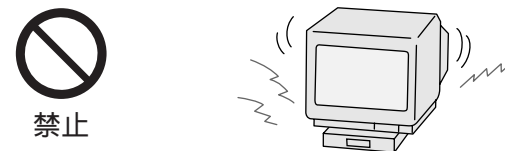
- 万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
- 特に小さなお子様にはご注意ください。

⚠注意

■ **通風孔をふさがないでください**

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

- テレビ台などに設置した場合、上側が6 cm以上、左右と後側が10 cm以上の間隔をあけて据えつけてください。

- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。

■ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所に置かないでください**

調理台や加湿器のそばなどに置くと火災・感電の原因となることがあります。

■ **上に重い物を置かないでください**

バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■ **長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください**

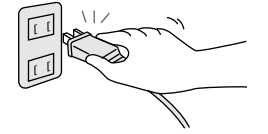
電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■ **移動されるときは、必ず接続線を外してから行ってください**

コードや接続している機器が傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

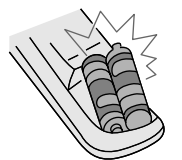
- 電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線を外したことを確認のうえで行ってください。

■ **電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください**

コードを引っぱると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■ **機器に乗らないでください**

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

■ **電池を入れるときには、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください**

機器の表示通り正しく入れてください。
間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ **アンテナ工事には、技術と経験が必要です**

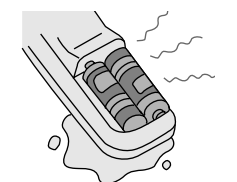
販売店にご相談ください。

- 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- 特に受信用アンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

■ **新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください**

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お手入れについて

■ **お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください**

感電の原因となることがあります。

■ **1年に一度は内部の清掃を販売店にご依頼ください**

機器の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。
なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

デジタル放送について

デジタル放送の特長

デジタル放送では、デジタル信号の圧縮技術により多くの情報を送ることができるようになりました。
デジタル放送では、次のような特長があります。

デジタルハイビジョン

デジタル放送には、デジタルハイビジョン放送があります。ハイビジョンの走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。デジタルハイビジョン放送の画質で映像を楽しむためには、デジタルハイビジョン対応のテレビに接続する必要があります。なお、デジタルハイビジョン放送に対応していないテレビでも、接続されるテレビに応じた画質で映像を楽しむことはできます。
また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

多チャンネル放送

デジタル信号の圧縮技術により、チャンネル数が増えました。
テレビ放送以外にラジオ放送、データ放送もあり、大幅にチャンネル数が増えます。

電子番組ガイド（EPG：Electronic Program Guide）

デジタル放送では、約8日分の番組情報が送られてきます。画面上に番組表を表示させ、番組表から番組を選んだり、番組の詳細情報も表示させることができます。また、お気に入りの番組を事前に予約したり、好きなジャンルの番組を検索することもできます。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることなどができます。例えば、お客様の住んでいる所の天気予報をいつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送や、ラジオ放送に連動したデータ放送もあります。その他に、電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向（インタラクティブ）サービスなどが行われます。

マルチビュー放送

マルチビュー放送では、1チャンネルで主番組、副番組の複数映像を放送します。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

サラウンド・ステレオ

AAC方式の音声により、最大5.1チャンネルのサラウンド音声の番組も行われ、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。ただし、AAC方式の音声に対応したオーディオ機器を本体に接続する必要があります。[5.1チャンネル：5チャンネルステレオ＋低域強調チャンネル]

BSデジタル放送

放送衛星（Broadcast Satellite）を使って行う放送で、高画質のデジタルハイビジョン放送をメインにした放送です。

110度CSデジタル放送

通信衛星（Communication Satellite）を使って行う放送で、ニュース・映画・スポーツ・音楽などの専門チャンネルをメインにした放送です。

＜お問い合わせ先＞

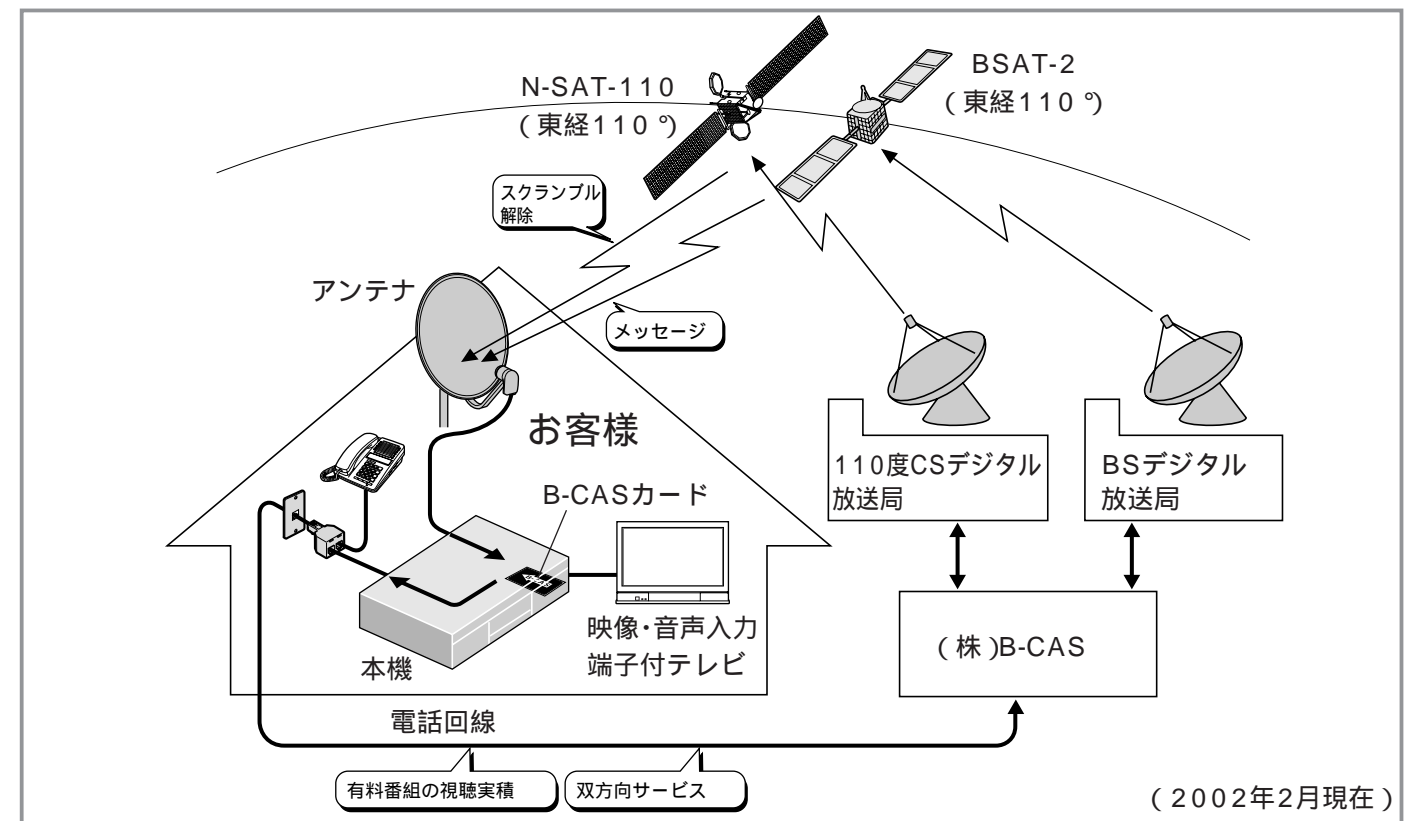
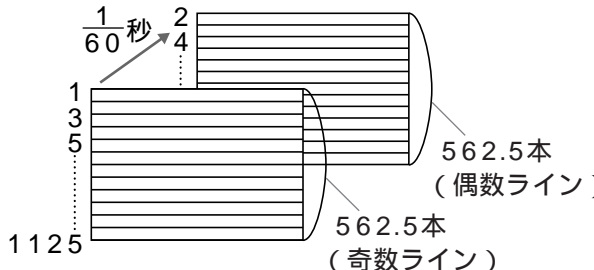
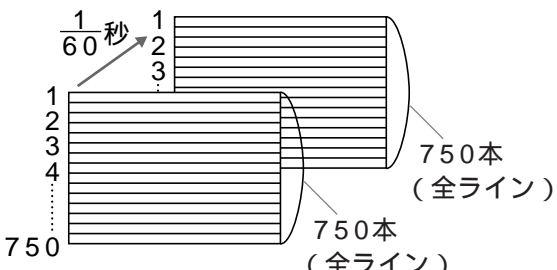
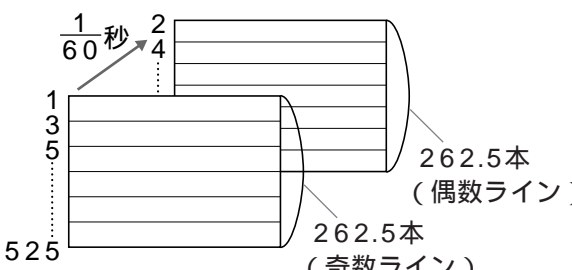
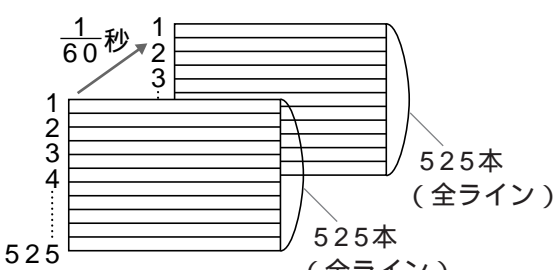
プラットワン・カスタマーセンター
0570－001－012（ナビダイヤル）
（携帯電話・PHSからは、045－227－9650）
受付時間　10：00～20：00（年中無休）

スカイパーフェクTV！2　カスタマーセンター
（2002年4月1日より）
0570－088－222（ナビダイヤル）
（携帯電話・PHSからは、045－339－0002）
受付時間　10：00～20：00（年中無休）

B-CASカードによる限定受信システム（CAS）のしくみ

BS・110度CSデジタル放送では、限定受信システム（CAS）を使って視聴者の受信状況を管理します。本機に付属のB-CASカードを本機に挿入しておくと、有料番組の契約・購入状況や双方向サービスの情報がB-CASカードに記憶されます。その情報は電話回線を使って（株）B-CASへ自動送信され管理されます。

- **限定受信システム（CAS：Conditional Access Systems）とは**
  限定受信システム（CAS）とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル（放送内容をわからなくする技術）を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。スクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用しているので、有料放送を契約していない視聴者もB-CASカードの登録が必要です。
- **（株）B-CASとは**
  BSデジタル放送の限定受信システム（CAS）を管理するため設立された（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行・管理をしています。110度CSデジタル放送も同システムを使用します。
- **双方向サービスとは**
  データ放送で行われるサービスの1つで、電話回線を使い番組に連動して、放送局と視聴者で双方向のやり取りができます。たとえばテレビ画面を見ながらのショッピングやチケットの予約、クイズへの解答など楽しいサービスが考えられています。双方向サービスを利用するためには必ずB-CASカードの登録と電話回線の接続をしてください。

（2002年2月現在）

B-CASカードを必ずご登録ください（登録無料）

付属のB-CASカードの梱包に記載の文面をよくお読みのうえB-CASカードを必ずご登録ください。（登録無料）

B-CASカードはお客様とBS放送局をつなぐカードです。このカードには個々のお客様独自の番号などが記録されています。
ご登録いただくと双方向サービスが利用可能となり、お客様が放送局からのメッセージを受信できるようになります。

お問い合わせ先　B-CASカスタマーセンター　TEL：0570-000-250

デジタル放送の画質について

デジタル放送には、デジタルハイビジョン放送（HD）とデジタル標準テレビ放送（SD）があります。各放送には2種類の画質があり、下記の4種類の画質の映像信号が送られてきます。

■本機のコンポーネントビデオ出力端子から出力される映像信号について

D端子出力の設定により、放送局から送信される信号方式［1125i、750p、525i、525p］を本機は下表のように出力しています。D端子出力の設定については42ページをご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">放送局から送信される信号方式</th><th colspan="5">「D端子出力の設定」により本機から出力される信号方式</th></tr>
<tr><th>525i固定 の場合</th><th>1125i固定 の場合</th><th>D3 の場合</th><th>D2 の場合</th><th>D4 の場合</th></tr>
<tr><td rowspan="2">HD</td><td>1125i の放送</td><td rowspan="2">525i に変換して出力します</td><td>1125i をそのまま出力します</td><td>1125i をそのまま出力します</td><td rowspan="2">525p に変換して出力します</td><td>1125i をそのまま出力します</td></tr>
<tr><td>750p の放送</td><td rowspan="3">1125i に変換して出力します</td><td>1125i に変換して出力します</td><td>750p をそのまま出力します</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SD</td><td>525i の放送</td><td>525i をそのまま出力します</td><td>525i をそのまま出力します</td><td>525i をそのまま出力します</td><td>525i をそのまま出力します</td></tr>
<tr><td>525p の放送</td><td>525i に変換して出力します</td><td>525p をそのまま出力します</td><td>525p をそのまま出力します</td><td>525p をそのまま出力します</td></tr>
</table>

※「1125i 固定」にすると525i、525p は1125i に変換されますが、画質は525i、525p と同等になります。

使用上の留意点

本機をご使用中は、下記の内容をお守りください。

電話回線の接続が必要です

BS・110度CSデジタル放送では、電話回線を使って料金管理や視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機にはNTTの2線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS／20 PPS）の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できない場合があります。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（1 032 MHz～2 071 MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ状態でも、自動的にBS・110度CSデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行っています。

天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。

降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

長時間動かない画像を映さないでください

本機に接続されたテレビやプロジェクターに、動かない画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残る恐れがあります。動かない画像を長時間映さないでください。

視聴記録の送信について

B-CASカードに記録される視聴記録データは、定期的に電話回線を通じ（株）B-CASへ自動送信されます。データ送信の電話料金は無料ですが、データ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。

操作できなくなった場合は

受信異常により、本機の操作ができなくなった場合は操作ボタン扉を開けてリセットボタンを押してください。

本機に付属しているB-CASカード以外のものを挿入しないでください

B-CASカード挿入口には、正規のB-CASカード以外のものを挿入すると本機が故障したり破損することがあります。

ダウンロードを実行するには、本機の電源をオフにしてください。

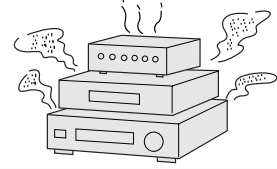
電源プラグをはずして電源「切」の状態にしたり、電源オンにしているとダウンロードが実行されません。

ダウンロードを実行するには、本機の電源プラグをコンセントに接続し、電源オフの状態にしてください。

本機の通風孔をふさがないようにしてください

本機は放熱のため、天面の一部で温度が高くなります。品質、性能には異常ありませんが、内部温度の上昇をおさえるため通風孔をふさがないようにして、風通しのよい所に設置してください。

本機の上に他の機器を置いたり、他の機器の上に本機を置かないでください。

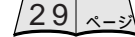
他の機器の放熱によって本機の内部温度が上がり、故障の原因となることがあります。

各部のなまえと働き

本機

（ページ）はその項目の説明ページを示しています。

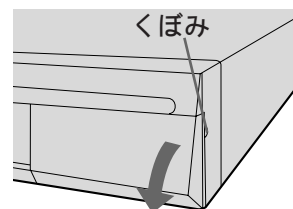
前　面

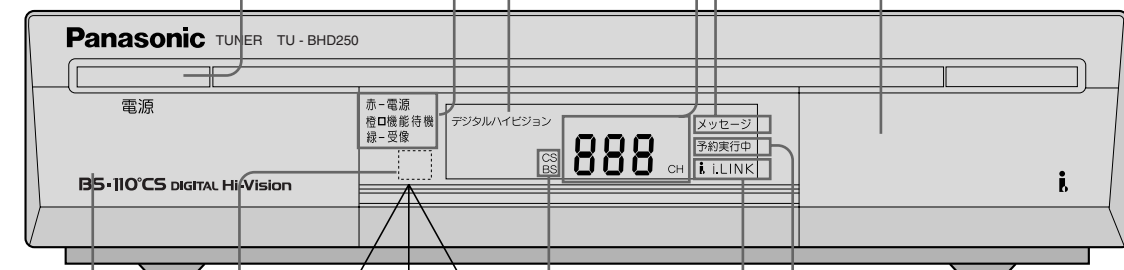
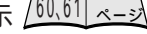
チャンネル表示部
通常はチャンネル番号が表示されます。
アンテナ入力レベル値などを表示する場合もあります。

電源表示ランプ 30ページ
緑色（電源オン）……映像・音声信号を出力しています。
赤色（電源オフ）……映像・音声信号を出力していません。
橙色（電源オフの機能待機状態）…映像・音声信号を出力していません。ただし、i.LINK接続された機器からの制御は受け付けます。（93ページ参照）

電源ボタン 30ページ
押すごとに、映像・音声信号の出力をオン／オフできます。

デジタルハイビジョン表示
デジタルハイビジョン放送を受信中は表示します。

メッセージ表示 74ページ
メールによるメッセージが届いたときや、まだ読んでいないメッセージがある場合に表示します。

B-CASカード挿入扉 29ページ
［扉の開けかた］

くぼみに指をかけ扉を手前に引いて開けてください。

B-CASカード挿入口

リモコン受光部
正面で約7m以内

操作ボタン扉
B-CASカード挿入扉と同様に、扉を開けると下記のボタンが操作できます。

BS表示、CS表示
BSデジタル放送または110度CSデジタル放送受信中に表示します。

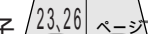
予約実行中表示 60,61ページ
予約を実行しているときに表示します。
予約操作で「録画」を選択された番組が始まっているときに本機前面の電源ボタン以外のボタンを操作すると操作無効表示として点滅します。

リモコン受光部に向けて操作してください。

i.LINK表示 84ページ
i.LINK使用中に表示します。

番組ナビボタン 18ページ
「番組ナビ」画面を表示させたり消したりできます。

決定ボタン
項目の決定や実行ができます。

機器ナビボタン 19ページ
「機器ナビ」画面を表示させたり消したりできます。

リセットボタン
受信異常により本機の操作ができなくなった場合に先端の細いもので軽く押します。（先のとがったものは使用しないでください）

▲▼◀▶ボタン
画面上での項目選択や設定切り換えができます。

戻るボタン
各種の選択や設定画面で1つ前の画面に戻せます。

お願い
● 予約操作で「録画」を選択した番組の受信中は、本機前面の電源ボタン以外本機の操作ができませんが、リセットボタンを押さないでください。

後　面

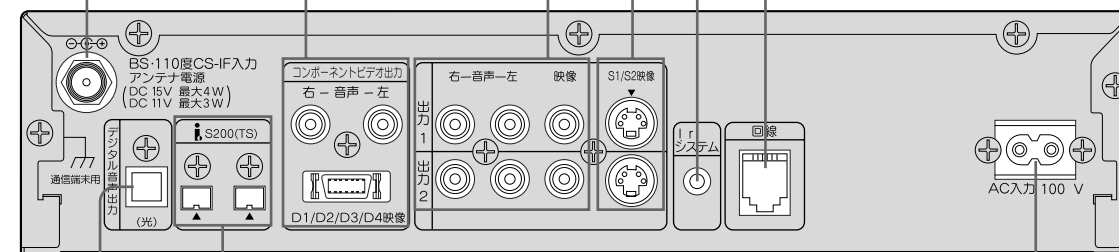
出力1／2 映像・音声（左・右）端子 23,26ページ
映像・音声信号の出力端子です。

コンポーネントビデオ出力端子 24ページ
D4／D3／D2／D1映像・音声信号の出力端子です。

BS・110度CS－IF入力端子 22ページ
アンテナからの信号を入力する端子です。

出力1／2　S1／S2映像端子 23,26ページ
S1／S2映像信号の出力端子です。
S、S1、S2映像入力端子付きのテレビ／ビデオデッキと接続できます。

Irシステム端子 26ページ
付属の Irシステムケーブルを接続すればビデオデッキなどの録画機器に対し、録画するためのリモコン信号が出力できる端子です。使用できる録画機器とメーカーについては98ページをご覧ください。

回線接続端子 25ページ
電話回線を接続する端子です。

i.LINK端子 27ページ
i.LINK対応機器を接続する端子です。
本機で制御できるi.LINK対応機器は当社製D-VHSビデオデッキとハードディスクビデオレコーダーです。
S200は最大データ転送速度を表しており、本機は最大で約200 Mbpsのデータ転送が行えます。（84ページ参照）

AC入力端子 30ページ
付属の電源コードを接続する端子です。

B-CASカードの抜き差し時や異常時以外は、本機に接続した電源コードのプラグはAC100 Vの電源コンセントに接続しておいてください。
本機は電源がオフ状態でも自動的にBS・110度CSデジタル放送からの情報を受信したり、視聴記録の送信を行っています。

デジタル音声出力（光）端子 28ページ
デジタル音声の光出力端子です。
使用される場合はカバーを外して光角型端子用ケーブルを接続してください。

お知らせ
● 出力1、出力2の端子からは同じ信号が出力されます。
● BS・110度CS-IF入力端子は、アンテナ電源（32ページ参照）の設定が「オン」の場合に接続されたアンテナ線を通してアンテナのコンバーターへDC15 Vを供給します。

リモコン

ページ はその項目の説明ページを示しています。

リモコン操作表示ランプ
リモコンボタンを押している間、点滅します。乾電池が消耗すると暗くなりますので乾電池交換の目安にしてください。

電源ボタン 30ページ
押すごとに映像・音声信号の出力をオン／オフできます。

画面表示ボタン 70ページ
現在選局中の番組の情報が画面に表示されます。

便利機能ボタン 17ページ
便利機能が使える画面で押せば、画面に関連した便利なメニューが表示されます。

機器ナビボタン 19ページ
「機器ナビ」画面を表示させたり消したりできます。
「機器ナビ」画面：本機に接続の機器の操作や本機のシステム設定画面に展開するメニュー画面

入力切換ボタン 85ページ
BS・110度CSデジタル放送画面とi.LINK接続機器の映像を切り換えることができます。

機器操作パネルボタン 85ページ
i.LINK接続機器を制御する機器操作パネルを表示できます。

データボタン 76ページ
データ放送の番組でデータ放送画面を表示できます。

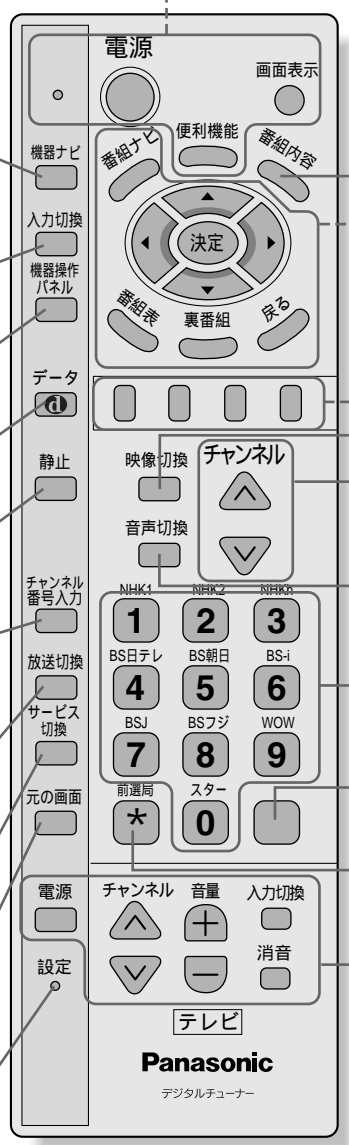
静止ボタン
映像を静止させたり、静止状態を解除することができます。

チャンネル番号入力ボタン 49ページ
チャンネル番号を数字ボタンで直接入力して選局するための「チャンネル番号入力」画面が表示できます。

放送切換ボタン 48ページ
BSデジタル放送と110度CSデジタル放送のプラットワンとスカイパーフェクTV！2の放送に切り換えることができます。

サービス切換ボタン 81ページ
サービス（テレビ、ラジオ、データ）を切り換えることができます。

元の画面ボタン
番組ナビや番組表、機器ナビなどのメニュー画面の状態から選局している放送の画面に戻ります。

リモコン信号設定ボタン 100ページ
本機操作用またはテレビ操作用のリモコン信号の設定を変える場合に使用します。

番組内容ボタン 71ページ
現在選局中または選択中のチャンネルや番組などの「番組内容」画面を表示させたり、消したりできます。

番組ナビボタン 18ページ
「番組ナビ」画面を表示させたり、消したりできます。
「番組ナビ」画面：番組関係とインフォメーションに展開するメニュー画面

番組表ボタン 50ページ
「番組表」画面を表示させたり、消したりできます。

裏番組ボタン 81ページ
現在放送中の「裏番組」画面を表示させたり、消したりできます。

▲▼◀▶ボタン
画面上での項目選択や設定切り換えができます。

決定ボタン
項目の設定や実行ができます。

戻るボタン
各種の選択や設定画面で1つ前の画面に戻せます。

青色ボタン **赤色ボタン** **黄色ボタン** **緑色ボタン**
「番組表」画面などで番組表を表示させる日付の切り換えや画面に各色ボタンが使用できる表示があるときに使用できます。51ページ
また、データ放送で使用する場合もあります。

映像切換ボタン 72ページ
複数の映像がある番組やマルチビュー放送の場合に他の映像に切り換えることができます。

チャンネル∧∨ボタン 49ページ
チャンネルを順送り選局できます。

音声切換ボタン 72ページ
複数の音声がある番組の場合に他の音声に切り換えることができます。また二重音声の切り換えもできます。

数字ボタン
プリセット選局（49ページ参照）や数字入力用の画面などで数字入力ができます。

＃ボタン 78ページ
「お好み選局」画面を表示できます。
また、「郵便番号設定」などで入力した数字の最後の桁を1つずつ消すことなどができます。

前選局ボタン 81ページ
現在選んでいるチャンネルと前回選んでいたチャンネルを切り換えることができます。

テレビ操作用ボタン 101ページ
リモコンにテレビメーカーを設定すれば、設定したメーカーのテレビの主な操作ができます。

お知らせ
- **リモコンの操作は**
本機は接続されたテレビの画面上に各種選択／設定画面や操作説明を表示しますが、実際の操作は本機のリモコン受光部（12ページ参照）に向けて行ってください。ただし、テレビ操作用ボタンの操作については、テレビのリモコン受光部に向けて行ってください。
- 本機のリモコンでテレビの操作を行う場合は、テレビメーカーの設定が必要です。（101ページ参照）
- 数字ボタンの上に表示されている放送事業者名は、他のページではイメージイラストのため、表示されていないイラストがあります。

乾電池の入れかた

1 ふたを開ける

2 付属の単3形乾電池を入れ、ふたを閉める
（⊖側から先に入れます）

お願い
- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないようにしてください。
- 充電式電池は使用しないでください。

各種絵表示の意味は

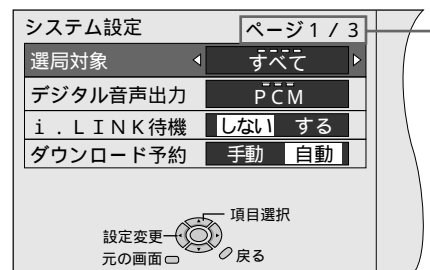
本機はテレビの画面上に操作が必要な情報を表示します。
画面の表示を見ながらご活用ください。

メニュー画面の絵表示について

操作ボタンの絵表示

現在時刻表示
電話回線使用中表示
未読メール表示

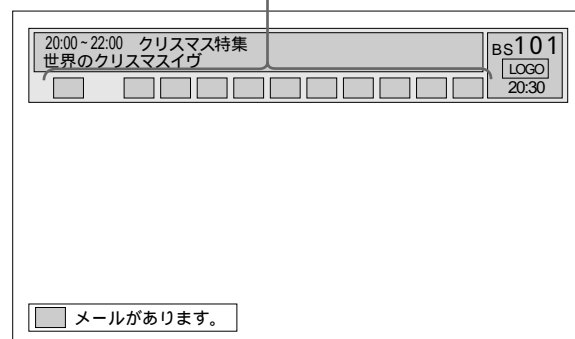
操作ボタンの絵表示は、表示されている画面で操作するボタンを示しています。また、元の画面ボタンの絵表示が出ているときは、元の画面ボタンを押せば、表示されている画面を消して選局している放送の画面に戻せます。
その他に現在時刻の表示、電話回線使用中の表示、未読メールありの表示がメニュー画面に表示されます。

画面にページ表示が出ているときは

ページ表示

ページ表示のある画面は、複数の画面で構成されていることを示しています。
ボタンで下へ移動させていけば、次のページに移り、上へ移動させていけば前ページに戻ります。

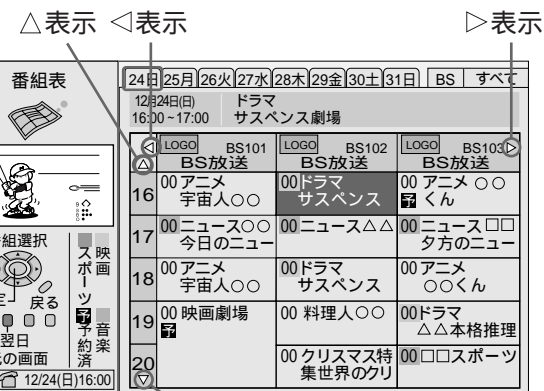
アイコン表示は

（例）

アイコン

画面表示ボタンを押したときや、各種一覧画面を出したときなど画面上部にシンボルマークによる情報表示としてアイコンが表示されます。
アイコンの種類と意味は103ページをご覧ください。

各種一覧画面内の▲▼◀▶表示は

（例）

△表示 ◁表示 ▷表示

▽表示

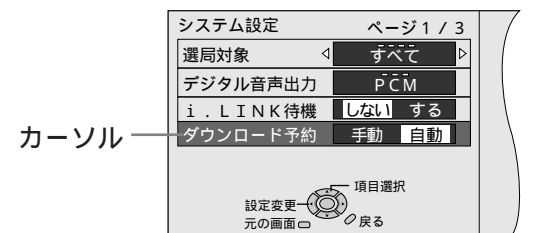
一覧画面の中に上下または左右に表示される△▽◁▷表示が黄色表示のときは選べる情報がまだあることを示します。
表示と同じ向きの▲▼◀▶ボタンを押せばその情報を表示させることができます。

説明書に記載している各種イラストおよびマークの意味は

ボタンイラスト（決定、▲▼◀▶、決定、番組ナビ など）について

この説明書に記載しているボタンのイラストは、操作に使用するボタンを示しています。

カーソルについて

この説明書に記載しているカーソルとは、▲▼または◀▶ボタンを押すことにより画面上で移動する黄色表示のことです。
どの項目を選んでいるかを示しています。

カーソル

便利機能マーク（便利機能）について

この説明書で便利機能マークを付けている所は、この画面で便利機能ボタンを押せば、便利機能メニューが表示されます。
便利機能メニューはボタンを押した画面から便利なメニューが表示されます。

（例）

番組視聴中の場合

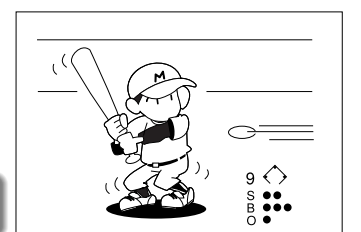
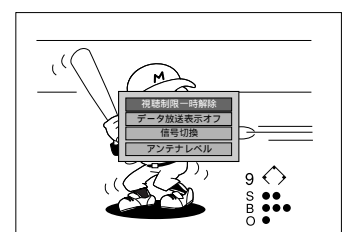
操作方法

1 便利機能 **ボタンを押す**

2

①項目を選び、
②押す

（例）

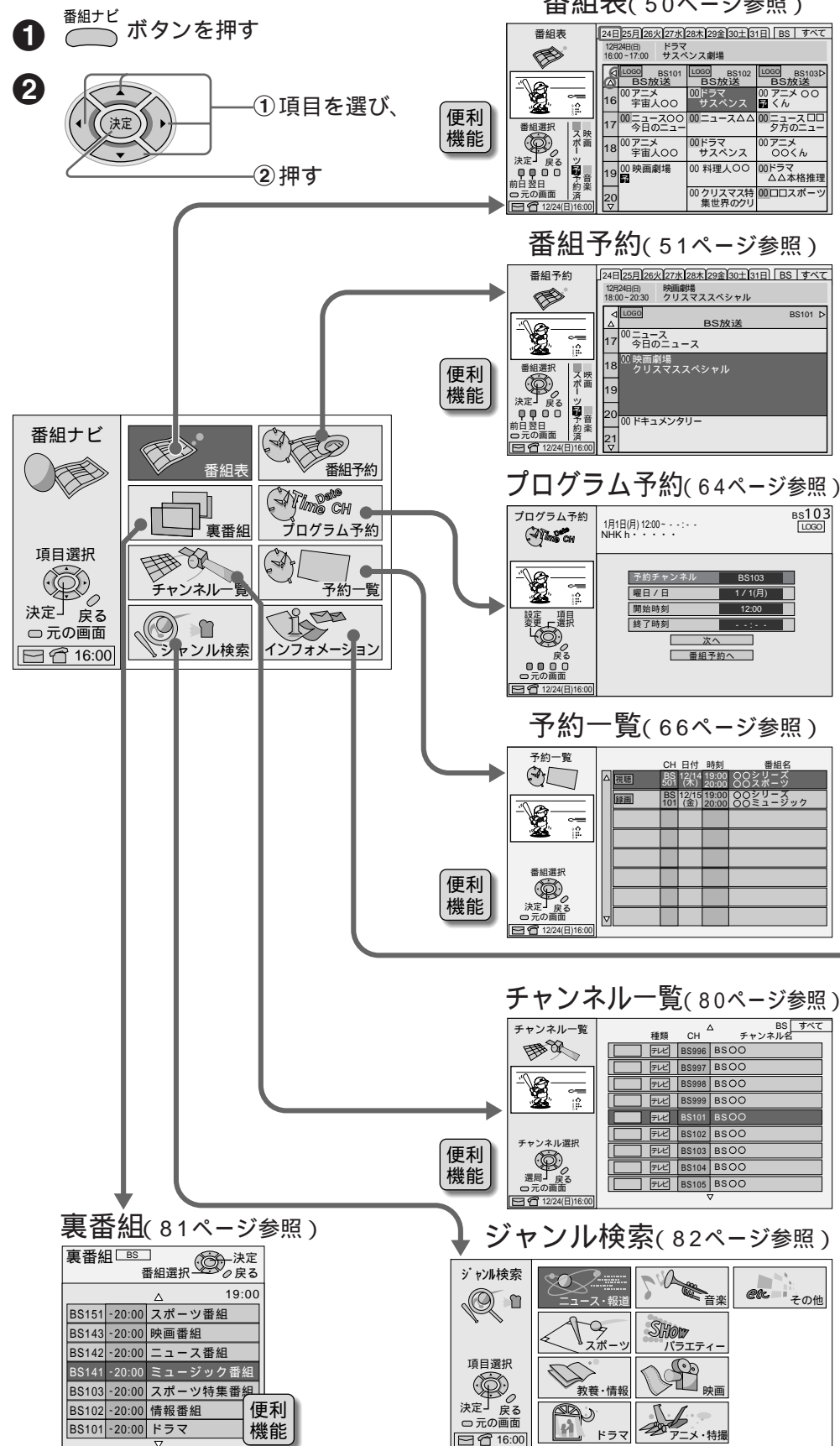
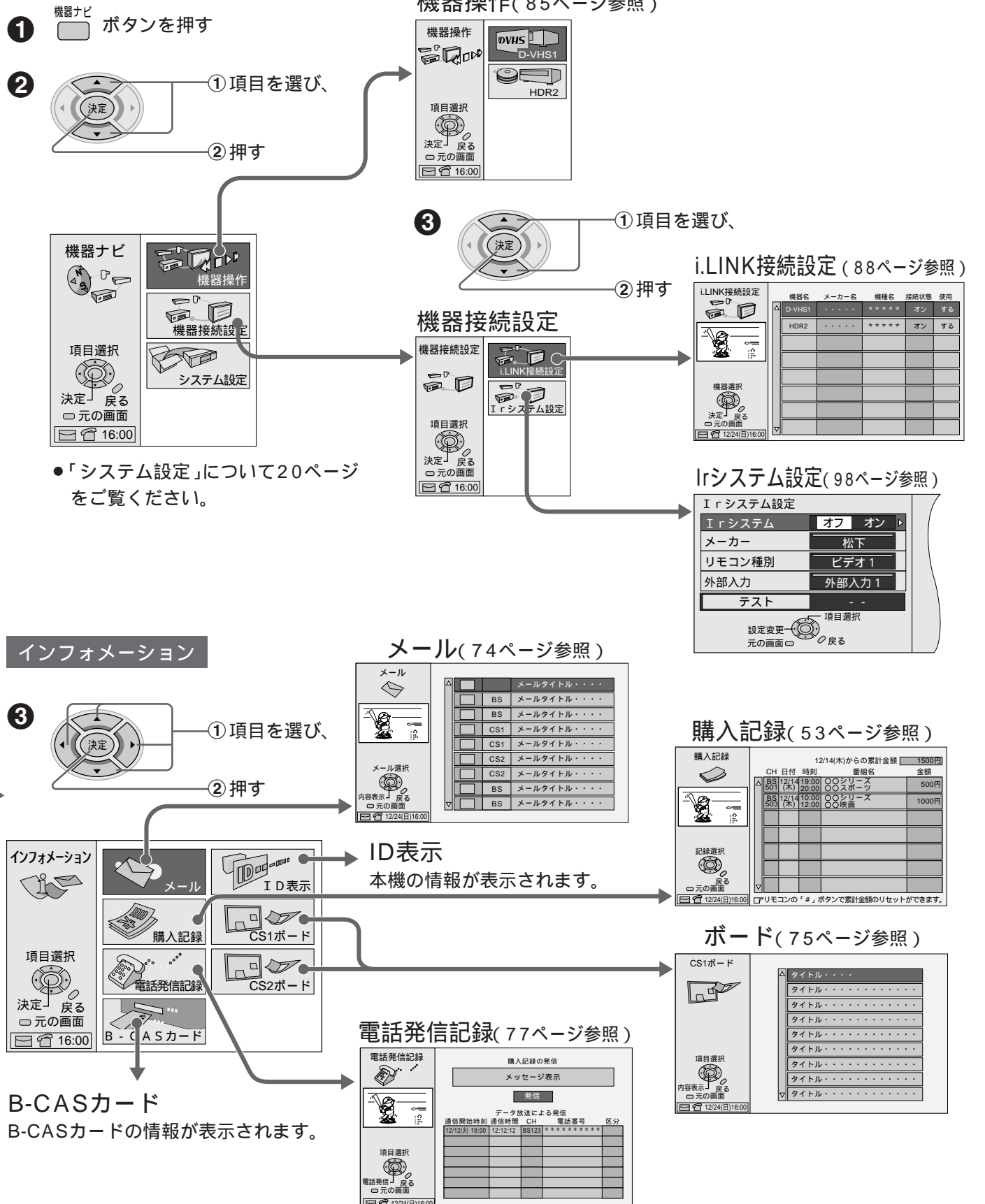
● 便利機能メニューの中には◀▶ボタンで切り換える項目もあります。

お知らせ

● 便利機能メニューを消したいときは、再度便利機能ボタンを押します。

お願い

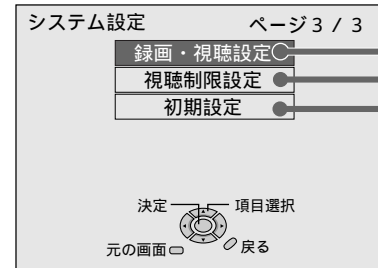
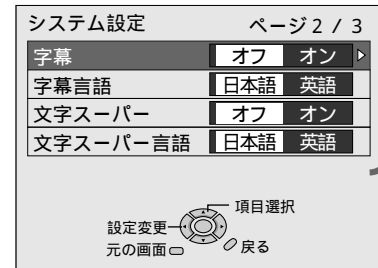
● 便利機能メニューはさまざまな画面から利用できますが、この説明書に記載の操作方法を十分に習得してから便利機能メニューを活用してください。

メニュー画面からの操作について

メニュー画面から操作する場合、ご希望の選択や設定をする画面が、どの画面から展開しているかを表しています。なお各項目の詳細については該当のページをご覧ください。

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

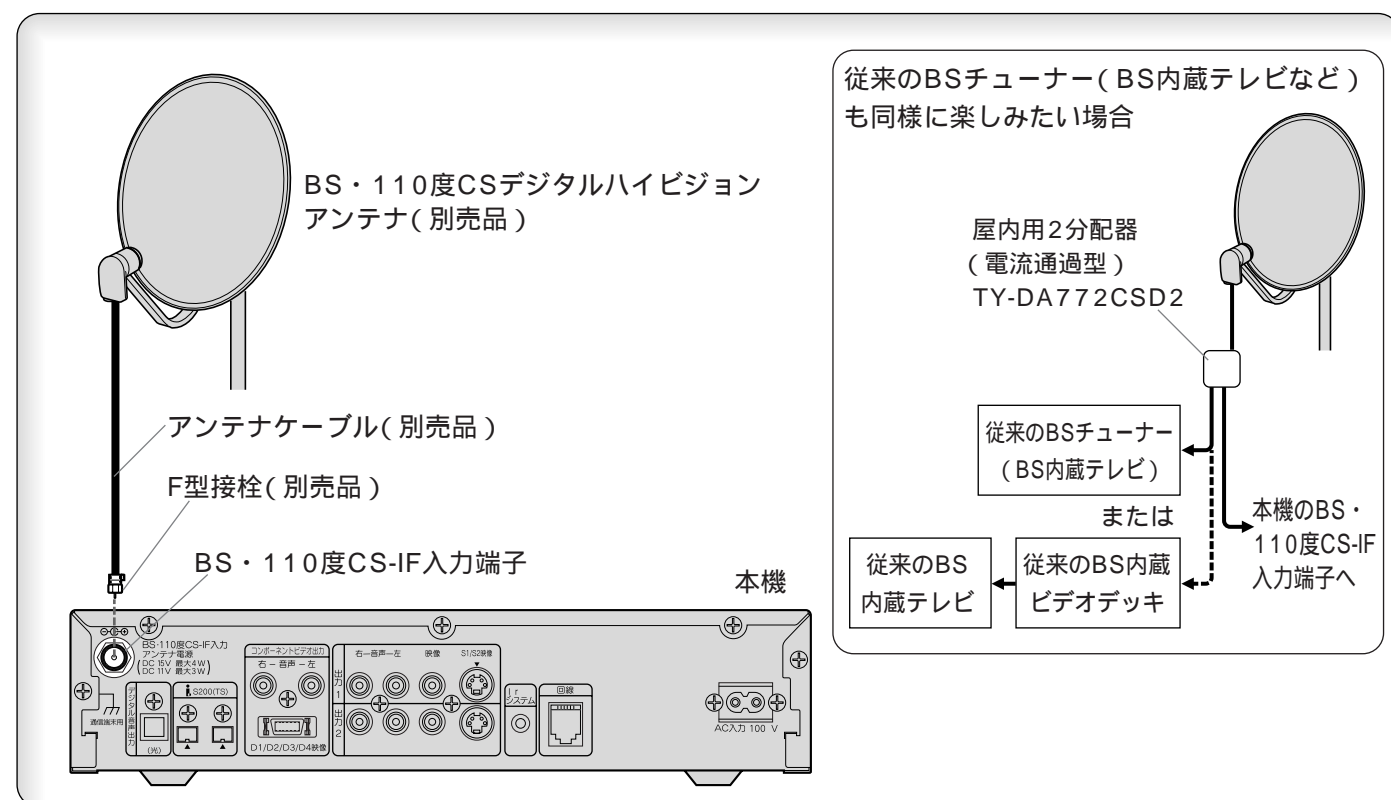
便利機能 マークは、便利機能 ボタンが使用できる画面です。（17ページ参照）

システム設定

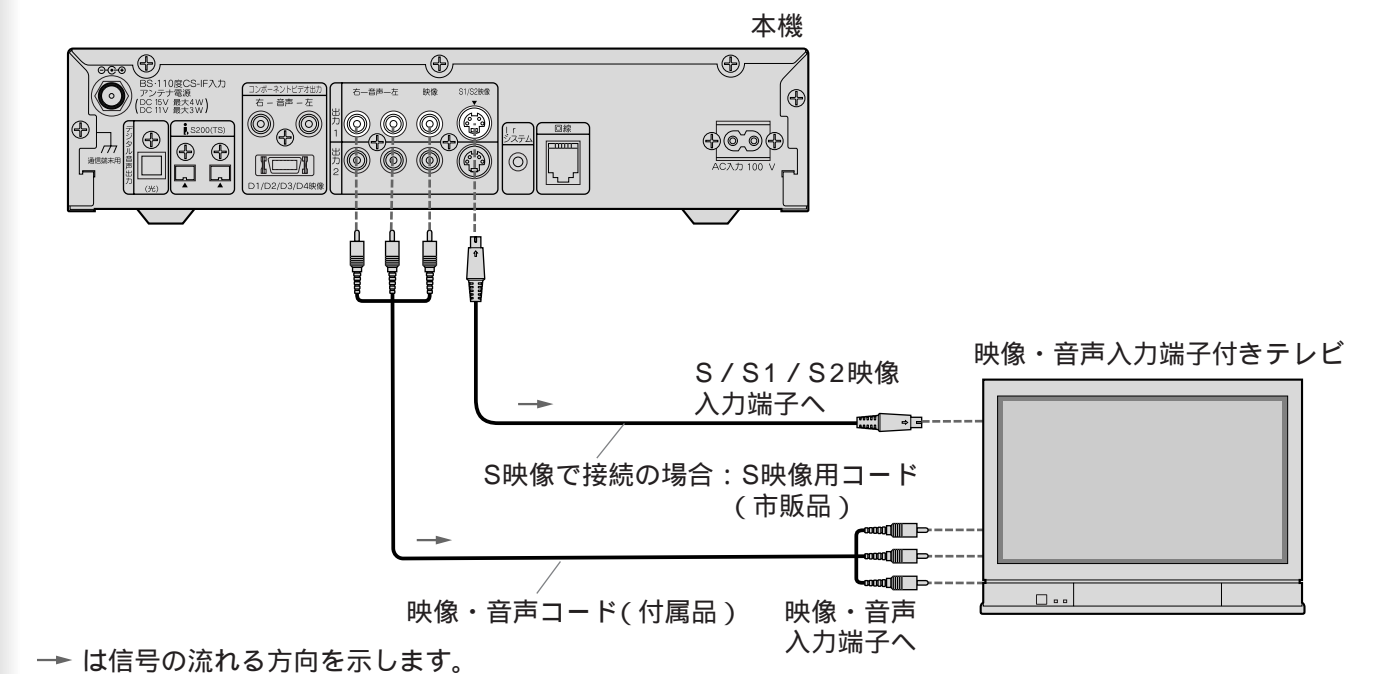
リモコン	CH	種類	チャンネル名
1	101		BS1
2	102		BS2
3	103		BS3
4	141		BS4
5	151		BS5

「システム設定」画面と「初期設定」画面は複数のページがあります。▲▼ボタンでカーソルを移動させていけば、ページの切り換えができます。

各機器の接続

各機器を接続する前に、下記の内容をお読みください。
- 本機および各機器の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。
- 接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 本機の出力1と出力2の端子からは同じ信号が出力されます。
- 本機のS1／S2映像端子には、S、S1、S2映像入力端子付きのテレビ／録画機器に接続ができます。
  S1／S2映像端子用の音声は出力1または出力2、コンポーネント出力の音声（左・右）端子が使用できます。
- 接続時に必要な接続コードで本機に付属していないものや指定していないものについては、各機器で指定のコードや市販品をご使用ください。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器で正常に録画できません。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、干渉のでない程度に離して設置し、接続コード、アンテナケーブル、電源コードもできる限り離してください。

アンテナ

お願い
- BS・110度CS-IF入力端子にF型接栓を接続するときは、手で緩まない程度に締めつけてください。締めつけ過ぎると本機内部が破損する場合があります。
- アンテナの設置方法についてはアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- アンテナケーブルは衛星専用ケーブルをご使用ください。
- BS・110度CSデジタル放送を受信するには、下記の当社製アンテナをご使用ください。
  <当社製BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ（別売品）>
  TA-BCS40RK1　40型、取り付け部材付き
  TA-BCS40R1　40型
  TA-BCS45G1　45型

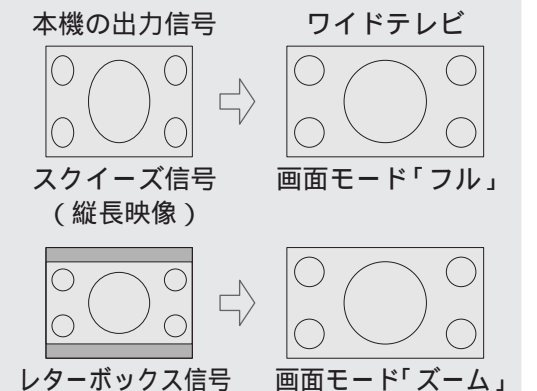
テレビ

映像・音声入力端子付きやS／S１／S2映像入力端子付きの場合

お願い
- S1／S2映像入力端子付きテレビと接続する場合は、接続する機器に合わせて「S端子出力」の設定が必要です。（40ページ参照）

お知らせ
- 出力1、出力2のS1／S2映像端子からは、ワイド映像を自動判別するための識別信号も出力しますので、テレビのS1／S2映像入力端子と接続した場合は、テレビ側が識別信号を検出すると自動的に「フル」や「ワイド」画面になります。
- 出力1、出力2の映像端子からは、ワイド画像や画面の上下に映像のないアスペクト比の映像を自動判別するための識別信号も出力しますのでID-1検出機能付のテレビを接続すると、テレビ側が識別信号を検出して自動的に「フル」画面や「ワイド」画面になります。接続するテレビによっては、識別信号（例　ID-1等）により4：3画面になることがあります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

S1映像信号とは
- 映像信号をY（輝度信号）とC（色信号）に分離したS映像機能に加え、ワイド映像（スクイーズ信号）を自動判別するための識別信号が付加された信号です。ワイドテレビでは、この識別信号により自動的に画面モードを「フル」に切り換えます。

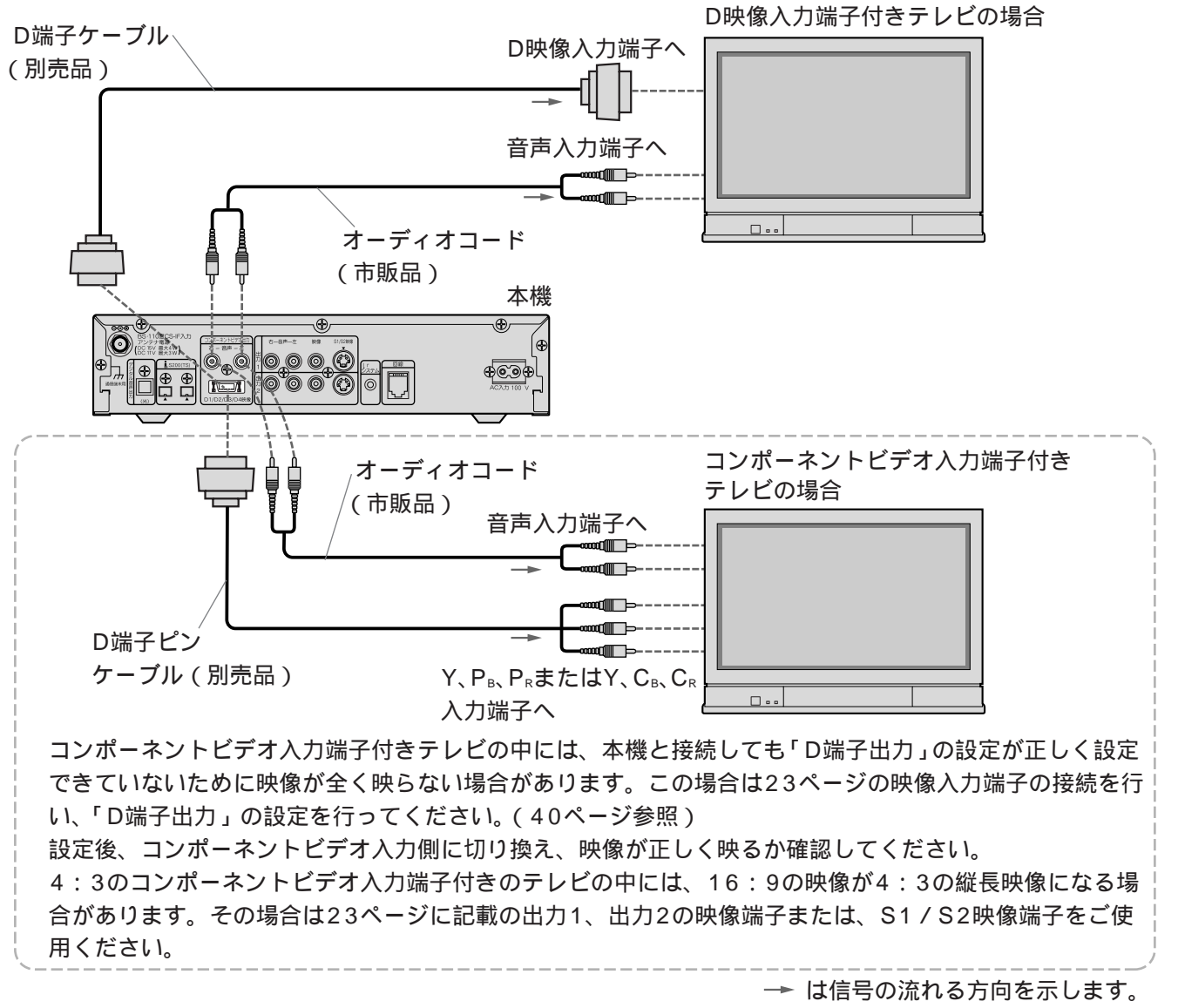
S2映像信号とは
- S1映像機能に加え、ワイド映像（レターボックス信号）を自動判別するための識別信号が付加された信号です。
  ワイドテレビでは、この識別信号により、自動的に画面モードを「ズーム」に切り換えます。

本機の出力信号	ワイドテレビ
スクイーズ信号（縦長映像）	画面モード「フル」
レターボックス信号	画面モード「ズーム」

テレビ（つづき）

D映像入力端子付きやコンポーネント映像入力端子付きの場合

D映像入力端子付きのテレビやコンポーネントビデオ入力端子付きのテレビをご使用の場合は、本機のコンポーネントビデオ出力端子に接続できます。ただし、本機のコンポーネントビデオ出力端子は、接続する機器に合わせて設定が必要です。設定が正しくない場合は、まったく映像が映らないことがあるため、必ず、23ページの映像・音声入力端子への接続を行い、各設定を行ってください。
接続後は必ず、接続した機器に合わせて「接続テレビ設定」を行ってください。（40ページ参照）
D映像入力端子やコンポーネント映像入力端子のないテレビをご使用の場合は、23ページをご覧ください。

※コンポーネントビデオ入力端子付きテレビの中には、本機と接続しても「D端子出力」の設定が正しく設定できていないために映像が全く映らない場合があります。この場合は23ページの映像入力端子の接続を行い、「D端子出力」の設定を行ってください。（40ページ参照）
設定後、コンポーネントビデオ入力側に切り換え、映像が正しく映るか確認してください。
※4：3のコンポーネントビデオ入力端子付きのテレビの中には、16：9の映像が4：3の縦長映像になる場合があります。その場合は23ページに記載の出力1、出力2の映像端子または、S1／S2映像端子をご使用ください。

→ は信号の流れる方向を示します。

D端子ケーブル：RP-CVDG15［1.5 m］、**D端子ピンケーブル：**RP-CVCDG15［1.5 m］

D端子とは

D端子とは、コンポーネントビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子です。
コンポーネントビデオ信号は、色どうしの干渉を避けるため、輝度信号と色信号を分離し、Yは輝度、P_B（C_B）は青系、P_R（C_R）は赤系に分けて送られる色差方式の信号のため、従来の輝度信号と色信号が混合されているのに比べると映像をよりあざやかに表示することができます。制御信号は、入力側（テレビなど）が自動的に走査線数とアスペクト比を切り換えるための信号です。
本機のコンポーネントビデオ出力端子は、525i（480i）、525p（480p）、750p（720p）、1125i（1080i）の映像信号を出力します。ただし、42ページの「D端子出力」の設定や、放送局から送られてくる信号により、出力される信号は変わります。

電話回線

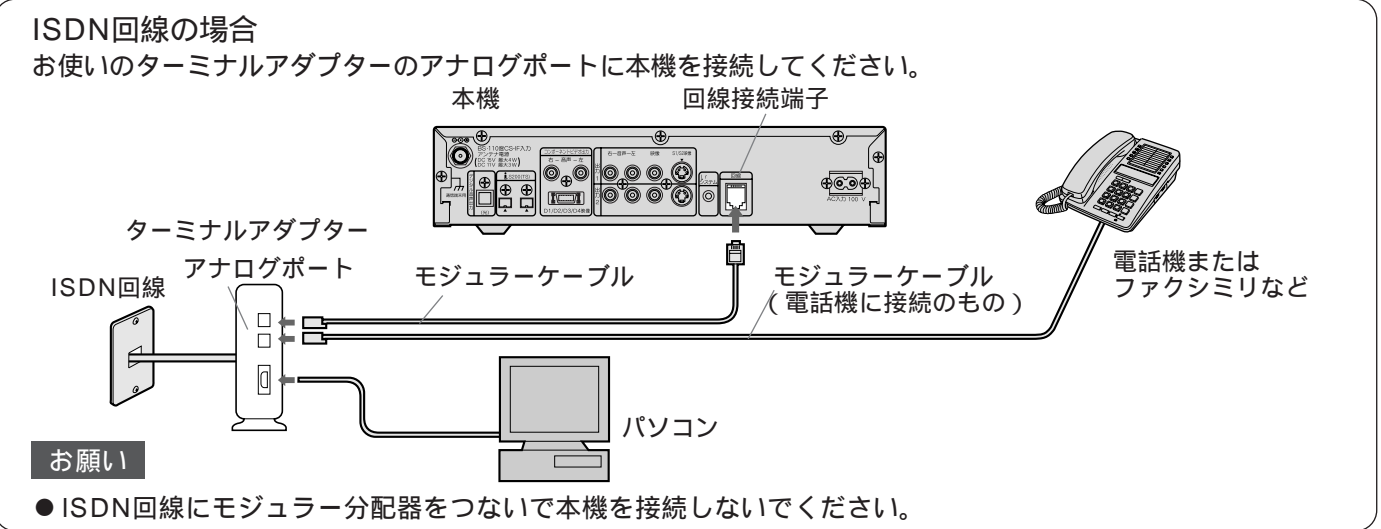
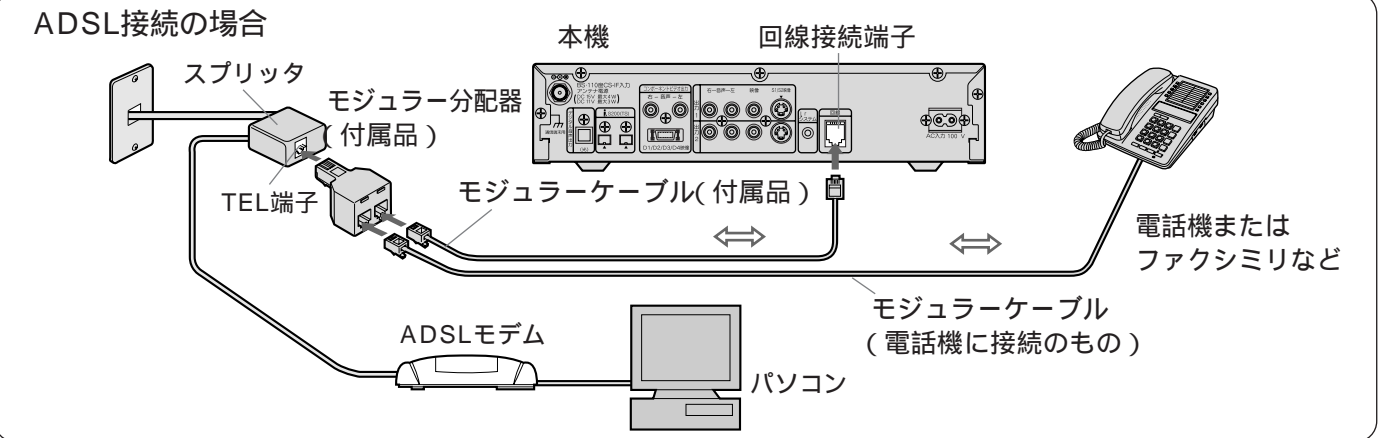
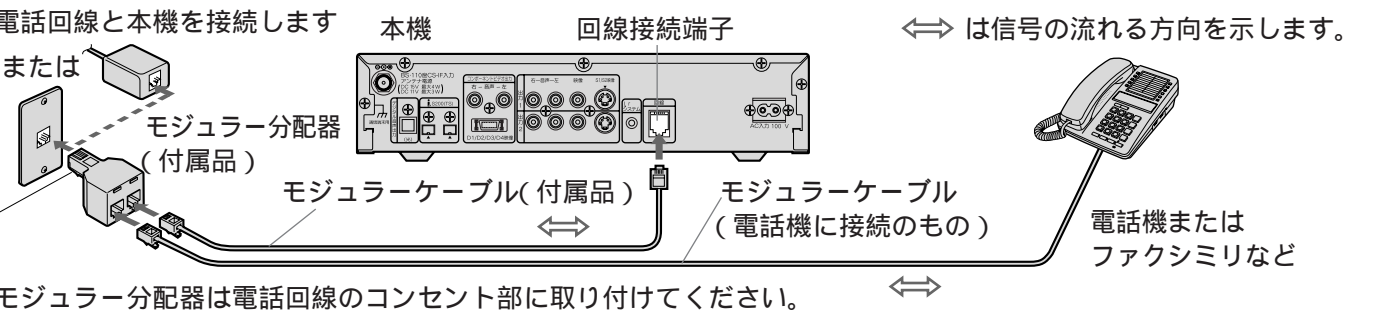
モジュラーコンセントへ、モジュラー分配器を使用して本機と電話器などを接続してください。

モジュラー分配器は電話回線のコンセント部に取り付けてください。

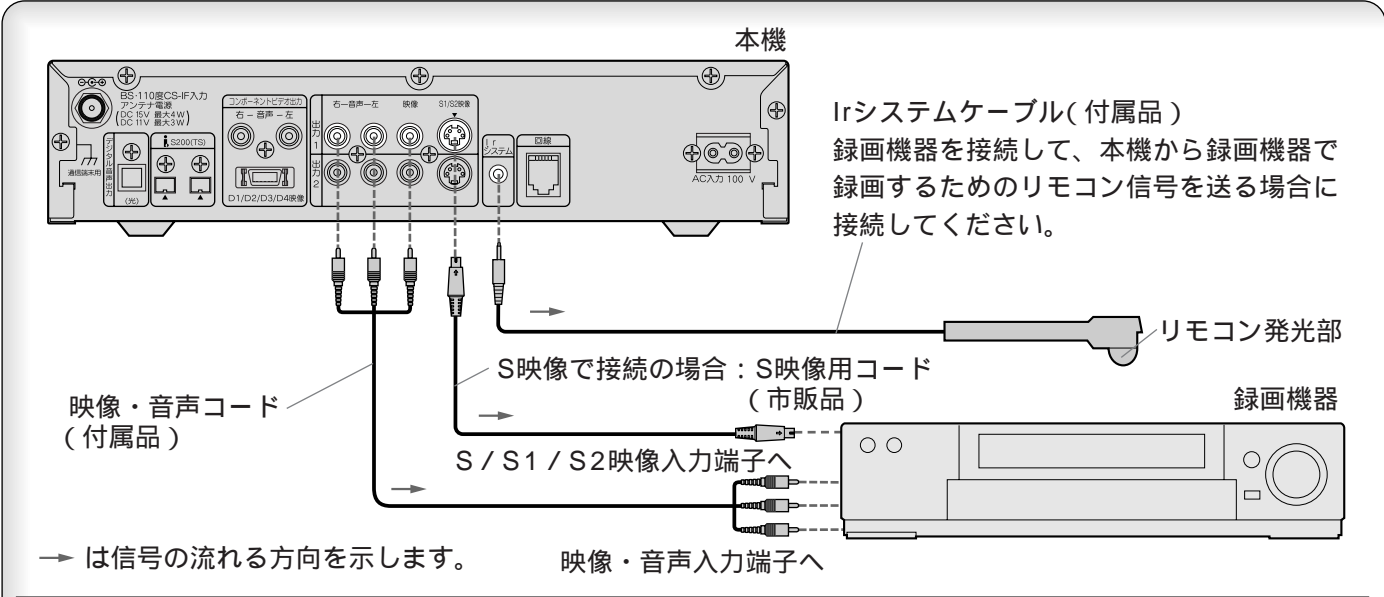
ADSL接続の場合

ISDN回線の場合

お使いのターミナルアダプターのアナログポートに本機を接続してください。

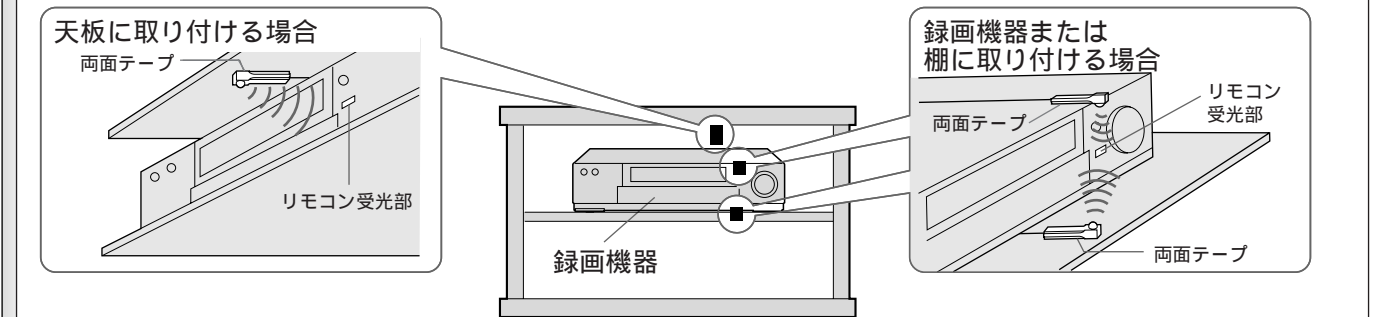
お願い
- ISDN回線にモジュラー分配器をつないで本機を接続しないでください。

お願い
- 電話回線に関する工事は資格を受けた人（工事担任者）でなければ行えません。
  ご加入のNTT営業所または局番なしの116に工事のお問い合わせをしてください。
- モジュラー分配器は本機の回線接続端子に差し込まないでください。取り外せなくなる場合があります。
- 付属のモジュラーケーブルは10 mあります。設置場所によってはモジュラーケーブルを壁に沿わせるなどして、邪魔にならないように十分配慮し配線処理をしてください。

お知らせ
- 付属のモジュラーケーブル（10 m）で長さが足りない場合は、市販のモジュラーケーブルをお買い求めください。
- 1つの電話回線に3つの機器を接続する場合は、市販の3分配用モジュラー分配器をご使用ください。
- デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線や「内線設定」が、9桁以上必要な構内交換機の電話回線には接続できません。

録画機器（ビデオデッキ、DVDレコーダー）

Irシステムケーブルの取り付け

本機後面のIrシステム端子に付属のIrシステムケーブルを接続し、リモコン発光部を録画機器のリモコン受光部に向けて設置すれば、本機に接続された録画機器に対し、BS・110度CSデジタル放送の番組を簡単に録画ができます。Irシステムを使用できるビデオデッキのメーカーは松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECです。また、当社製およびパイオニア製DVDレコーダーも使用できます。
（ただし、一部の商品によっては使用できない場合があります。）

取り付け例

（貼り付け用の両面テープを付属）

Irシステムを使用して、録画機器で録画をする場合は、98ページの手順で事前に設定とテストが必要です。テスト時に録画機器が動作する位置を確認のうえ、Irシステムケーブルを取り付けてください。

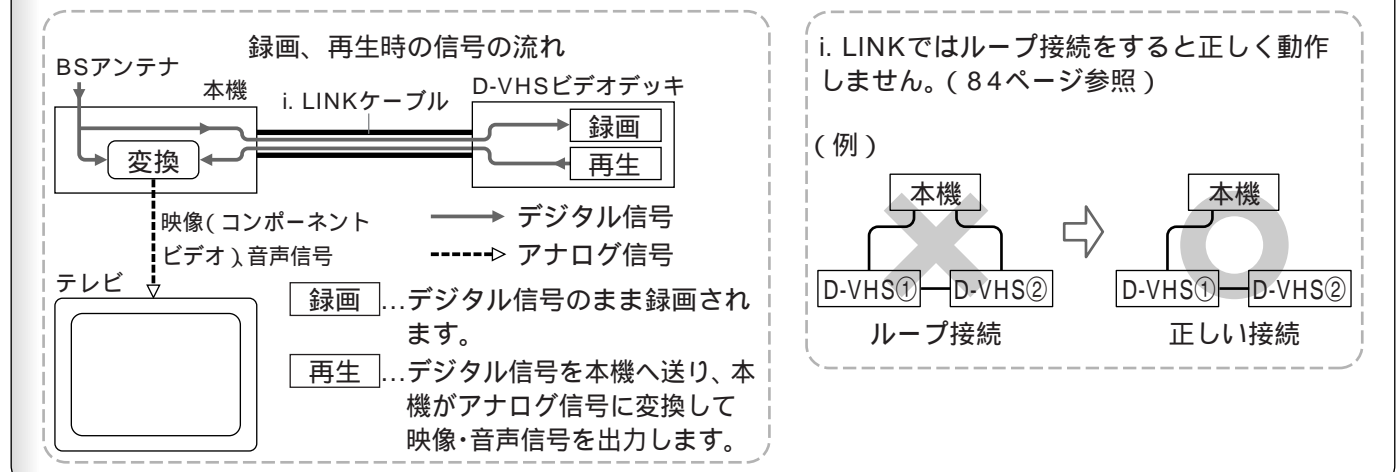
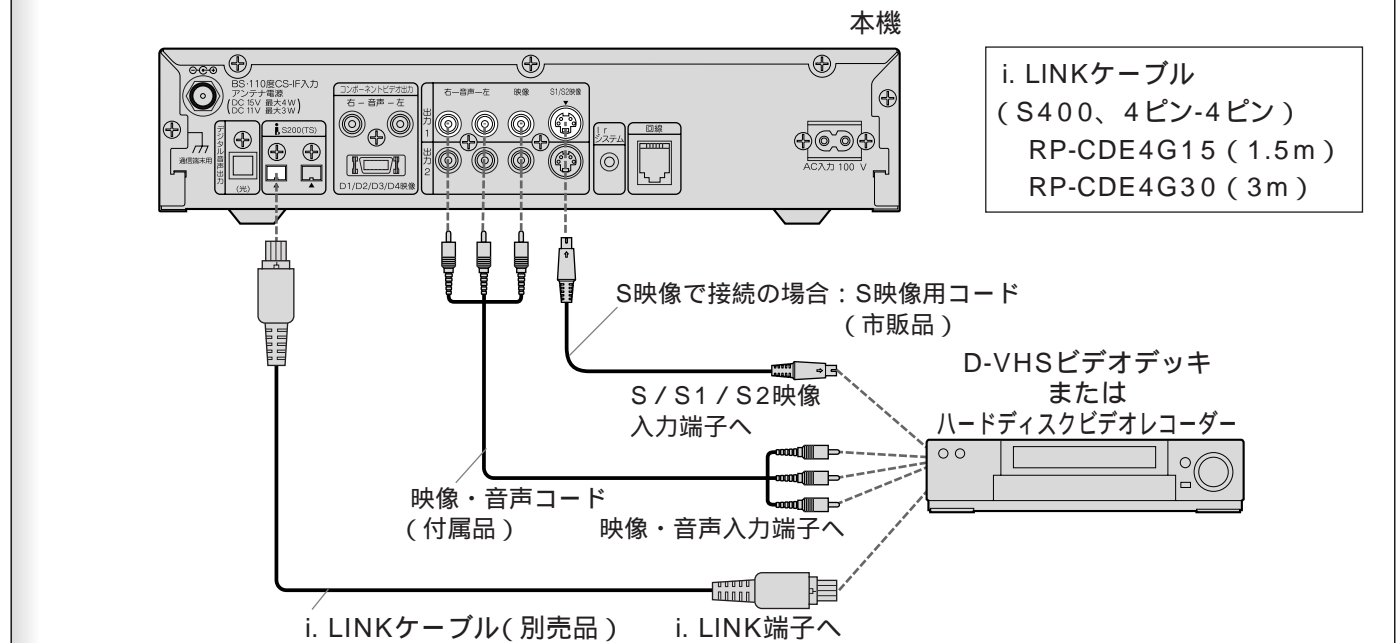
お願い

- 両面テープは貼り付ける個所のゴミやほこりを取り除いてから貼り付けてください。
- Irシステムケーブルに付属の両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと、無理にはがすと板の表面を傷める場合がありますのでご注意ください。

Irシステムとは

- Ir（Infrared（インフラレッド）：赤外線）で制御するシステムです。

i. LINK対応機器（D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー）

本機のi. LINK端子には、i. LINK対応の当社製D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダーが接続できます。i.LINK接続すれば、D-VHSビデオデッキなどへ簡単に録画予約の設定が行え、また本機のリモコンで基本的な操作が行えます。
i. LINKについては、84ページをご覧ください。

お願い

- i. LINKケーブルは別売のS200対応以上の4ピンi. LINKケーブルをご使用ください。
- i. LINKケーブルはプラグ部を持って、端子にまっすぐに差し込んでください。斜めからは入りません。

お知らせ

- i. LINK対応機器を接続の場合は、i. LINK端子のどちらに接続しても使用できます。
- i. LINKケーブルは1本でデジタル信号のやりとりができます。

D-VHSビデオデッキとは

VHS方式のビデオデッキを基盤にした新しいVHS方式で、デジタル放送などのデジタルデータをそのまま記録することができます。（データ放送の情報もそのまま録画、再生できます。）
また、従来のVHS方式での録画、再生も行えます。

デジタル音声入力端子付きオーディオ機器

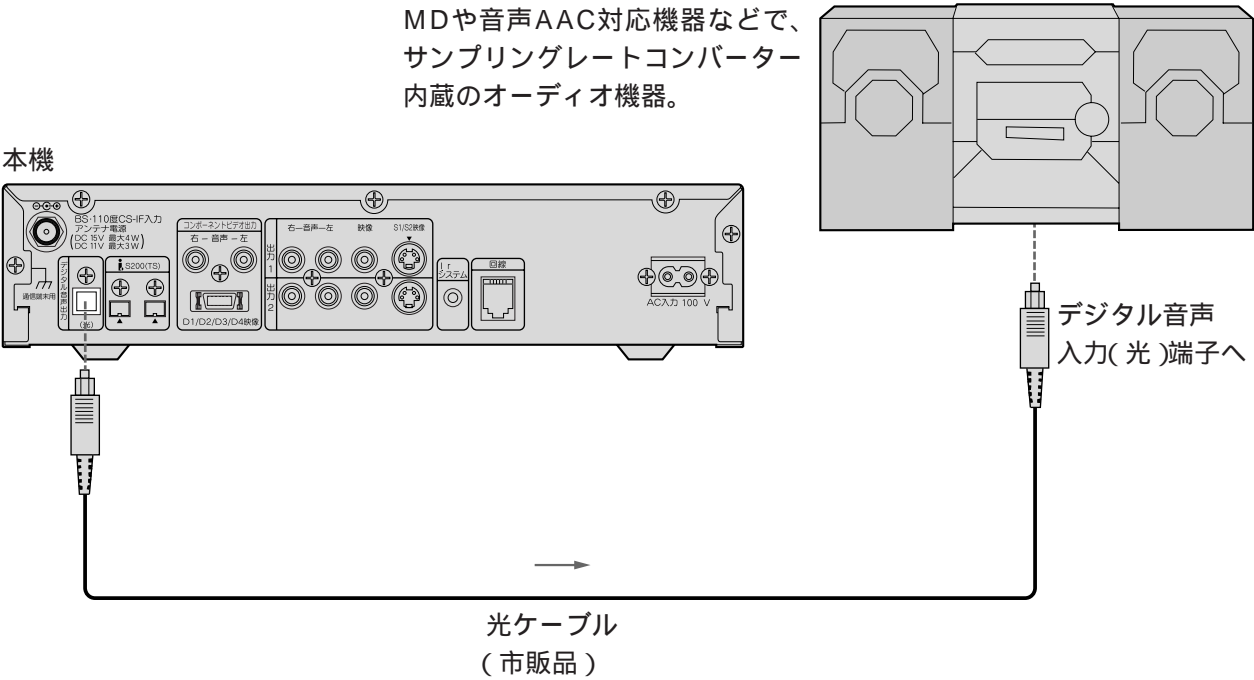
本機のデジタル音声出力（光）端子は、デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器が接続できます。
また、本機は音声AACに対応のため、音声AAC対応のオーディオ機器にも接続できます。
音声AACをご利用になるには、「デジタル音声出力」の設定変更が必要です。（92ページ参照）

MDや音声AAC対応機器などで、
サンプリングレートコンバーター
内蔵のオーディオ機器。

本機

デジタル音声
入力（光）端子へ

光ケーブル
（市販品）

→ は信号の流れる方向を示します。

お願い

- デジタル音声出力（光）端子を使用するときは端子に差し込まれているカバーを引っぱって取り外してください。
  本機のデジタル音声出力（光）端子は、衛星からの信号をそのまま出力していますので、送信されてくるサンプリング周波数に対応していないオーディオ機器は使用できません。（送信されるサンプリング周波数には、32 kHz、44.1 kHz、48 kHzなどがあり、サンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器が必要です。）

お知らせ

- 番組によってはデジタルコピーガードがかかっているため、接続しているオーディオ機器で録音できない場合があります。

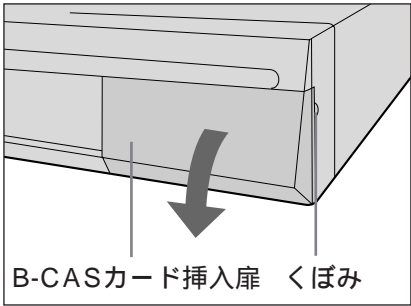
AAC（Advanced Audio Coding）とは

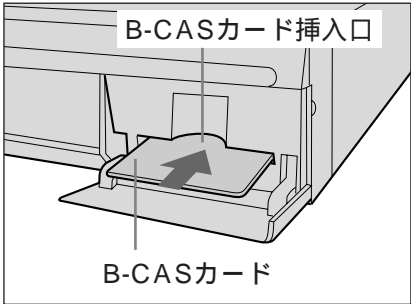
AACとは、音声符号化の規格の一つです。AACは、CD（コンパクトディスク）並みの音質の音声データを約1／12にまで圧縮できます。また、5チャンネル＋低域強調チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

B-CASカードの挿入

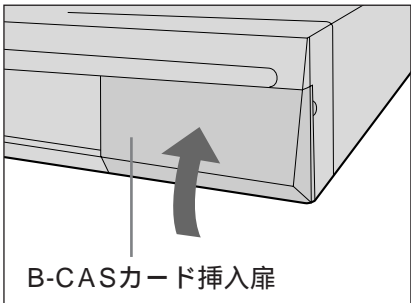
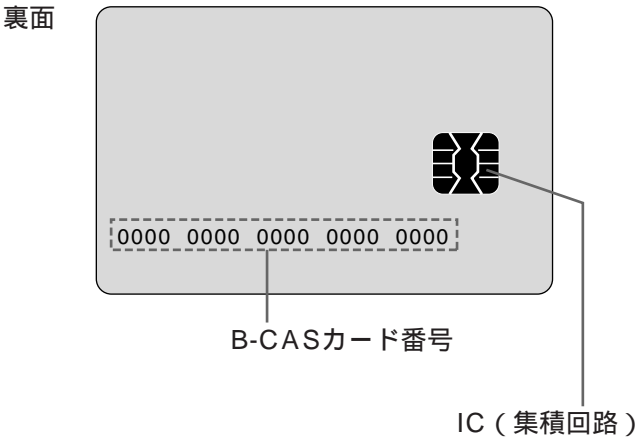
本機に付属のB-CASカードは、本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で、下記の手順に従って挿入してください。

1 B-CASカード挿入扉を開ける

くぼみに指をかけてB-CASカード挿入扉を手前に引いて開けてください。

2 B-CASカードを挿入する

下図のように絵柄表示面を上にして、B-CASカードの矢印を挿入口方向へ合わせ、挿入が止まるまでゆっくりと押し込んでください。

お願い

- 本機専用のB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
  故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。
  挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。

3 B-CASカード挿入扉を閉める

B-CASカードについて

本機に付属のB-CASカードには1枚ごとに違う番号（B-CASカード番号）が付与されています。B-CASカード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

B-CASカード取り扱い上の留意点

- B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- B-CASカードのIC（集積回路）部には手をふれないでください。
- B-CASカードの分解加工は行わないでください。
- B-CASカードは左記手順をご覧のうえ、本機前面のB-CASカード挿入口に、正しく挿入してください。B-CASカードを挿入しないと、有料放送を視聴することができません。
- ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしないでください。視聴できなくなる場合があります。

B-CASカードを抜くとき

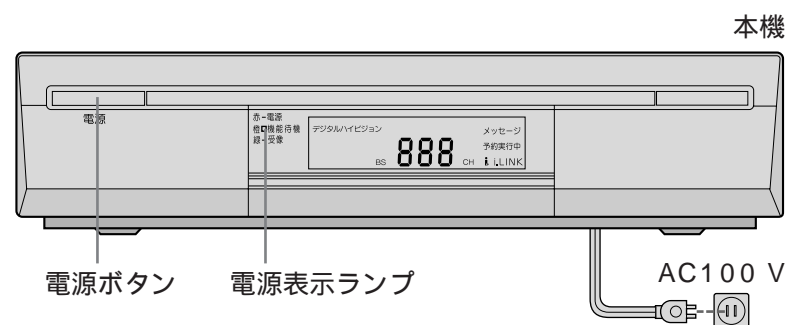
万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくりとB-CASカードを抜いてください。B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

番組を楽しむための設定

電源のオン、オフについて

本機は付属の電源コードを接続し、AC100 Vの電源コンセントに差し込むことにより電源が入り、電源表示ランプが点灯します。

本機

電源ボタン　電源表示ランプ　AC100 V

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

電源
ボタンを押す

● 押すごとにオン、オフの切り換えができます。

電源オン ････電源表示ランプ「緑色」

映像・音声の信号を出力します。本機前面のチャンネル表示部に、現在選局されているチャンネル番号を表示します。

電源オフ ････電源表示ランプ「赤色」または「橙色」

本機の電源オフの状態には、2種類あります。

■ 電源表示ランプ「赤色」
映像・音声の信号出力を停止し、本機前面のチャンネル表示が消えます。またアンテナへの電源供給も停止します。
ただし、電源オフに切り換えてもBS・110度CSデジタル放送の情報を受信するために、一時的に電源オフ（機能待機）となり、電源表示ランプが橙色に点灯します。しばらくすれば、電源オフ状態となり、電源表示ランプが赤色に点灯します。

■ 電源表示ランプ「橙色」…機能待機状態
映像・音声の信号出力を停止し、本機前面のチャンネル表示が消えます。ただし、i.LINK端子に接続した機器から本機を制御することはできます。また、アンテナ電源の設定を「オン」にしている場合は、アンテナへの電源供給は行います。（32ページ参照）
機能待機状態にするには、「i.LINK待機」の設定を「する」にします。
（93ページ参照）

お知らせ

● 本機は電源をオフにしても0.5 Wの電力を消費しています。また、電源オフ（機能待機）では、18 W（アンテナへの電源供給なし時）の電力を消費しています。ただし、電源オフ状態でも自動的にBS・110度CSデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信も行います。（通常、深夜から早朝）この場合は一時的に電源表示ランプが橙色に点灯し、電源オフ（機能待機）状態となり、18 Wの電力を消費します。
● 電源オン状態では、ダウンロードは実行されません。ダウンロードを行う場合は、電源オフにしてください。（102ページ参照）

はじめて電源をオンにしたときは

本機の電源をはじめてオンにしたときにはお買い上げいただいたお礼のメッセージ画面が表示されます。
このメッセージ画面からは設置時に行う初期設定の項目が選択できる「設置設定」画面に切り換えができます。

1 テレビ側の入力を本機の出力1または出力2に接続している入力側に切り換える

● コンポーネントビデオ出力からの信号に切り換えるとD端子出力の設定によっては、映像が出ない場合があります。

2

❶ 電源
ボタンを押す

● お買い上げいただいたお礼のメッセージが表示されます。

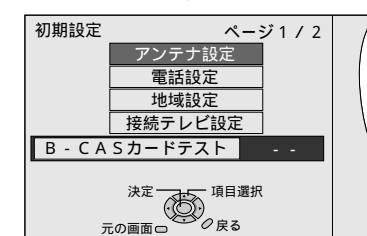
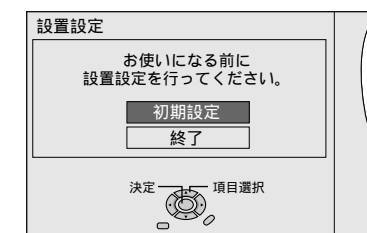
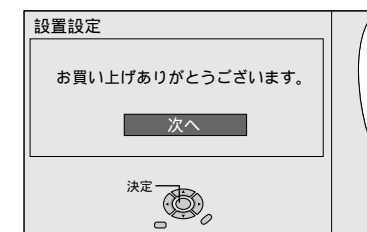
設置設定
お買い上げありがとうございます。
次へ

❷
押す

●「設置設定」画面が表示されます。

3

① **初期設定** **を選び、**
② **押す**

●「初期設定」画面が表示されます。
32〜45ページをご覧のうえ、「アンテナ設定」、「電話設定」、「地域設定」、「接続テレビ設定」、「B-CASカードテスト」、「CS受信選択」の順に設定を行ってください。
●「チャンネル設定」については、94ページ、「リモコン設定」については、100ページをご覧ください。
●「受信設定」および「設定項目リセット」については特別の理由がない限り操作しないでください。

お願い

● 本機は「設置設定」画面を消去しない限り、設置設定項目以外の操作ができません。設置調整後は「設置設定」画面を消去してください。
「設置設定」画面では▲▼ボタンで「終了」を選び（決定）ボタンを押せば、お礼のメッセージや「設置設定」画面が消去できます。

お知らせ

● お買い上げいただいたお礼のメッセージが表示されているときは（決定）ボタン、（電源）ボタン以外操作できません。

●黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

アンテナ設定

本機からアンテナのコンバーターへの、電源供給の「オン」／「オフ」を設定します。
工場出荷時は「オフ」に設定されています。
また、アンテナ入力レベルの確認も行えます。
●「初期設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。
●「初期設定」画面の表示方法は31ページまたは45ページをご覧ください。

1 ① **アンテナ設定** を選び、
② 押す

初期設定 ページ1／2
アンテナ設定
電話設定
地域設定
接続テレビ設定
B－CASカードテスト ーー
決定 項目選択
元の画面 戻る

2 **アンテナ電源** の設定を切り換える

オン … 本機とアンテナを直接接続する場合に設定してください。
アンテナのコンバーターへ電源が供給されます。
オフ … マンション共聴などで本機以外の機器から電源供給をする場合に設定してください。

アンテナ調整をされる場合

● **BSデジタル放送のみをご覧になる場合**
次ページを参照してアンテナ調整を行ってください。
● **110度CSデジタル放送をご覧になる場合**
下記手順3でアンテナ設定を終了し、34〜45ページの設定を行い、設置設定を終了したあと、33ページの「110度CSデジタル放送をご覧になる場合」を参照してアンテナ調整を行ってください。

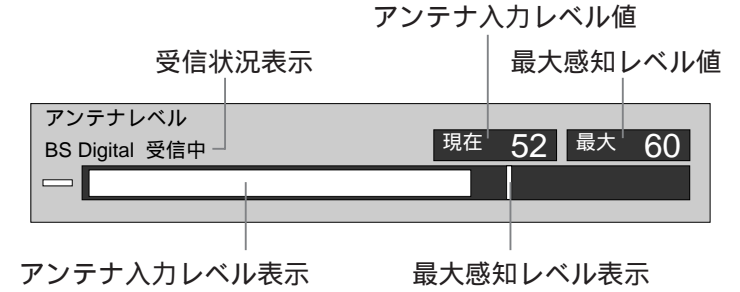
3 **アンテナ設定** が終れば
戻る **ボタンを押す**

●「初期設定」画面が表示されます。

お知らせ
●引き続き「電話設定」を行う場合は34ページをご覧ください。
●「設置設定」画面からの操作で「アンテナ設定」画面を出している場合は 元の画面 ボタンを押せば、「設置設定」画面に戻せます。
●「機器ナビ」画面からの操作で「アンテナ設定」画面を出している場合は 元の画面 ボタンを押せば、「アンテナ設定」画面が消えます。

アンテナ入力レベルの確認と調整

「アンテナ設定」画面でアンテナ入力レベルの確認ができます。
アンテナ入力レベル表示を見ながらアンテナの仰角（上下の向き）・方位角（左右の向き）の調整を行ってください。「アンテナ設定」画面を表示しているときは、本機前面のチャンネル表示部に、アンテナの頭文字Aを先頭にした現在のアンテナ入力レベル値が表示されます。

BSデジタル放送で調整する場合、BSデジタル放送からの電波を受信すると、受信状況表示欄に「BS Digital 受信中」と表示されます。この状態でアンテナ入力レベル表示が最大になるようにアンテナを調整してください。

項目	説明
最大感知レベル表示 最大感知レベル値	アンテナ入力レベルの最大値が表示されます。
アンテナ入力レベル表示 アンテナ入力レベル値	現在のアンテナ入力レベルが表示されます。
受信状況表示	BS・110度CSデジタル放送を受信すると「BS Digital 受信中」や「SKY PerfecTV!受信中」などと表示されます。

110度CSデジタル放送をご覧になる場合
1. 設置設定の終了後、110度CSデジタル放送のチャンネル（CS1-001チャンネルまたはCS2-100チャンネル）を選局する。
（選局方法：48、49ページ参照）
2. 便利機能ボタンを押し、便利機能メニューから▲▼ボタンで「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。
3. アンテナ入力レベルが最大となるようにアンテナを調整する。

※設置設定からのアンテナ設定では、BSデジタル放送のアンテナ入力レベルが表示されます。

アンテナの近くで入力レベルの確認ができます。（BSデジタル放送受信の場合）
次の手順でアンテナを調整すれば、アンテナ設置場所の近くで入力レベルの確認をしながらアンテナの向きが調整できます。
1. アンテナ電源の設定が正しいことを確認のうえ、「アンテナ設定」画面を表示させたまま、本機の電源コードを抜きます。
2. 本機に接続している接続コードをすべてはずし、アンテナ設置場所に本機を移動させます。（落下する恐れのない状態に置いてください。）
3. アンテナケーブルと電源コンセントを用意し、本機とアンテナを接続したあと、本機の電源を入れます。（本機前面のチャンネル表示部にアンテナ入力レベルが表示されます。）
4. アンテナの向きを調整し、本機前面のBS表示が点灯する向きをさがし、さらにアンテナ入力レベルが最大になる方向に微調整します。

お願い
●アンテナの仰角・方位角の調整方法はアンテナの取扱説明書をご覧ください。
●アンテナ調整はアンテナの入力レベルを見る人とアンテナの向きを調整する人が連携を取りながら行ってください。

お知らせ
●受信状況表示に「他の衛星受信中」と表示されている場合は、BS・110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信しています。
●アンテナの最大入力レベルは受信チャンネル、天候、季節、アンテナの調整、受信している地域などにより異なります。

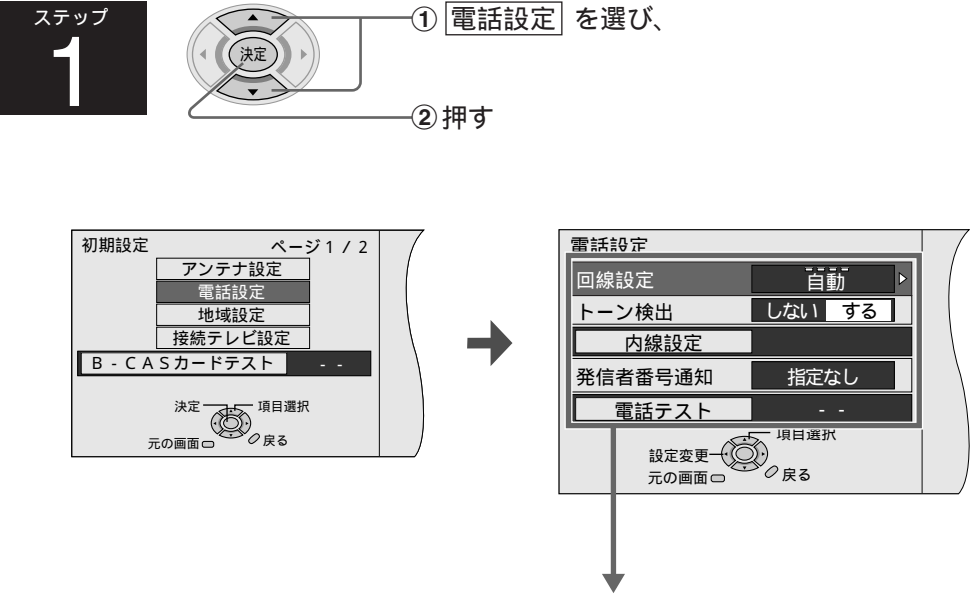
電話設定

BS・110度CSデジタル放送では電話回線を使って有料放送の料金管理や視聴者参加番組への参加が行われるため、電話回線の接続（25ページ参照）をしたうえ、必ず電話設定を行ってください。

●「初期設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。

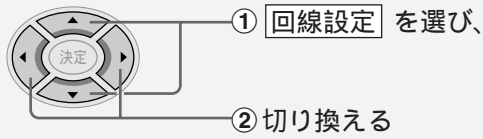
●「初期設定」画面の表示方法は31ページまたは45ページをご覧ください。

電話設定は次ページへ続きます

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

● **各項目の設定、テストを行ってください。**

回線設定

本機に接続された電話回線に合わせて、設定を行います。工場出荷時は「自動」に設定されています。

① **回線設定** を選び、
② **切り換える**

自　動…「電話テスト」を行えば、自動的に電話回線の種別を検出し、設定します。

プッシュ…プッシュ回線を使用されている場合に設定してください。

ダイヤル20…20PPSのダイヤル回線を使用されている場合に設定してください。

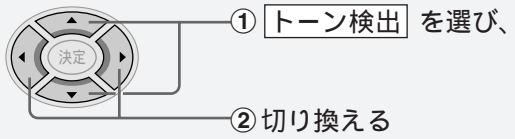
ダイヤル10…10PPSのダイヤル回線を使用されている場合に設定してください。

お知らせ

● 押しボタン式の電話機が接続されていてもプッシュ回線ではない場合があります。相手先の電話番号を発信したときに「ピッポッパッポ」と受話器から音が出る場合はプッシュ回線です。
● ISDN回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続している場合は、「プッシュ」に設定してください。
● 当社製デジタルコードレス電話機でワイヤレスリンク接続している場合は、「プッシュ」に設定してください。
●「自動」に設定しても検出できない電話回線があります。この場合、ご使用の電話機の設定を確認して「プッシュ」、「ダイヤル20」、「ダイヤル10」に設定してください。

トーン検出の設定

トーン検出は本機が電話回線につながっているかを検出する機能です。工場出荷時は「する」に設定されています。

① **トーン検出** を選び、
② **切り換える**

する…通常はこの設定でご使用ください。

しない…受話器を上げても無音で、「ツー」音などが聞こえない内線電話の場合に設定してください。

お知らせ

●「回線設定」を「自動」に設定していると、「トーン検出」は「しない」に設定できません。
●「トーン検出」を「しない」に設定していると、同じ回線に接続の電話機などが使用中でも、本機で送信操作をすると通信操作を行い、使用中の電話機などにダイヤル音が混入し、通信障害になります。

電話設定（つづき）

この見開きページは前ページからのつづきです

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

内線設定

外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機を接続の場合のみ、この設定が必要となります。

(例) 0を設定する場合

1 ① 内線設定 を選び、② 押す

2 ① 内線発信番号0を入力し、② 押す

● 時間待ち設定が必要な場合は、青ボタンを押すことにより ,（カンマ）が入力され時間待ち設定ができます。 ,（カンマ）1つで3秒間の待ち設定になります。

● 赤ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

3 ① 登録確認画面の はい または いいえ を選び、② 押す

内線設定確認
設定した内線発信番号を登録しますか？
内線発信番号：0
いいえ　はい

はい …入力した内線発信番号が登録されます。
いいえ …入力した内線発信番号が取り消され「電話設定」画面が表示されます。

お知らせ

● すでに登録している内線発信番号を取り消したい場合は2の手順で何も入力せずに 決定 ボタンを押し、3の手順で◀▶ボタンで「はい」を選び、決定 ボタンを押してください。

● 戻る ボタンで1つ前の画面に戻せます。

発信者番号通知

電話回線を使用するときにお客様の電話番号を通知する／しないを設定することができます。
工場出荷時は「指定なし」に設定されています。

① 発信者番号通知 を選び、② 切り換える

通知する …電話番号を通知する場合に設定します。
通知しない …電話番号を通知しない場合に設定します。
指定なし …通知設定しない場合に設定します。

お知らせ

●「通知しない」「指定なし」に設定してもデータ放送によっては、通知する場合があります。

電話テスト

電話設定が正しいかテストを行います。
テストには1分程度の時間がかかる場合があります。

① 電話テスト を選び、② 押す

● 電話テストが開始されます。

電話テストが終了すると、「電話テスト」の項目にテスト結果が表示されます。

OK …正常終了しました。
NG …不具合が発生しています。画面上の説明に従って原因を取り除いてください。
テスト中 …テスト中です。
ーー …テストをしていない状態です。

お願い

● 同じ回線に接続している電話機などが使用されていないことを確認してから行ってください。

● 電話回線の種別がわからないときはご使用の電話機の設定を確認してください。また、電話機の設定を見てもわからないときはご加入のNTT営業所にお問い合わせください。

●「トーン検出」を「しない」に設定している場合、自動的にダイヤル動作を行い電話回線の接続テストを行います。このテストで「NG」の場合は、画面上の説明に従ってください。また、25ページの接続についても確認してください。

ステップ 2 電話設定 が終われば 戻る ボタンを押す

●「初期設定」画面が表示されます。

お知らせ

● 引き続き「地域設定」を行う場合は次ページをご覧ください。

●「設置設定」画面からの操作で「電話設定」画面を出している場合は 元の画面 ボタンを押せば、「設置設定」画面に戻せます。

●「機器ナビ」画面からの操作で「電話設定」画面を出している場合は 元の画面 ボタンを押せば「電話設定」画面が消えます。

● 1つの電話番号の回線にモジュラー分配器で本機と電話機やファクシミリなどを接続されている場合は、電話機やファクシミリなどの使用中に本機の通信はできません。

次のような症状がでるときは

電話回線へ本機に付属のモジュラー分配器を使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、一部の電話機やファクシミリで次のような症状がでることがあります。

● **本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る**
この症状がでるときは、付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。

● **電話機にノイズ（雑音）が入る**
この症状がでるときは、市販されている自動転換器（一般用）または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。

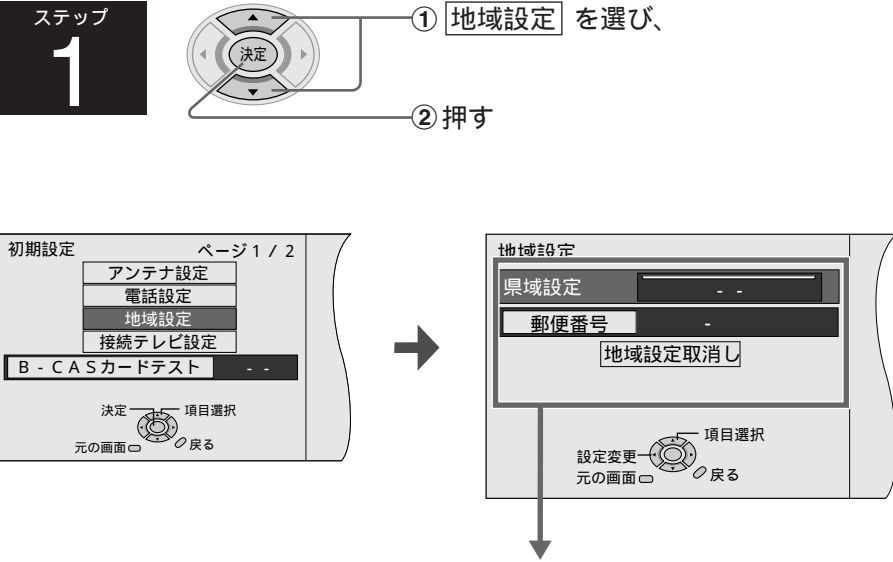
詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。

ご使用まえに
接続と準備
基本の使いかた
応用の使いかた
こだわり設定
その他

地域設定

地域設定を行えば、緊急警告放送やデータ放送時にお客様の地域に関する情報を受信することができます。
●「初期設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。
●「初期設定」画面の表示方法は31ページまたは45ページをご覧ください。

●黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

ステップ1
① 地域設定 を選び、
② 押す

県域設定
郵便番号
地域設定取消し

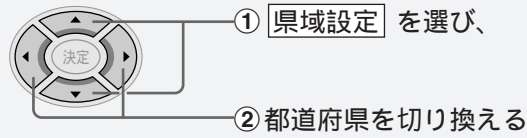
● 各項目の設定を行ってください。

ステップ2
地域設定 が終れば
戻る ボタンを押す
●「初期設定」画面が表示されます。

お知らせ
●引き続き「接続テレビ設定」を行う場合は40ページをご覧ください。
●「設置設定」画面からの操作で「地域設定」画面を出している場合は、元の画面ボタンを押せば「設置設定」画面に戻せます。
●「機器ナビ」画面からの操作で「地域設定」画面を出している場合は、元の画面ボタンを押せば「地域設定」画面が消えます。

県域設定

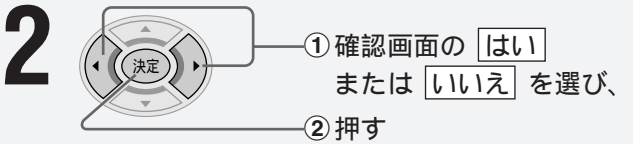
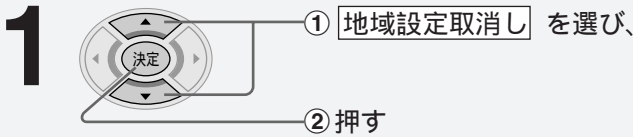
お住まいの都道府県を設定します。

① 県域設定 を選び、
② 都道府県を切り換える

お願い
● 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。
南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

地域設定取消し

設定した「県域設定」と「郵便番号」を工場出荷状態に戻します。

1
① 地域設定取消し を選び、
② 押す

2
① 確認画面の はい または いいえ を選び、
② 押す

はい …「県域設定」と「郵便番号」の設定値を工場出荷状態に戻します。
いいえ …「地域設定」画面に戻ります。

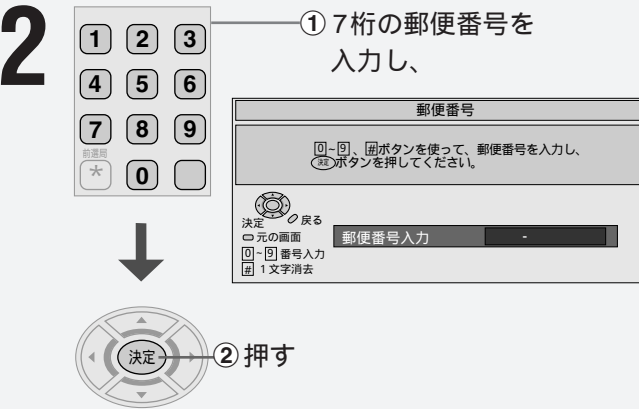
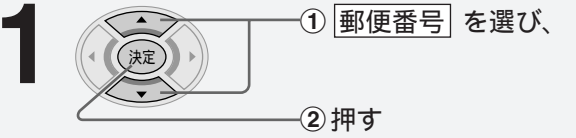
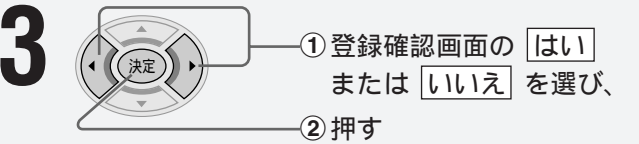
郵便番号

お住まいの地域の郵便番号（7桁）を設定します。

1
① 郵便番号 を選び、
② 押す

2
① 7桁の郵便番号を入力し、

② 押す

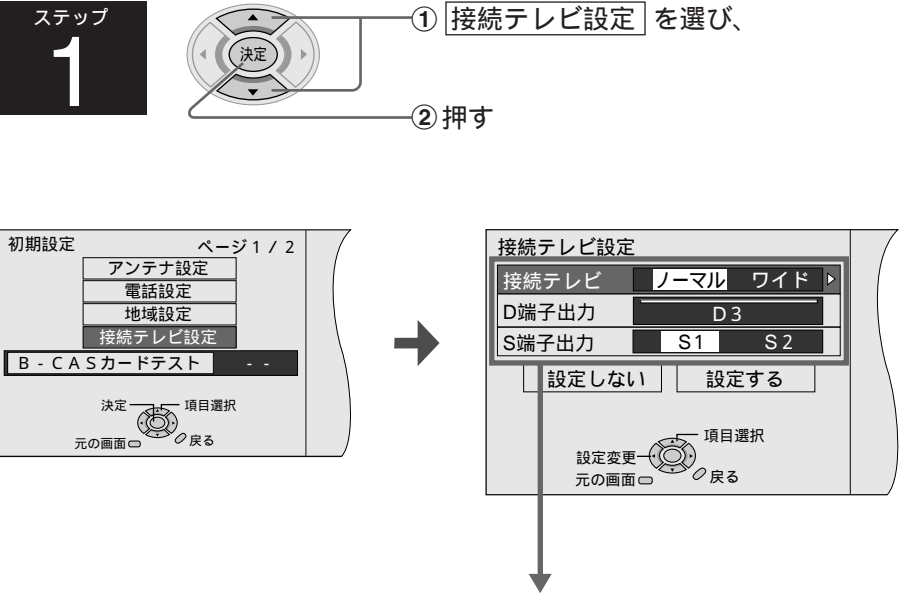
● ♯ボタンを押すごとに、最後の桁を1つずつ取り消すことができます。

3
① 登録確認画面の はい または いいえ を選び、
② 押す

はい … 入力した郵便番号が登録されます。
いいえ … 入力した郵便番号が取り消され「地域設定」画面に戻ります。

接続テレビ設定

本機は接続するテレビに合わせて映像信号の出力方式を切り換える機能がありま す。ご使用のテレビに合わせて設定してください。
●「初期設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。
●「初期設定」画面の表示方法は31ページまたは45ページをご覧ください。

接続テレビ設定は次ページへ続きます

●黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

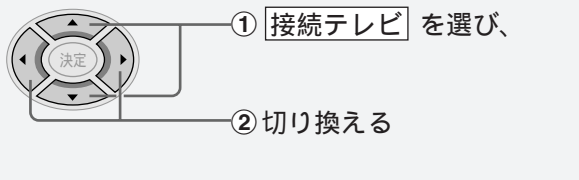
ステップ 1

接続テレビの設定 ▷
D端子出力の設定 ▷42ページ
S端子出力の設定 ▷

● 各項目の設定を行ってください。

お知らせ
●「設置設定」画面からの操作で「接続テレビ設定」画面を出している場合は、元の画面ボタンを押せば「設置設定」画面に戻せます。
●「機器ナビ」画面からの操作で「接続テレビ設定」画面を出している場合は、元の画面ボタンを押せば「接続テレビ設定」画面が消えます。

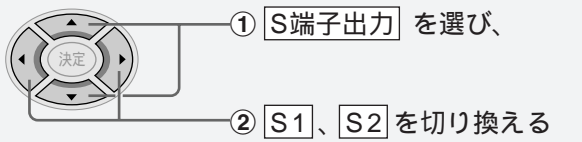
接続テレビの設定

本機は接続するテレビに合わせて映像の横縦比を切り換える機能があります。
ご使用のテレビに合わせて設定してください。

① 接続テレビ を選び、
② 切り換える

ノーマル …普通のテレビ（4：3）を接続している場合に設定してください。
ワイド …ワイドテレビ（16：9）を接続している場合に設定してください。
（ワイドテレビにD端子がなく、別の入力端子で接続している場合は、テレビ側も画面モード切り換えで、送られてくる信号に合わせて正常な映像の横縦比になるモードを選んでください。）

● 本機は画面モードの切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なる場合は、オリジナルの映像とは見え方が異なります。
この点にご留意のうえ、本機の画面モードおよびテレビ側の画面モードをお選びください。
● 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モードの切り換え機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。
● 普通のテレビ（4：3）を接続している場合に「接続テレビ」の設定を「ワイド」にすると、映像によっては変形して見えます。「ノーマル」に切り換えれば、制作者の意図を尊重したオリジナルな映像でご覧になれます。

S端子出力の設定

S1またはS2映像入力端子付きの機器に接続している場合に設定してください。
S映像入力端子付きの機器に接続している場合、設定は無効になります。

S1 …S1映像入力端子付きの機器に接続している場合に設定してください。
S2 …S2映像入力端子付きの機器に接続している場合に設定してください。

接続テレビ設定（つづき）

この見開きページは前ページからのつづきです

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

「D3」に設定する当社製のテレビ

TH-37PM2	TH-28HW3
TH-42PM2	TH-32FH10
TH-32FP10	TH-36FH10
TH-36FP10	TH-48FH10
TH-47FP10	

「525i固定」に設定する当社製のテレビ

TH-28FG15	TH-32FM10
TH-36FM10	

「1125i固定」に設定する当社製テレビ

TH-36HD1	TH-28HW1
TH-36HD2	TH-32HW1
TH-36WED1	TH-36HW1
TH-36HV1	TH-28HW2
TH-32HV10	TH-32HX1
TH-36HV10	TH-36HX1
TH-28HV20	TH-32FH1
TH-32HV20	TH-36FH1
TH-36HV30	TH-32HG1
TH-28HV40	TH-48HG1
TH-32HV40	TH-36HG1
TH-48HT1	TH-26PD1
TH-28GM1	TH-42PM1

2002年2月現在

D端子出力の設定

コンポーネントビデオ出力端子を使用している場合に設定します。接続するテレビに合わせて正しく設定してください。
正しく設定できていない場合は、映像が映らないときや、映像が映っても接続されるテレビの持っている本来の性能（画質）にならない場合があります。
出力1/2の映像端子またはS1／S2映像端子を使用してお楽しみの場合、設定する必要はありません。

① D端子出力 を選び、
② 切り換える

●「接続テレビ」の設定を「ノーマル」にしている場合、「D端子出力」は「525i固定」と「D3」の切り換えができます。
「接続テレビ」の設定を「ワイド」にしている場合、「D端子出力」は「525i固定」「1125i固定」「D3」「D2」「D4」の切り換えができます。

本機のコンポーネントビデオ出力端子に接続する機器に合わせて設定してください。

本機の設定値	D映像入力端子付き機器の場合	コンポーネントビデオ入力（Y、P_B／C_B、P_R／C_R）端子付き機器の場合
525i 固定	D1対応	525i（480i）の信号方式対応（**左記記載の「525i固定」に設定する当社製テレビ参照。**）
1125i 固定	－	1125i（1080i）の信号方式対応（**左記記載の「1125i固定」に設定する当社製テレビ参照。**）
D3	D3対応	1125i（1080i）、525i（480i）、525p（480p）の各信号方式すべてに対応（**左記記載の「D3」に設定する当社製テレビ参照。**）
D2	D2対応	525i（480i）、525p（480p）の各信号方式すべてに対応
D4	D4対応	1125i（1080i）、750p（720p）、525i（480i）、525p（480p）の各信号方式すべてに対応

お知らせ
● 本機のコンポーネントビデオ出力端子から出力される映像信号は、放送局から送られてくる信号とD端子出力の設定により異なります。詳しくは10ページをご覧ください。

ステップ 2

① 設定する を選び、
② 押す

● 設定しない場合は、「設定しない」を選んでください。「初期設定」画面に戻ります。
● 設定を変更していない場合は、「設定する」を選ぶことはできません。

ステップ 3

① はい を選び、
② 押す

●「はい」を選ぶと、設定した映像信号を15秒間、表示します。本機のコンポーネントビデオ出力端子をご使用になる場合は、15秒の間にテレビの入力切り換えを行い、正しく映るか確認してください。
● 設定しない場合は、「いいえ」を選べば、「接続テレビ設定」画面に戻ります。

ステップ 4

① はい を選び、
② 押す

● 正しく映像が映れば「はい」を選んでください。設定が完了し、「初期設定」画面が表示されます。
● 本機のコンポーネントビデオ出力端子側にテレビの入力を切り換えたとき、設定が正しくないと映像が映らない場合があります。この場合は15秒間操作しないでください。「接続テレビ設定」画面に戻りますので、元の出力1／2の映像端子またはS1／S2映像端子側にテレビの入力を戻して、再度設定を行ってください。

お知らせ
● 引き続き「B-CASカードテスト」を行う場合は44ページをご覧ください。

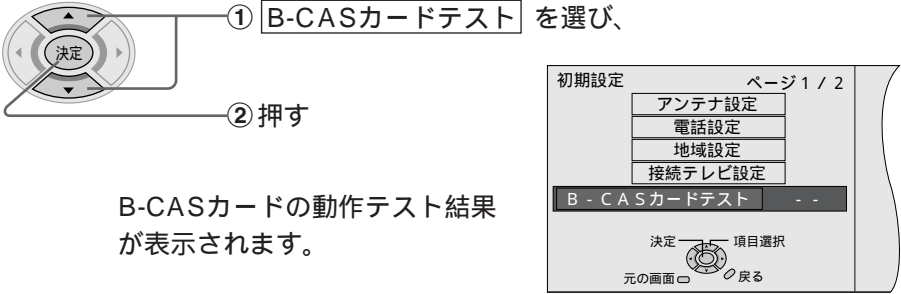
1125i 固定 に設定した場合は
「D端子出力」の設定を「1125i 固定」にした場合は、下記の点にご留意ください。
● 接続されているテレビによっては、画面モードが固定されるため、ハイビジョン放送以外の放送を画面いっぱいに広げることができない場合があります。拡大画面をご覧になりたいときは付属の映像・音声コードで本機の出力端子とテレビのビデオ入力端子を接続したうえ、テレビをビデオ入力画面に切り換えてテレビの画面モード切り換えでご希望の拡大画面をお選びください。
● 接続されているテレビによっては、映像が若干縦伸びする場合があります。この場合は、テレビ側で画面サイズを調整してください。ただし、一部機種にはこの機能がない場合があります。テレビの取扱説明書をご覧ください。

●黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

B-CASカードテスト

B-CASカードの動作テストを行います。
本機にB-CASカードを挿入してからテストを行ってください。
●「初期設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。
●「初期設定」画面の表示方法は31ページまたは45ページをご覧ください。

① B-CASカードテスト を選び、
② 押す

B-CASカードの動作テスト結果が表示されます。

OK …正常に動作しています。
NG …正常に動作していません。
B-CASカードの挿入方向が間違っていないか、使用できないB-CASカードが挿入されていないかなどを確認してください。（29ページ参照）
テスト中 …テスト中です。
ーー …テストをしていない状態です。

お願い

● B-CASカードを抜き差しした場合は、3秒以上たってからB-CASカードテストを行ってください。

お知らせ

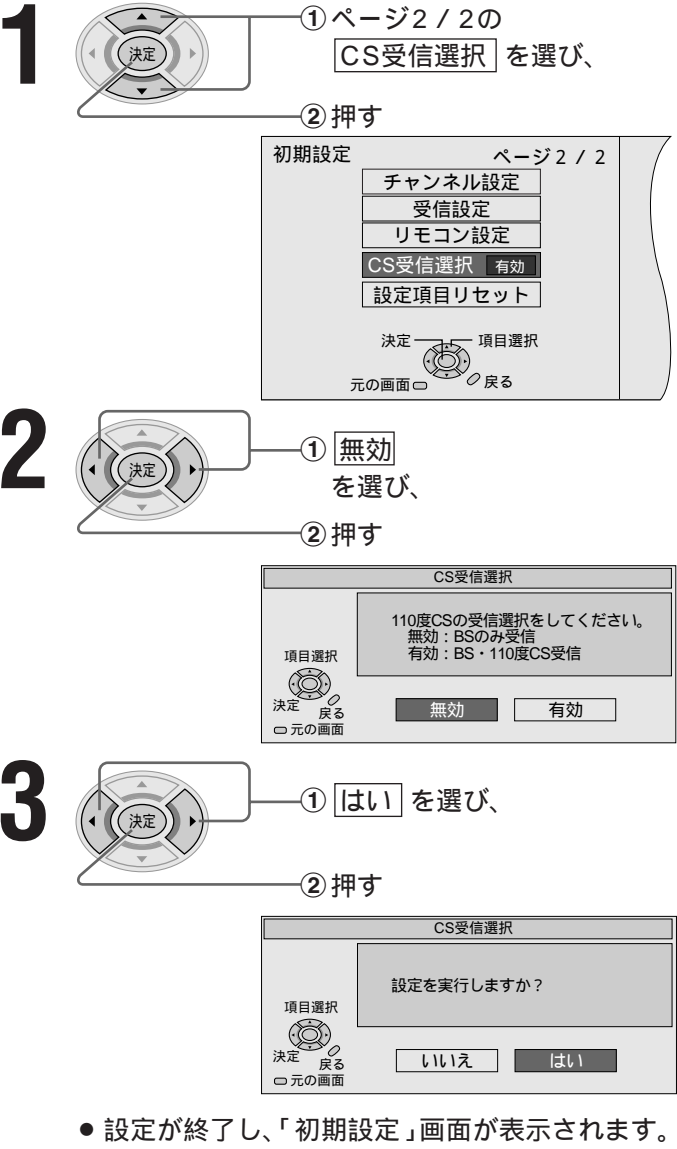
●引き続き「CS受信選択」を行う場合は、次ページをご覧ください。
●「設置設定」画面からの操作で「初期設定」画面を出している場合は、元の画面ボタンを押せば「設置設定」画面に戻せます。
●「機器ナビ」画面からの操作で「初期設定」画面を出している場合は、元の画面ボタンを押せば「初期設定」画面が消えます。

CS受信選択

本機は、工場出荷状態ではBSデジタル放送と110度CSデジタル放送を受信できる設定になっています。
BSデジタル放送だけをご覧になりたい場合は、下記の手順で設定変更してください。
●「初期設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。
（例）BSデジタル放送のみを受信する場合

1 ① ページ2／2の CS受信選択 を選び、
② 押す

2 ① 無効 を選び、
② 押す

3 ① はい を選び、
② 押す

●設定が終了し、「初期設定」画面が表示されます。

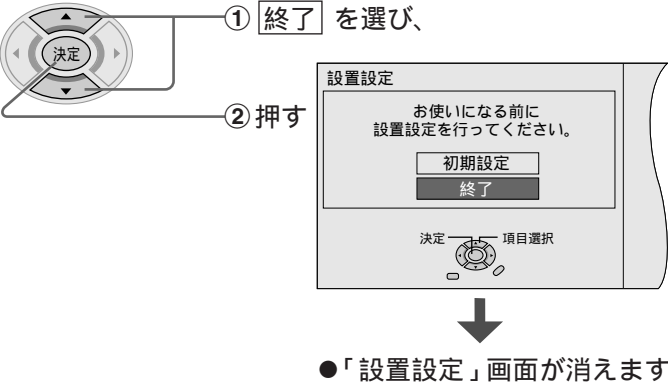
お知らせ

● BSデジタル放送と110度CSデジタル放送を受信する場合は「有効」に設定します。
● 110度CSデジタル放送の予約設定がある場合は、「無効」に設定変更できません。
●「設置設定」画面からの操作で「CS受信選択」画面を出している場合は、元の画面ボタンを押せば「設置設定」画面に戻せます。
●「機器ナビ」画面からの操作で「CS受信選択」画面を出している場合は、元の画面ボタンを押せば「CS受信選択」画面が消えます。

「設置設定」画面を消去するには

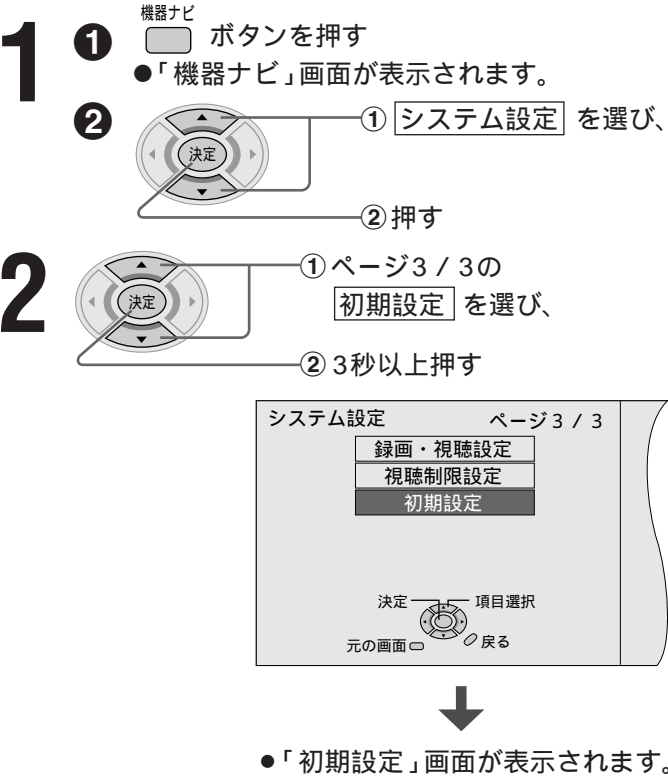
はじめて電源をオンにしたときに表示される、お買い上げいただいたお礼のメッセージや「設置設定」画面を消去する場合は次の手順で操作してください。「設置設定」画面を表示させてからの手順で説明しています。

① 終了 を選び、
② 押す

●「設置設定」画面が消えます。

お知らせ

●上記操作をすることにより、以後電源をオンにしても、お礼のメッセージや「設置設定」画面は表示されなくなり、番組を視聴するための操作が可能になります。

「初期設定」画面を表示するには

初めて電源をオンにしたときに表示される「設置設定」画面をすでに消去している場合は以下の手順に従って「初期設定」画面を表示させてください。

1 ❶ 機器ナビ ボタンを押す
●「機器ナビ」画面が表示されます。

❷
① システム設定 を選び、
② 押す

2
① ページ3／3の 初期設定 を選び、
② 3秒以上押す

●「初期設定」画面が表示されます。

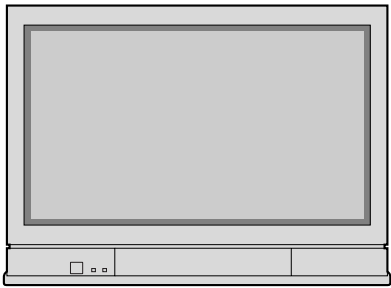
ご使用まえに / 接続と準備 / 基本の使いかた / 応用の使いかた / こだわり設定 / その他

番組を楽しむためには

さあ、BS・110度CSデジタル放送を楽しむぞ!!

❶ テレビの電源を入れる

❷ テレビ側の入力を切り換える

（例）

テレビのコンポートネント（色差）ビデオ入力2に本機を接続している場合、テレビの画面を「色差ビデオ2」に切り換えます。

❸ 本機の電源をオンにする

本機またはリモコンの電源ボタンを押す（電源表示ランプが緑色に点灯します。）

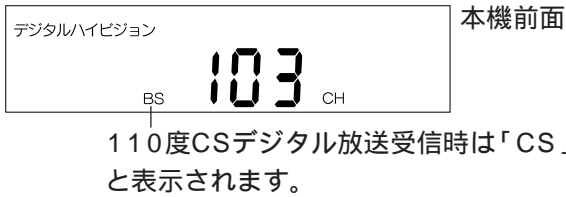
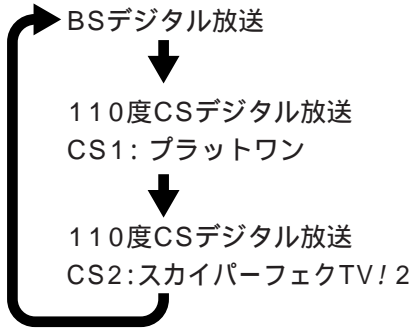
❹ 番組を選ぶ

（例）プリセット選局

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送を受信している場合は放送切換を行って視聴したい放送に切り換えてください。

放送切換 ―― **視聴したい放送に切り換える**

● つづけて押すと次のように放送が切り換わります。

本機前面

110度CSデジタル放送受信時は「CS」と表示されます。

選局したいチャンネルがプリセットされた番号を押す

工場出荷時のプリセットチャンネル

	BS	CS1	CS2		BS	CS1	CS2
1	101	001	100	6	161	900	160
2	102	999	110	7	171	700	170
3	103	963	123	8	181	―	182
4	141	011	128	9	191	090	194
5	151	055	250	0	200	―	190

※CS2では、135チャンネルもプリセットされています。79ページのお好み選局の2ページ目から選局できます。（2002年1月現在）

その他の番組やチャンネルの選び方については49～51ページ、78～83ページをご覧ください。

❺ 番組を楽しむ

● **無料**の番組や**契約済み**の番組（追加料金のかからないもの）を選んだとき
……………………そのまま楽しむことができます。

（例）

● ペイ・パー・ビュー※などの**有料番組**や**追加料金**が必要な番組を選んだとき
……………………購入の画面が表示されます。
番組の購入については52ページをご覧ください。

（例）

● **予約**しておきたい番組を選んだとき
（現在時刻以降の番組）
……………………予約の画面が表示されます。
予約の方法については55ページをご覧ください。

（例）

● **予約**の内容を**変更**したい番組を選んだとき
（現在時刻以降の予約済み番組）
……………………予約変更の画面が表示されます。
予約の変更については67ページの『「予約変更」画面について』をご覧ください。

（例）

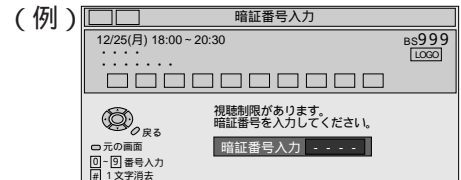
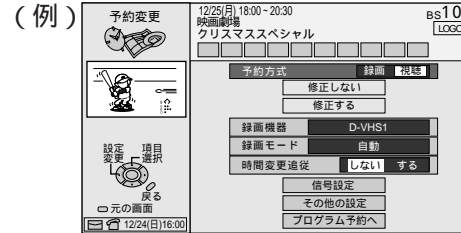
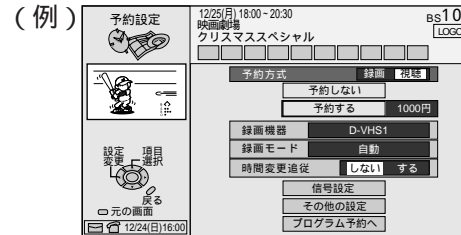
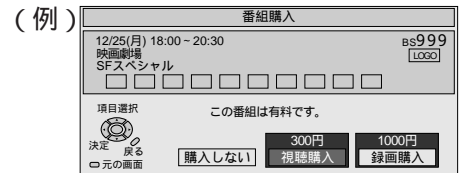
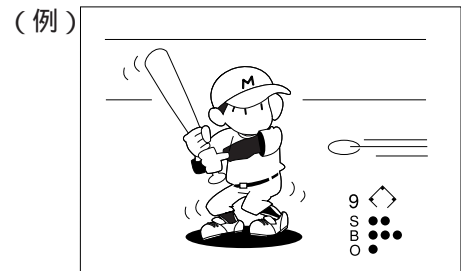
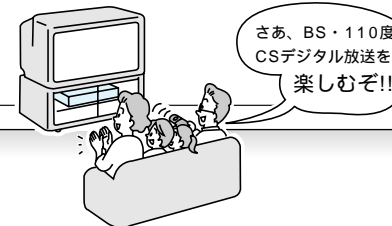
● **視聴制限**の対象になる番組を選んだとき
……………………暗証番号の入力画面が表示されます。
暗証番号を入力しないと、この番組は視聴できません。
視聴制限の解除方法は69ページ、視聴制限の設定は96ページをご覧ください。

（例）

お知らせ

● 無料チャンネルの番組は視聴できますが、有料チャンネルの番組は契約されていないと視聴できません。
※ペイ・パー・ビューとは……ご覧になった番組の分だけ料金を支払うシステムです。

番組やチャンネルの基本的な選びかた

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

放送切換（110度CSデジタル放送受信時）

45ページのCS受信選択を「有効」で、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送を受信している場合に放送切換が行えます。BSデジタル放送のみ受信の場合は、使用しません。

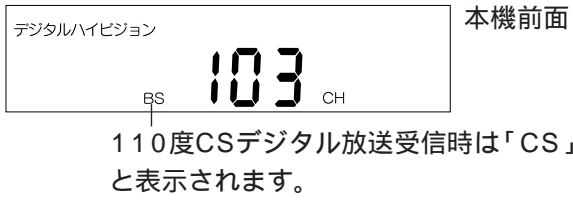
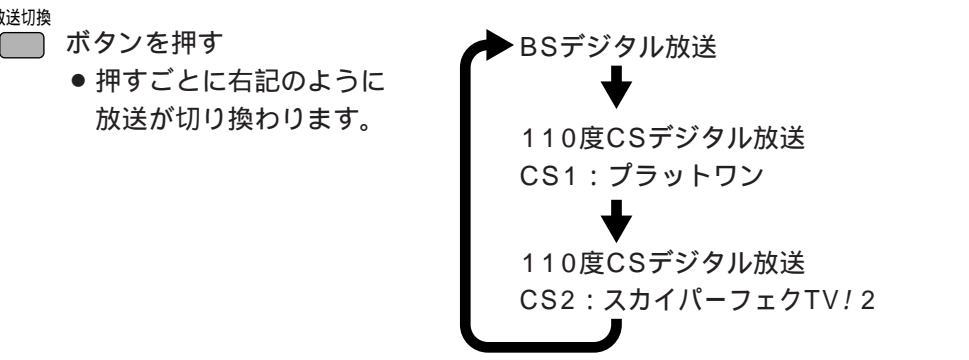
BSデジタル放送と110度CSデジタル放送のプラットワンとスカイパーフェクTV！2の放送を切り換えることができます。

放送切換 **ボタンを押す**

● 押すごとに右記のように放送が切り換わります。

BSデジタル放送
↓
110度CSデジタル放送 CS1：プラットワン
↓
110度CSデジタル放送 CS2：スカイパーフェクTV！2

本機前面

110度CSデジタル放送受信時は「CS」と表示されます。

放送を切り換えたあとは、49〜51ページ、78〜83ページの方法でチャンネルや番組を選んでください。

番号入力選局

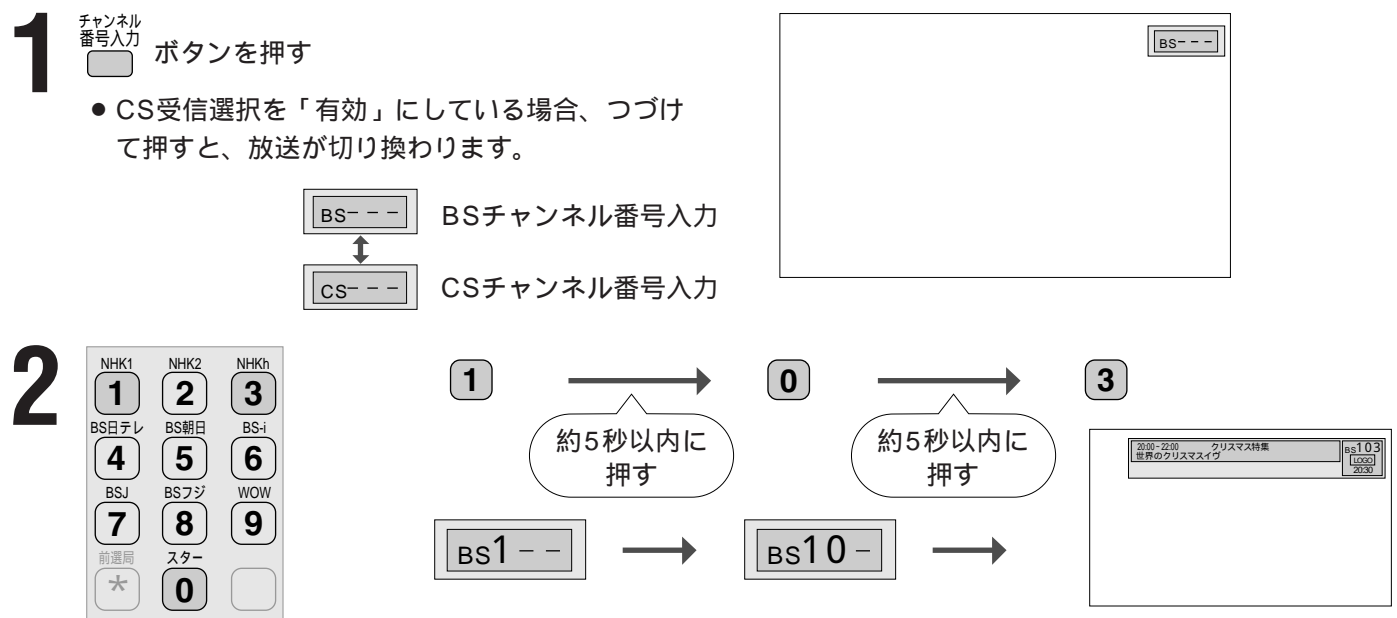
チャンネル番号入力ボタンで放送を切り換えて、チャンネル番号を入力すれば、選局することができます。

（例）BSデジタル放送の103チャンネルを選局

1 チャンネル番号入力 **ボタンを押す**

● CS受信選択を「有効」にしている場合、つづけて押すと、放送が切り換わります。

BS- - - BSチャンネル番号入力
↕
CS- - - CSチャンネル番号入力

2

プリセット選局

本機では、放送ごとにあらかじめ1〜9、0ボタンにチャンネルを設定（プリセット）しています。直接、1〜9、0ボタンを押せば、設定されているチャンネルを簡単に選局できます。

（例）BSデジタル放送の103チャンネルを選局

3 **押す**

工場出荷時のプリセットチャンネル

	BS	CS1	CS2		BS	CS1	CS2
1	101	001	100	6	161	900	160
2	102	999	110	7	171	700	170
3	103	963	123	8	181	—	182
4	141	011	128	9	191	090	194
5	151	055	250	0	200	—	190

● プリセットされているチャンネルの変更ができます。（78、94ページ）

※ CS2では、135チャンネルもプリセットされています。79ページのお好み選局の2ページ目から選局できます。（2002年1月現在）

アップダウン選局

チャンネル

リモコンのチャンネル∧∨ボタンを押すと同一放送ごとにチャンネルを順送りに選局することができます。

●「システム設定」画面の選局対象の設定で順送りできるチャンネルを変えることができます。選局対象の設定については90ページをご覧ください。

放送を切り換えたときや番号入力選局、プリセット選局、アップダウン選局を行うと選んだチャンネルで現在放送中の番組によって、以降の操作が異なります。
● 有料番組を選んだとき（52ページ参照）
● 視聴制限の対象になる番組を選んだとき（69ページ参照）

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

便利機能 マークは、便利機能ボタンが使用できる画面です。（17ページ参照）

番組表、番組予約から番組を選ぶ

番組表を見る

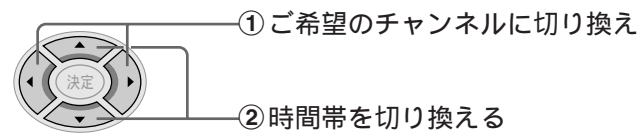
番組表では、新聞などのテレビ欄と同じように、どの番組がどのチャンネルで、どの時間帯に放送されているのかなどが簡単に確認できます。番組表は最大で8日間まで表示でき、選局や番組内容の確認もできます。

番組表 ボタンを押す

● 番組表ボタンを押すごとに番組表を表示させたり消したりできます。

番組表では、3つのチャンネルで5時間分の番組が表示できます。

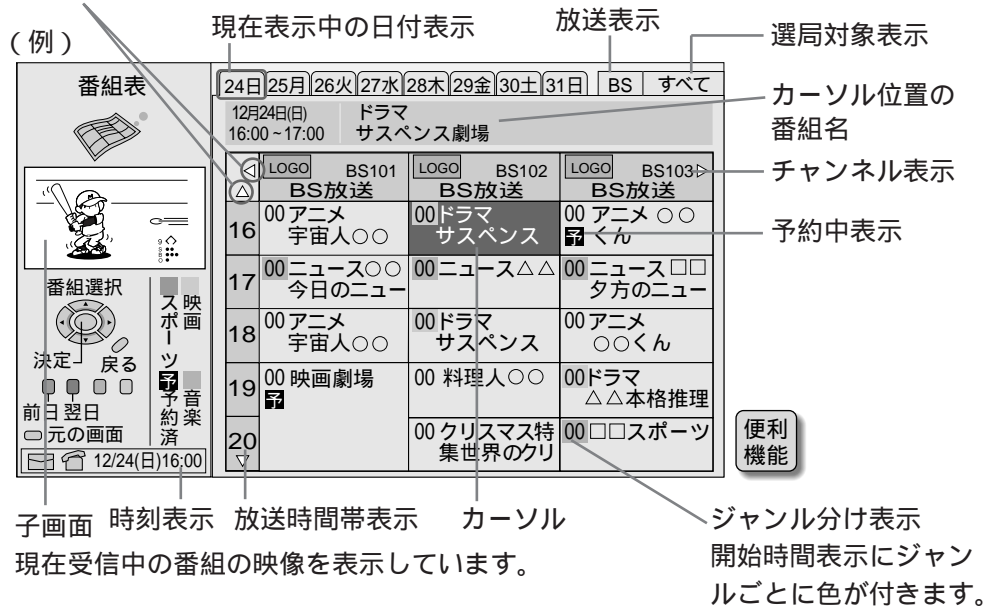
① ご希望のチャンネルに切り換え

② 時間帯を切り換える

黄色表示のときは▲▼◀▶ボタンで表示送りができます。（右端や左下にもあります。）

（例）

子画面 現在受信中の番組の映像を表示しています。

時刻表示　**放送時間帯表示**　**カーソル**

ジャンル分け表示 開始時間表示にジャンルごとに色が付きます。

番組表と番組予約のお知らせ

● 番組間の区切りが赤線のところには、画面上に表示しきれない放送時間の短い番組が存在します。赤線にカーソルを移動させると、番組名が表示されます。
● 数字ボタンを押せば、プリセットされているチャンネルが中央に表示されます。また、チャンネル番号入力ボタンを押して数字ボタンでチャンネル番号を入力すれば、指定したチャンネルが中央に表示されます。ただし、指定したチャンネルがない場合は、指定したチャンネルに近い番号のチャンネルが中央に表示されます。
● ＃ ボタンを押せば、「お好み入力」画面が表示されます。79ページのお好み選局を参考にチャンネルを選べば、選んだチャンネルが中央に表示されます。
●「選局対象」の設定により、番組表と番組予約に表示されるチャンネルが異なります。（90ページ参照）
●「選局対象」の設定により、番組表と番組予約に表示されるチャンネルが異なりますが、この設定を一時的に変更することができます。サービス切換ボタンを押せば、「選局対象」の設定を切り換えることができます。ただし、「番組表」画面、「番組予約」画面をいったん消すと元の選局対象の設定に戻ります。
● 番組内容ボタンでカーソル上の番組の詳細情報が表示できます。（71ページ参照）
● 放送局から番組の情報が送られてこない場合は番組名などが表示されない場合もあります。

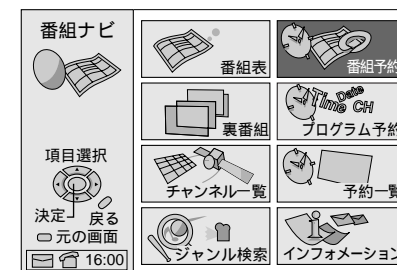
番組予約を見る

番組予約では、番組表と同様な1チャンネル分の番組表が表示されます。また、番組予約では予約の設定が行えます。

❶ 番組ナビ ボタンを押す

❷

① 番組予約 を選び、

② 押す

番組予約では、1つのチャンネルで5時間分の番組が表示できます。

① ご希望のチャンネルに切り換え

② 時間帯を切り換える

放送時間帯表示　**現在表示中の日付表示**　**チャンネル表示**　**選局対象表示**　**放送表示**

番組予約
24日 25月 26火 27水 28木 29金 30土 31日 BS すべて
12月24日(日) 18:00～20:30 映画劇場 クリスマススペシャル
BS放送 BS101
17 00 ニュース※※ 今日のニュース
18 00 映画劇場 クリスマススペシャル
19
20 00 ドキュメンタリー
21
番組選択 決定 戻る 前日 翌日 元の画面 12/24(日)16:00

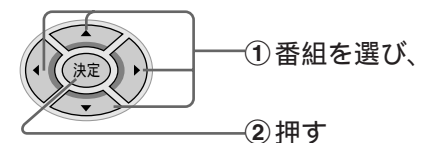
（例）便利機能

カーソル

番組を選ぶ

番組表からは、選局や番組内容を見ることができます。
番組予約からは、選局や予約することができます。
「番組表」画面や「番組予約」画面が表示された状態で、

① 番組を選び、

② 押す

選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
● 有料番組を選んだとき（52ページ参照）
● 現在時刻以降の番組を選んだとき
　番組表からは番組内容（71ページ参照）
　番組予約からは予約設定（54ページ参照）
● 視聴制限の対象になる番組を選んだとき（69ページ参照）

数日先の番組を簡単に見たいとき

「番組表」画面、「番組予約」画面を表示させている状態で、赤色ボタン、青色ボタンを押せば、簡単に見たい日付の番組を選択することができます。（7日先まで選択できます。）

赤色ボタン…翌日の番組を表示します。

青色ボタン…前日の番組を表示します。

（例）

便利機能

お知らせ

● 青色ボタンで前日に戻せますが、現在の時間より前に戻すことはできません。
● 便利機能ボタンを使っても、見たい日付の番組表が表示できます。「番組表」画面、「番組予約」画面を表示させている状態で便利機能ボタンを押してください。便利機能メニューが表示されますので、各日付表示の最後にある数字を直接数字ボタンで選べば、選んだ日付の番組が表示できます。

ご使用まえに
接続と準備
基本の使いかた
応用の使いかた
こだわり設定
その他

視聴する

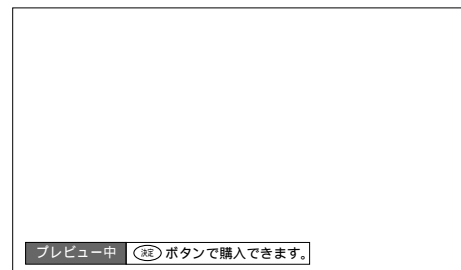
BS・110度CSデジタル放送には無料と有料のものがあります。無料チャンネルと契約済みチャンネルについては選局するだけで視聴できます。
またペイ・パー・ビュー（番組単位で購入できる）の番組を視聴や録画したいときには、表示画面上での購入操作が必要です。

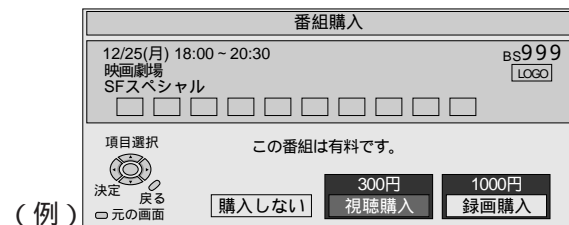
● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

有料番組（ペイ・パー・ビュー）を購入する

ペイ・パー・ビューの番組を視聴や録画したいときには、選局をすると表示される有料番組購入画面で購入操作が必要です。

1 ペイ・パー・ビューの番組を選ぶ

- 番組によってはプレビュー（選局した有料番組を購入前にわずかな時間視聴できるサービスのこと）が表示されます。
- プレビュー中のときは 決定 を押すと購入画面が表示されます。

2 ① **購入する**、**視聴購入**、**録画購入**、**購入しない** の項目を選ぶ
② 押す

（例）

購入する…番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードがかかっている番組は録画機器で録画できません。
購入しない…番組を購入しません。他のチャンネルを選局してください。

追加料金を支払えば、視聴できる場合や録画機器で録画できる場合に次の項目が表示されます。

視聴購入…番組を購入したことになり、視聴できますが、コピーガードがかかっているため録画機器では録画できません。
録画購入…番組を購入したことになり、視聴できます。録画機器で録画されるときに選択してください。

コピーガードについて

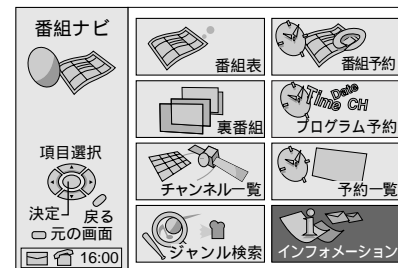
BS・110度CSデジタル放送の中にはビデオデッキなどで録画できないようにコピーガードをかけている番組があります。
コピーガードがかかっている番組を正常に録画することはできません。
コピーガードを解除できない番組の場合は **録画購入** の選択項目が表示されません。

お知らせ

- 画面に表示される購入項目は番組により異なります。例えば「購入する」が表示されているときは、「視聴購入」「録画購入」は表示されません。
- 「購入する」「視聴購入」「録画購入」の項目に表示される金額は、購入金額です。
- 購入した番組を視聴していても他のチャンネルに切り換えたり、再度購入した番組のチャンネルに戻すことができます。ただし、有料番組は購入操作が終了した時点で購入したことになり、実際には番組を視聴していなくても料金が請求されます。
- 視聴制限の対象になる番組を選局したときは、暗証番号の入力を要求する画面が表示されます。視聴制限の解除の方法は69ページをご覧ください。
- 購入した番組を録画される場合は、録画機器側の録画操作が必要です。
- 番組に追加購入の必要な信号のある場合は、追加購入の画面が表示されます。画面の説明に従って操作を行ってください。

購入記録を確認する

お客様が購入した有料番組の購入日や番組名、金額などの履歴（最新のもの25番組まで）を確認することができます。また購入した累計金額の確認や、累計金額のリセット（0円に戻す）もできます。累計金額がリセットされた項目はうすい文字で表示されます。

1 ❶ 番組ナビ ボタンを押す
❷ ① **インフォメーション** を選び、
② 押す

2 ① **購入記録** を選び、
② 押す

累計金額
（例）

- 黄色表示の△▽マークがあれば、画面上に表示しきれない項目があります。▲▼ボタンで表示送りをして確認できます。

3 元の画面 ボタンを押す（確認終了）

- 「購入記録」画面が消えます。

お願い

- 累計金額をリセットしたいときには、# ボタンを押しリセット確認画面を表示させてください。リセット確認画面では◀▶ボタンで「はい」を選び、決定 ボタンを押せば累計金額を0円に戻すことができます。0円に戻した時点から新しく購入される分より累計金額として加算されていきます。
（購入した有料番組の履歴は消すことができません。）

お知らせ

- 表示されている金額は途中で改定される場合もあり参考金額です。

予約機能について

本機の予約機能には、番組を選んで予約する機能と日時を指定して予約する機能があります。ビデオデッキなどで番組を録画する場合に予約機能を使えば録画機器への予約設定が簡単にできます。録画機器の機能や注意事項については、録画機器の取扱説明書をよくお読みのうえ予約設定を行ってください。

❶ 番組を選んで予約 55ページ

番組を選んで、予約できます。
「番組予約」画面や「ジャンル検索結果一覧」画面から、番組を選んで予約を設定します。

番組を選んだあと、下記の「録画予約」または「視聴予約」を行います。

❶ 日時を指定して予約 64ページ

日時を指定して、予約できます。
「プログラム予約」画面から、予約を設定します。

チャンネル、日時を設定したあと、下記の「録画予約」または「視聴予約」を行います。

❷

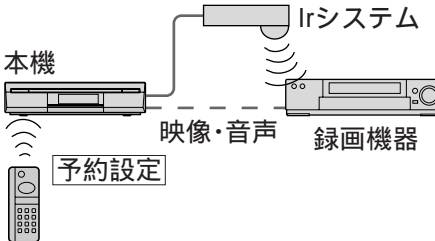
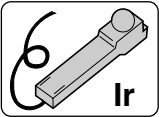
録画予約

ビデオデッキなどで録画したい場合に録画予約を設定します。55ページ〜60ページ

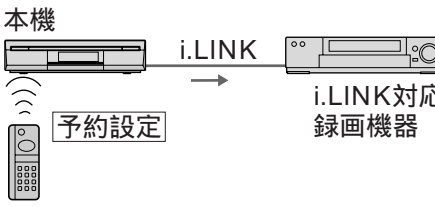
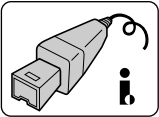
■Irシステムを使った録画予約

録画機器へリモコン信号を送信するIrシステムを使った録画予約です。Irシステムを使用した録画予約には2種類あります。

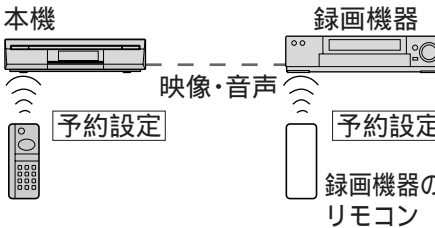
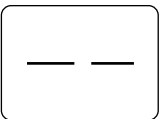
連動予約 ……… 56ページ

タイマー予約 … 57ページ

■i.LINK接続による録画予約

i.LINK接続した当社製D-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーにi.LINKケーブルを通して設定する録画予約です。

58ページ

■Irシステムとi.LINKが使用できない録画機器で録画予約

本機の録画予約のみ設定します。録画機器は録画機器側で録画予約の設定が必要です。

59ページ

視聴予約

他のチャンネルを見ていても、見たい番組の始まる時間になったら、自動的にチャンネルを切り換えてほしい場合に視聴予約を設定します。

55、61ページ

番組を選んで予約する

番組を選んで簡単に予約を設定することができます。
番組予約、ジャンル検索結果一覧表から現在時刻以降に放送開始の番組を選んで予約してください。

（例）番組予約から予約する場合

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

1 ❶ 番組ナビ ボタンを押す

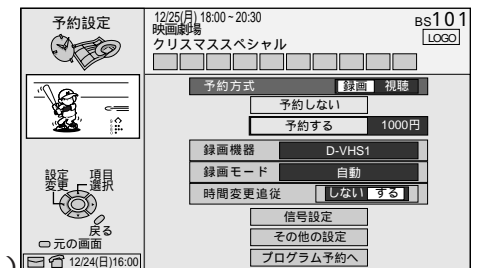
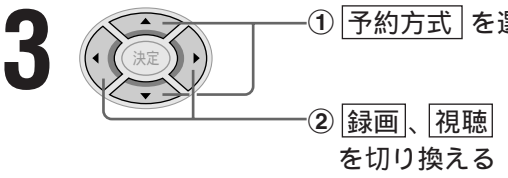
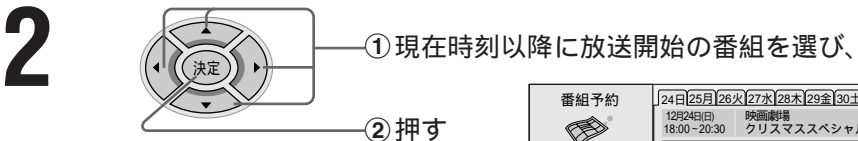
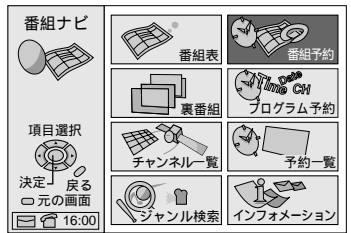
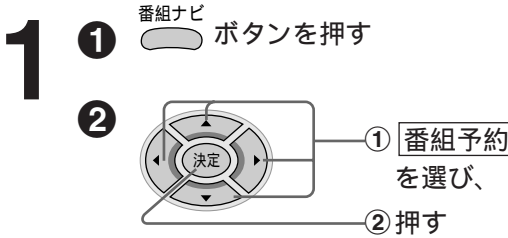
❷ ① 番組予約 を選び、
② 押す

2 ① 現在時刻以降に放送開始の番組を選び、
② 押す

（例）

便利機能

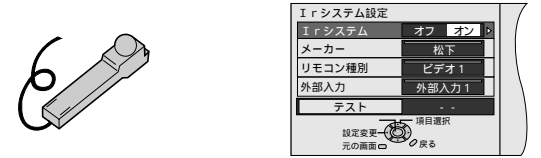
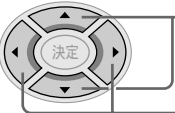
3 ① 予約方式 を選び、
② 録画、視聴 を切り換える

（例）

録画	Ir	Irシステムを使う。連動予約 56ページへ／タイマー予約 57ページへ
	i	i.LINKを使う。 58ページへ
	— —	Irシステムとi.LINKが使用できない録画機器。 59ページへ
視聴		61ページへ

便利機能 マークは、便利機能 ボタンが使用できる画面です。（17ページ参照）

お知らせ

- 「予約設定」画面に表示される金額は、購入金額です。無料の場合は表示されません。
- 視聴制限の対象になる番組を選んだときには暗証番号の入力が必要となります。視聴制限の解除の方法は69ページをご覧ください。

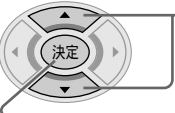
録画予約（Irシステムによる連動予約 ）

連動予約とは、予約した時刻になると、本機と接続した録画機器へ電源「入」、「録画開始」の信号を送信し、終了時刻になると「録画停止」、電源「切」の信号を送信して番組を録画する方式のことです。

特長
- 番組の時間が変更になっても追従して録画できます。
- 複数のメーカーの録画機器に使用できます。（98ページ参照）

Irシステムで予約するための準備

●Irシステム等の接続、設置　●Irシステムの設定

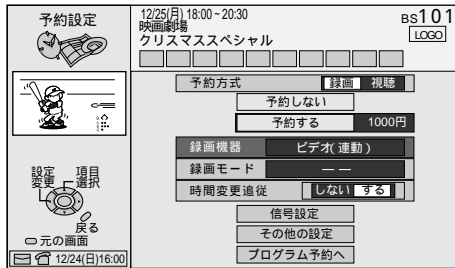
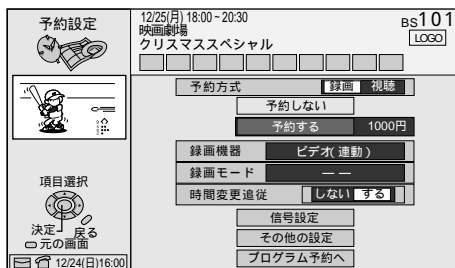
26ページ　98ページ

1 予約する番組を選び、予約方式を［録画］に設定する

●選択、設定方法は55ページをご覧ください。

2

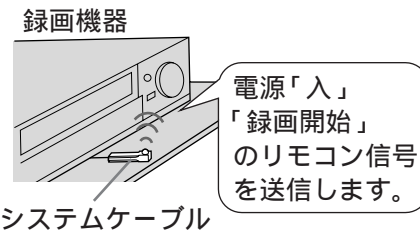
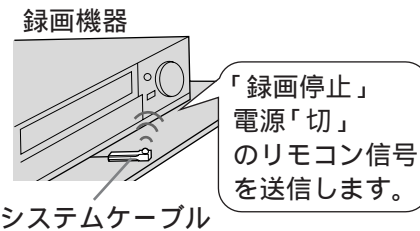
①［録画機器］を選び、
②［ビデオ（連動）］（［DVDレコーダー（連動）］）に切り換える

●「信号設定」、「その他の設定」も行えます。（62、63ページ参照）

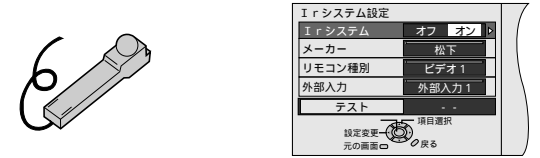
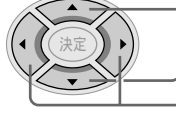
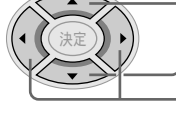
3

①［予約する］を選び、
② 押す

●予約を中止したいときは「予約しない」を選んでください。

予約したあとは

① **録画機器側の準備をする。**
- 本機を接続した外部入力に切り換える。
- 録画モードを設定する。（標準・3倍・5倍）
- 電源を「切」にする。

② **予約した時刻になるとリモコン信号を送信します。**

② **番組の終了時刻になるとリモコン信号を送信します。**

お知らせ

- 「時間変更追従」の設定は「する」にしてください。番組の開始時間が変更になっても最大3時間まで追従できます。また、録画機器の録画設定も自動的に変更されます。
- 番組の始まる直前に予約を設定しようとすると設定動作時間がないため、予約が設定できない場合があります。Irシステムを使用したDVDレコーダーの場合、予約が実行される90秒前には予約設定を終了してください。ビデオデッキの場合は、予約が実行される15秒前には予約設定を終了してください。
- 録画機器にロック機能がある場合は、解除しておいてください。また、予約録画の待機状態にはしないでください。
- 「プログラム予約」については64ページをご覧ください。

録画予約（Irシステムによるタイマー予約 ）

タイマー予約とは、本機で番組を予約した時点ですぐに、本機と接続した録画機器にタイマー予約の信号を送信する方式です。予約実行時には、録画機器は設定した外部入力、録画モードで自動的に録画を行います。

特長
- 予約の実行前に録画機器側の入力切り換えや録画モードを設定する必要がありません。
- 1989年以降発売の当社製タイマー予約機能付録画機器のみに使用できます。（98ページ参照）

Irシステムで予約するための準備

●Irシステム等の接続、設置　●Irシステムの設定

26ページ　98ページ

1 予約する番組を選び、予約方式を［録画］に設定する

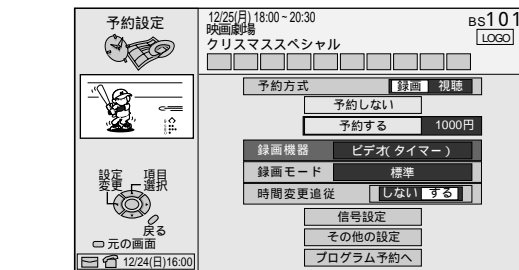
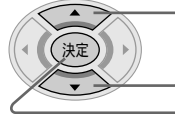
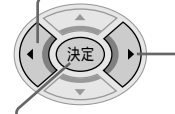
●選択、設定方法は55ページをご覧ください。

2

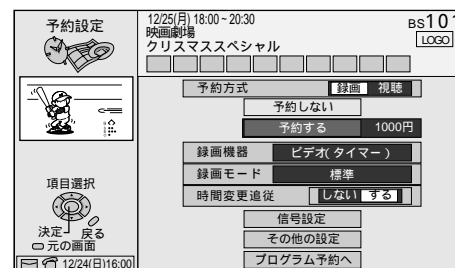
❶

①［録画機器］を選び、
②［ビデオ（タイマー）］（［DVDレコーダー（タイマー）］）に設定する

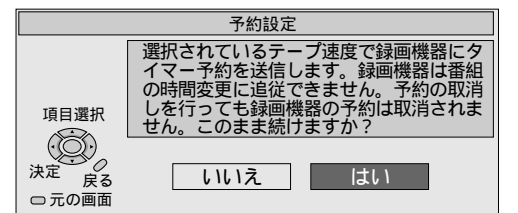
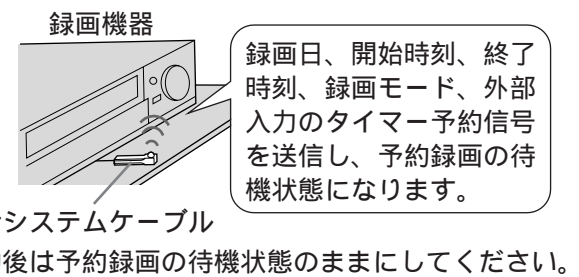
❷

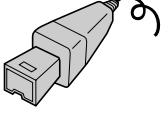
①［録画モード］を選び、
② 切り換える

ビデオの場合
［標準］、［3倍］、［5倍］、［標3］
DVDレコーダーの場合
［XP］、［SP］、［LP］、［EP］、［FR］

●「信号設定」、「その他の設定」も行えます。（62、63ページ参照）

3

①［予約する］を選び、
② 押す

●予約を中止したいときは「予約しない」を選んでください。

4

①［はい］を選び、
② 押す

予約した時点ですぐにタイマー予約信号を送信します。

予約後は予約録画の待機状態のままにしてください。

お知らせ

- 録画予約したあとは、録画機器側で予約が設定されているか確認してください。
- タイマー予約では、録画機器への予約変更ができないため、「時間変更追従」の設定はできません。
- 番組の始まる直前に予約を設定しようとすると設定動作時間がないため、予約が設定できない場合があります。
- 深夜放送の番組や24時間番組などで日付が変わっても放送される番組は、タイマー予約を行っても録画機器側の機能として、正しい時間帯の予約ができなかったり、予約が無効になる場合があります。
- タイマー予約は、Irシステム設定の「メーカー」の設定を「松下」にし、「リモコン種別」の設定を「ビデオ1～3」「DVDレコーダ1～3」に設定したときのみ設定できます。（98ページ参照）
- 「ビデオ（タイマー）」で「5倍」に対応していない録画機器の場合は「標準」で録画されます。
- 「プログラム予約」については64ページをご覧ください。

ご使用まえに
接続と準備
基本の使いかた
応用の使いかた
こだわり設定
その他

録画予約（i.LINK接続による録画予約）

当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダー（HDR）をi.LINK接続すれば簡単に予約録画が行えます。

i.LINKで予約するための準備

●i.LINKケーブル等の接続　●i.LINK接続設定の確認

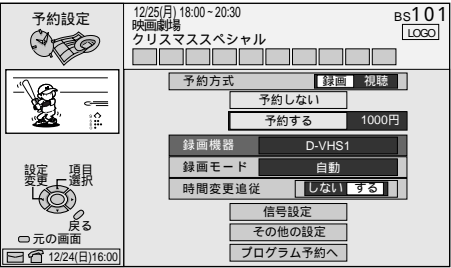
27ページ　88ページ

1 **予約する番組を選び、予約方式を 録画 に設定する**

●選択、設定方法は55ページをご覧ください。

2

① 録画機器 を選び、

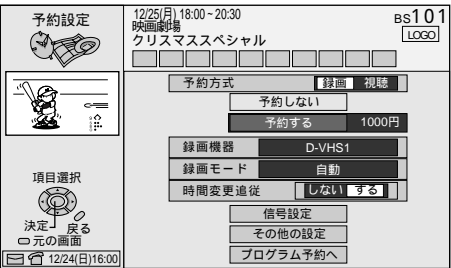
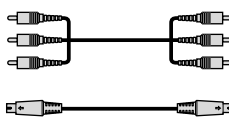
② D-VHS※（HDR※）に設定する

●「D-VHS※」「HDR※」の末尾の※印は、「i.LINK接続設定」で表示される番号です。

●デジタルで録画する場合は、「録画モード」を「自動」のままにしておいてください。

●「信号設定」、「その他の設定」も行えます。（62、63ページ参照）

3

① 予約する を選び、

② 押す

●予約を中止したいときは「予約しない」を選んでください。

●予約後は予約録画の待機状態のままにしてください。

お知らせ

● D-VHS時の「録画モード」について

自動 ………デジタルハイビジョン放送を録画時は「HS」で記録し、デジタル標準テレビ放送は「STD」で記録をします。ただし、デジタル標準テレビ放送の場合でも、放送局側の設定情報により「HS」で記録される場合もあります。また、デジタル記録できない場合は、録画機器に設定している録画モードでアナログ録画されます。

標準、3倍、5倍 ……各録画モードでアナログ録画します。設定した録画モードの機能のない録画機器の場合は、録画機器に設定されている録画モードで録画されます。

● デジタルコピーガードによってi.LINKでのデータ出力がされない番組の場合、アナログ録画になります。

● 番組の始まる直前に予約を設定しようとすると設定動作時間がないため、予約が設定できない場合があります。

●「録画機器」の項目の「D-VHS」「HDR」は「i.LINK接続設定」で「使用する」に設定していなければ表示されません。（88ページ参照）

●「時間変更追従」の設定は「する」に設定してください。番組の開始時間が変更になっても最大3時間まで追従できます。また、録画機器の録画設定も自動的に変更されます。

●「プログラム予約」については、64ページをご覧ください。

録画予約（その他）

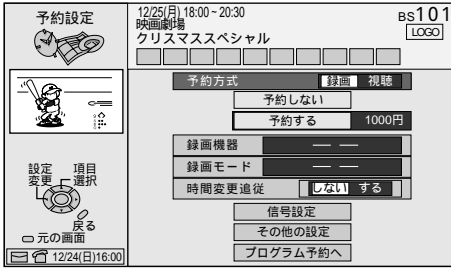
Irシステムやi.LINKが使用できない録画機器の場合、本機の予約設定と録画機器側の予約設定を行う必要があります。

録画するための準備

●本機と録画機器の接続

26ページ

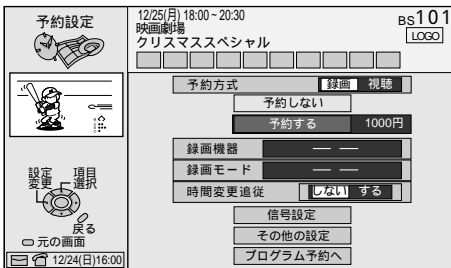
1 **予約する番組を選び、予約方式を 録画 に設定する**

●選択、設定方法は55ページをご覧ください。

●「信号設定」、「その他の設定」も行えます。（62、63ページ参照）

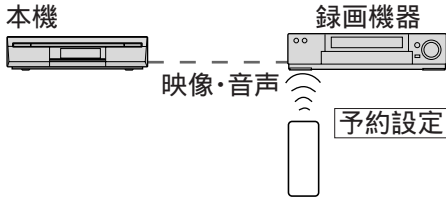
●「録画機器」の設定は「ーー」のままで使用できます。

2

① 予約する を選び、

② 押す

●予約を中止したいときは「予約しない」を選んでください。

予約したあとは

録画機器側で本機と接続した外部入力や予約設定時間を設定してください。

録画機器側のリモコン等で録画機器に予約設定する

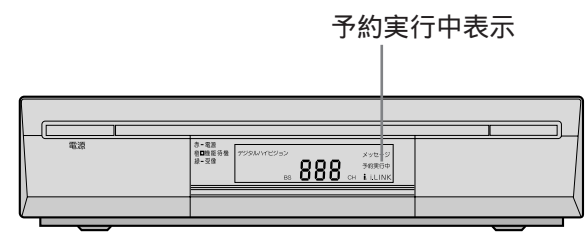
お知らせ

●「プログラム予約」については64ページをご覧ください。

録画予約したあとは

次の点にご留意ください。
- ６６ページの「予約一覧」画面で正しく予約が設定できているか確認してください。
- 「録画」で予約をしても、コピーガードがかかっている番組は録画機器で正しく録画することができません。
- 予約が始まる5秒前にチャンネルを選局します。異なるチャンネルで時間が連続する番組を予約する場合、先に予約した番組は終了時間5秒前に録画が終了します。
- 番組によっては放送時間が変更される場合があります。「時間変更追従」の設定を「する」にすれば、最大3時間まで時間変更に対応できます。
  また「時間変更追従」の設定は、事前に、システム設定の「録画・視聴設定」で設定することができます。「録画・視聴設定」画面の表示のさせかたは20ページをご覧ください。
- 録画予約したあとの録画機器の機能や注意事項については、録画機器の取扱説明書をよくお読みください。

（予約番組が始まる前は）
本機は自動的に電源をオンにし、予約番組への切り換え動作を行います。

（予約した番組が始まると）
本機前面の予約実行中表示が点灯し、**本機前面の電源ボタン以外は操作できなくなります。**
ただし、データ放送の番組の場合、データ放送で使用するボタンは操作できます。

予約実行中表示

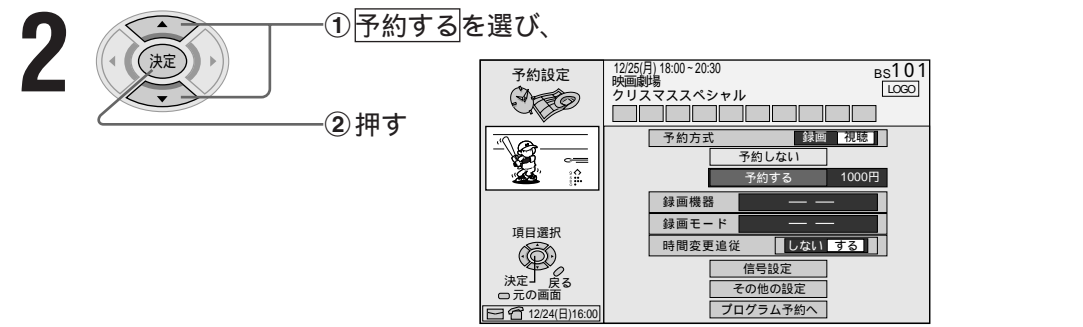
予約した番組が始まると、予約実行中表示が点灯します。

視聴予約

視聴予約を設定すれば、他のチャンネルを視聴中のとき、予約した番組が始まる時間になるとチャンネルを切り換えます。

1 **予約する番組を選び、予約方式を 視聴 に設定する**
- 選択、設定方法は55ページをご覧ください。

2

①**予約する**を選び、
②**押す**

- 「信号設定」、「その他の設定」も行えます。（62、63ページ参照）

お知らせ
- 「プログラム予約」については、64ページをご覧ください。

視聴予約したあとは

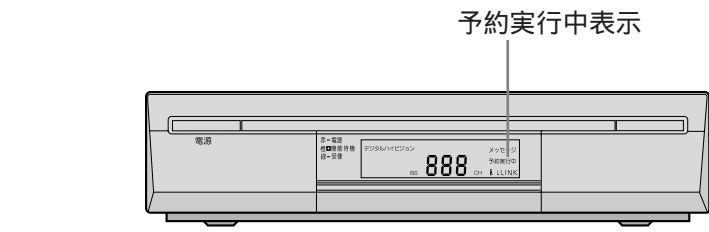
次の点にご留意ください。
- ６６ページの「予約一覧」画面で正しく予約が設定できているか確認してください。
- 予約した番組が始まる20～30秒前には本機の電源をオンにしておいてください。
  電源をオフにしていると予約が無効になります。

（予約した番組が始まると）
本機前面の予約実行中表示が点灯します。

（予約実行中は）
通常操作はできますが、操作すると予約が中断される場合があります。

予約実行中表示

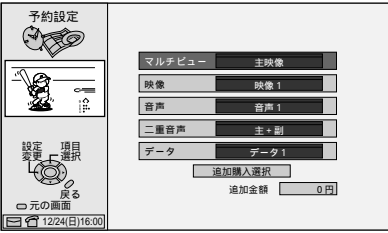
予約した番組が始まると、予約実行中表示が点灯します。

ご使用まえに / 接続と準備 / 基本の使いかた / 応用の使いかた / こだわり設定 / その他

信号設定、その他の設定について

信号設定

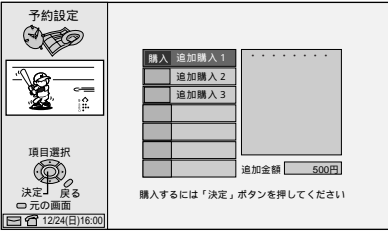
予約実行時の「マルチビュー」「映像」「音声」「二重音声」「データ」の状態を設定します。また、追加購入が必要な信号の選択もできます。

1 「予約設定」画面から「信号設定」を選び、決定ボタンを押す

2 ①項目を選び、②設定を変更する

マルチビュー…番組がマルチビュー放送の場合に番組を設定します。
映像………映像が複数ある場合に映像を設定します。
音声………音声が複数ある場合に音声を設定します。
二重音声…二重音声の場合に「自動」、「主」、「副」、「主＋副」を設定します。「自動」に設定すると予約方式が「視聴」の場合、予約時に設定されている二重音声の設定になり、「録画」の場合、「主＋副」の設定になります。
データ……データが複数ある場合にデータを設定します。「ーー」に設定すると、予約実行時に、データ放送の指示にしたがいデータ放送画面を表示します。必ず表示させたい場合は、「ーー」以外を選択してください。

追加購入選択について

番組の中に購入が必要な信号がある場合、▲▼ボタンで「追加購入選択」を選び、決定ボタンを押すと表示される「追加購入選択」画面で信号を購入設定できます。

①購入したい信号を選び、
②押す

- 購入選択した信号には購入アイコンが表示されます。
- 購入を取消したいときは、再度決定ボタンを押してください。
- 購入選択を終る場合は戻るボタンを押してください。

3 戻るボタンを押す（設定終了）

- 前の画面に戻ります。

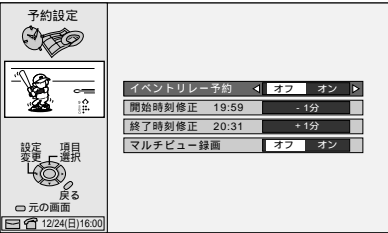
お知らせ

- i.LINK接続を使用してデジタル録画する場合は、録画する信号の優先順位の設定になります。信号によっては、自動的に複数の信号を録画する場合もあります。
- 「プログラム予約」から「信号設定」画面を表示させた場合、「二重音声」の項目のみ表示されます。

その他の設定

信号設定などの他にも設定できる内容があります。

1 「予約設定」画面から「その他の設定」を選び、決定ボタンを押す

2 ①項目を選び、②設定を変更する

イベントリレー予約…予約した番組と同様な番組が引き続き別のチャンネルで行われる場合に続けて予約を実行したいときは「オン」に設定します。ただし、1つ前の「予約設定」画面で「時間変更追従」を「しない」に設定しているとイベントリレー予約は無効になります。
開始時刻修正……予約を実行する時間が番組の開始時刻の1分前まで修正できます。
終了時刻修正……予約を終了する時間が番組の終了時刻の1分後まで修正できます。
マルチビュー録画…予約した番組がマルチビュー放送の場合に、副番組も同時に録画したいときは「オン」に設定します。i.LINK接続の機器にデジタル録画予約する場合に設定できます。
また、「マルチビュー録画」の設定は、事前に、システム設定の「録画・視聴設定」で設定することができます。「録画・視聴設定」画面の表示のさせかたは20ページをご覧ください。

3 戻るボタンを押す（設定終了）

- 前の画面に戻ります。

お知らせ

- 「プログラム予約」から「その他の設定」画面を表示させた場合、「マルチビュー録画」の項目のみ表示されます。

日時を指定して予約する（プログラム予約）

本機は番組ごとに予約する機能の他に、日時を指定して予約できるプログラム予約機能があります。また、毎週放送される連続ドラマなど曜日を指定して毎週予約を実行することもできます。

（例）103チャンネルの1月1日12：00〜14：00に予約設定する場合

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

1

❶ 番組ナビ ボタンを押す

❷

① プログラム予約 を選び、
② 押す

- 暗証番号が未登録の場合、暗証番号の登録画面が表示されます。
- 視聴年齢制限を設定している場合、暗証番号の入力画面が表示されます。
- 暗証番号を入力せずに、数秒経過すると暗証番号登録画面または暗証番号入力画面が消えます。この場合に続けてプログラム予約を設定すると予約実行時に視聴制限のある番組は視聴、録画ができなくなります。
- 暗証番号については96ページをご覧ください。

2

① 予約チャンネル を選び、
② 予約したいチャンネルを選ぶ

103チャンネルの場合

- 決定 ボタンを押せば、1 〜 0 ボタンでチャンネルを選ぶこともできます。
（ ＃ ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

3

① 曜日/日 を選び、
② 予約する日を選ぶ

1月1日（月）の場合

◀▶ボタンを押していくと、下記のように設定が切り換わります。

お知らせ

- 「曜日/日」の設定は赤ボタンと青ボタンで「日付指定」「毎日」、「毎週（日）」の設定値へ移動できます。

4

① 開始時刻 を選び、
② 予約を開始する時間を選ぶ

12：00の場合

- 決定 ボタンを押せば、1 〜 0 ボタンで開始時刻を設定することもできます。
（ ＃ ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

5

① 終了時刻 を選び、
② 予約を終了する時間を選ぶ

14：00の場合

- 決定 ボタンを押せば、1 〜 0 ボタンで終了時刻を設定することもできます。
（ ＃ ボタンを押すごとに最後の桁を取消すことができます。）

6

① 次へ を選び、
② 押す

「予約設定」画面が表示されますので、続けて55ページ手順 **3** から予約設定を行ってください。

55ページの手順 **3** へ

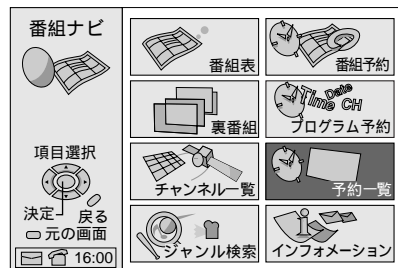
お知らせ

- 番組を選んで予約を設定したい場合は、▲▼ ボタンで「番組予約へ」を選び、決定 ボタンを押してください。55ページの手順 **2** の「番組予約」画面が表示されます。

ご使用まえに
接続と準備
基本の使いかた
応用の使いかた
こだわり設定
その他

予約の確認、変更、取消しをする

「予約一覧」画面では、予約された番組の確認、変更、取り消しができます。
また、予約が実行された番組も確認できます。

1
❶ 番組ナビ ボタンを押す
❷ ① 予約一覧 を選び、② 押す

2 一覧内に黄色表示の△▽マークがあれば、表示送りをして、予約番組の確認をする

（例）

CH	日付	時刻	番組名
視聴 BS 501	12/14（木）	19:00 20:00	○○シリーズ ○○スポーツ
録画 BS 101	12/15（金）	19:00 20:00	○○シリーズ ○○ミュージック

● **予約の変更、取消しをしたいとき**
▲▼ボタンで予約を選び、決定ボタンを押す → 「予約変更・取消し確認」画面が表示されます。 **次ページへ**

● **実行済みの予約の履歴を消したいとき**
▲▼ボタンで予約を選び、決定ボタンを押す → 「履歴削除確認」画面が表示されます。 **次ページへ**

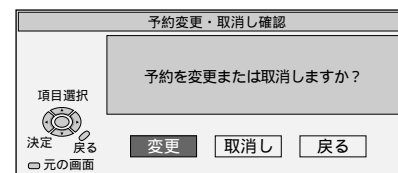
3 元の画面 ボタンを押す（確認終了）
●「予約一覧」画面が消えます。

お知らせ
● 8件を超える予約内容は、▲▼ボタンで表示送りをして確認できます。
●「予約一覧」画面でグレー表示されている内容は、実行済の予約履歴です。

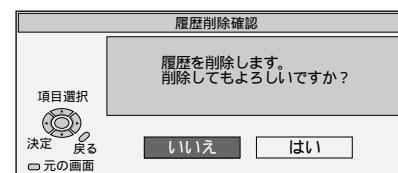
● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

マークは、便利機能ボタンが使用できる画面です。
（17ページ参照）

予約の変更、取消しをしたいとき

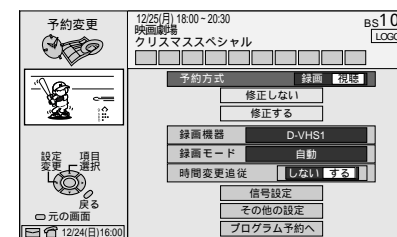
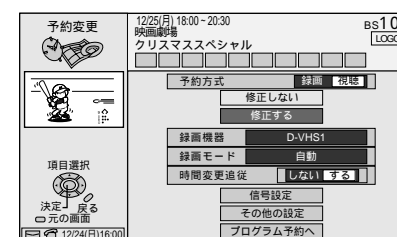
◀▶ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。

● 予約を変更したい場合は、「変更」を選んでください。「予約変更」画面（右記参照）または「プログラム予約」画面（64ページ参照）が表示されます。
● 予約を取消したい場合は、「取消し」を選んでください。
●「戻る」を選べば、「予約一覧」画面に戻ります。

実行済みの予約の履歴を消したいとき

◀▶ボタンで項目を選び、決定ボタンを押す。

● 予約の履歴を消したいときは「はい」を選んでください。
●「いいえ」を選べば、「予約一覧」画面に戻ります。

「予約変更」画面について

すでに予約した番組を選んだ場合、予約の設定内容を変更できる「予約変更」画面が表示されます。

1 変更したい項目を選び、設定を変更する

2 ① 修正する または、 修正しない を選び、② 押す

元の画面に戻ります。

修正する を選ぶと
● すでに予約している番組の音声や字幕などの設定を変更された状態で予約します。ただし、本機からはIrシステムを使用したタイマー予約で、録画機器に設定した予約の変更はできません。録画機器側で変更操作をしてください。

修正しない を選ぶと
● 予約の修正を行わずに前の画面に戻ります。

お願い
● 予約実行開始の約2分前からは、予約の設定を変更しないでください。
予約が正しく実行されない場合があります。

お知らせ
● 予約を取消したい場合は、「予約一覧」画面で予約の取消しができます。（☞66ページ）

予約の留意点

番組を予約したあとは、次の点にご留意ください。

- 有料番組を予約した場合は、予約が実行されれば自動的に番組が購入されます。
- 有料番組の予約が実行されると実際には視聴や録画をされていなくても料金が請求されます。
- 「アンテナ設定」画面と「受信設定」画面を表示中に予約が始まると予約が無効になります。

予約を中止したい場合

（まだ予約が実行されていない場合は）

- 「予約一覧」画面から予約を削除できます。（66ページ参照）
  ただし、タイマー予約の場合は、録画機器側の予約も削除する必要があります。また、i.LINK接続した機器から予約した場合は、予約を設定した機器で削除してください。

（予約が実行されている場合は）

- 「録画」で予約の場合は、本機前面の電源ボタンで電源オフにすれば予約が中止されます。
- 「視聴」で予約の場合は、電源オフやチャンネルを切り換えると予約が中止されます。
- 予約を中止した場合、タイマー予約やi.LINK接続した機器からの予約のときは録画機器側の予約は中止できません。録画機器側で操作してください。

予約の優先順位について

予約した番組の放送開始時間が他の予約した番組と重なってしまったときは、本機内部で優先順位をつけ、自動的に予約動作を行います。

予約の優先順位

❶放送開始時間の早い番組を優先
　[　　　]部分：録画しません

❷開始時刻が同じ場合ペイ・パー・ビュー番組を優先
　[　　　]部分：録画しません

ペイ・パー・ビュー番組
ペイ・パー・ビュー以外の番組

※ペイ・パー・ビュー番組同士、またはペイ・パー・ビュー以外の番組同士の場合はチャンネル番号の小さい番組を優先します。

お知らせ

- 録画機器側で別の予約を設定されて予約が重なった場合などは、ご希望の番組が録画できない場合があります。
- 一度開始した予約動作を中止して他の予約を実行することはありません。
- 予約が重なった場合、開始時間の遅い番組の予約は、先の予約の終了後、途中から予約を実行します。

予約時のメッセージについて

予約できません。

契約されていないチャンネルの番組を予約操作した場合、番組の予約はできません。

**予約がいっぱいです。
予約を削除してから
やり直してください。**

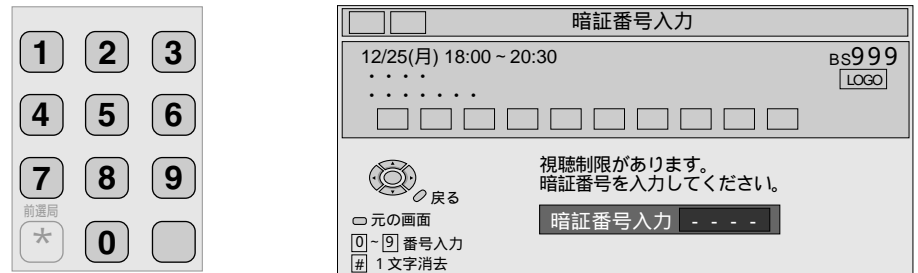
予約がいっぱい（最大24個）の場合、さらに番組を予約したいときは「予約一覧」画面で予約を削除してから、もう一度予約してください。（66ページ参照）

**予約が完了しました。
予約が重複しています。
予約が実行されない場合があります。**

すでに予約されている番組と同じ時間帯の番組を予約したときは、予約の優先順位により、予約が実行されない場合があります。
重なった予約を削除したい場合は「予約一覧」画面で予約を削除してください。（66ページ参照）

視聴制限を解除したいとき

視聴制限の対象になる番組を選んだとき

選局した番組がお客様の設定された制約（視聴可能年齢／一番組限度額）の対象になる場合には、「暗証番号入力」画面が表示されます。
リモコンの 1 ～ 9 、0 ボタンで4桁の暗証番号を入力すれば、視聴制限が一時解除できます。視聴制限を一時解除すると、本機の電源をオフにするまで解除状態が続きます。ただし、一番組限度額の対象になる番組を選んだ場合は、視聴制限を解除しても必ず「暗証番号入力」画面が表示されます。

- # ボタンを押すごとに最後の桁を取り消すことができます。

お願い

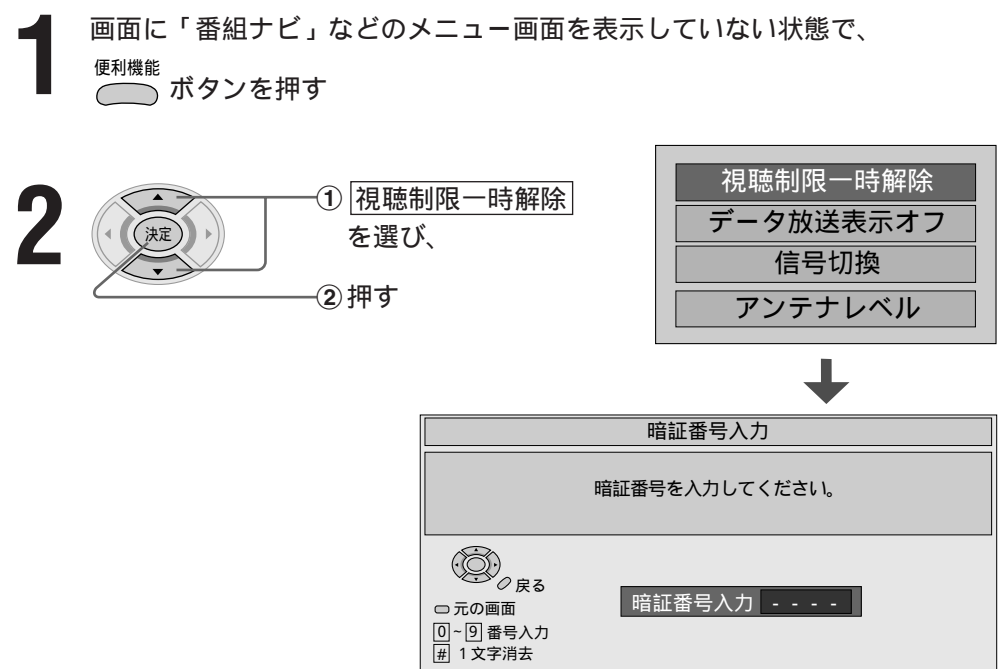
- 暗証番号を間違えると再度「暗証番号入力」画面が表示されます。暗証番号を確認のうえ入力してください。

便利機能ボタンで視聴制限を一時解除したいとき

便利機能ボタンで、あらかじめ視聴制限を一時解除させることができます。視聴制限一時解除は本機の電源をオフするまで解除状態が続きます。ただし、一番組限度額の対象になる番組を選んだ場合は、視聴制限を解除しても必ず「暗証番号入力」画面が表示されます。

1 **画面に「番組ナビ」などのメニュー画面を表示していない状態で、便利機能 ボタンを押す**

2 ① **視聴制限一時解除 を選び、** ② **押す**

視聴制限一時解除
データ放送表示オフ
信号切換
アンテナレベル

- # ボタンを押すごとに最後の桁を取り消すことができます。
- 4桁の暗証番号を入力することにより視聴制限が一時解除されます。

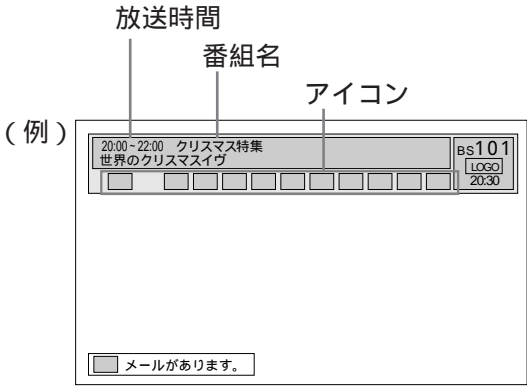
ご使用まえに
接続と準備
基本の使いかた
応用の使いかた
こだわり設定
その他

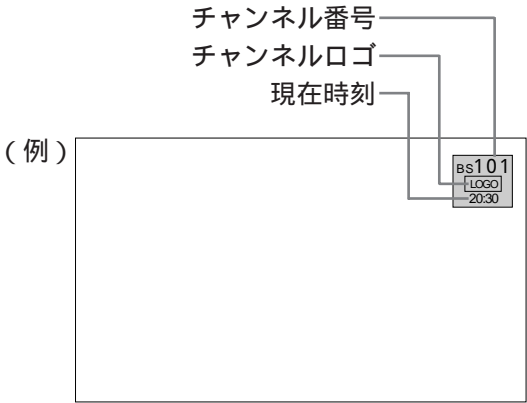
番組の内容を見る

本機では、画面表示ボタンや番組内容ボタンで簡単に番組の内容を確認できます。

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

視聴中の番組情報を見る

画面表示 ボタンを押す

● 現在選局中の番組名、放送時間、その番組に関するアイコンや未読メール表示、現在時刻などが表示されます。

約7秒後

● チャンネルロゴ、チャンネル番号、現在時刻が表示されます。
● もう一度 画面表示 ボタンを押すと表示が消えます。

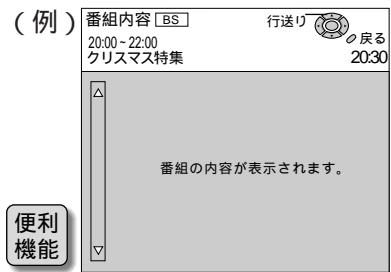
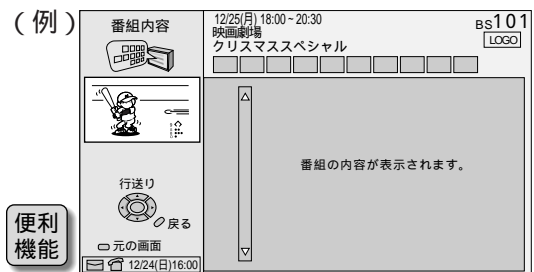
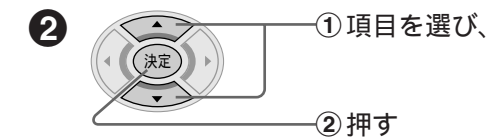
お知らせ
● 現在時刻は、衛星電波で送られてくる情報から表示しています。
本機で時刻設定をする必要はありません。

便利機能 マークは、便利機能 ボタンが使用できる画面です。
（17ページ参照）

番組の詳細情報を見る

1 番組内容 ボタンを押す

「視聴可能年齢」に設定した視聴制限の対象になる番組を選んだときは暗証番号の入力が必要です。（69ページ参照）暗証番号入力後は、再度 番組内容 ボタンを押してください。

番組視聴中、「裏番組」画面表示中に 番組内容 ボタンを押した場合

「番組表」画面、「番組予約」画面、「ジャンル検索結果」画面表示中に 番組内容 ボタンを押した場合

● 黄色表示の△▽マークがあれば、画面上に表示しきれない情報があります。▲▼ボタンで表示送りをして確認してください。
● 番組内容に複数の項目があれば、便利機能 ボタンで簡単に内容確認ができます。

● 選んだ項目の番組内容が表示されます。
● 便利機能メニューの各項目の最後にある数字を直接 1 〜 3 ボタンで入力しても、選んだ項目の番組内容が表示されます。

● 前の画面に戻ります。

お知らせ
● 再度、番組内容 ボタンを押しても前の画面に戻せます。

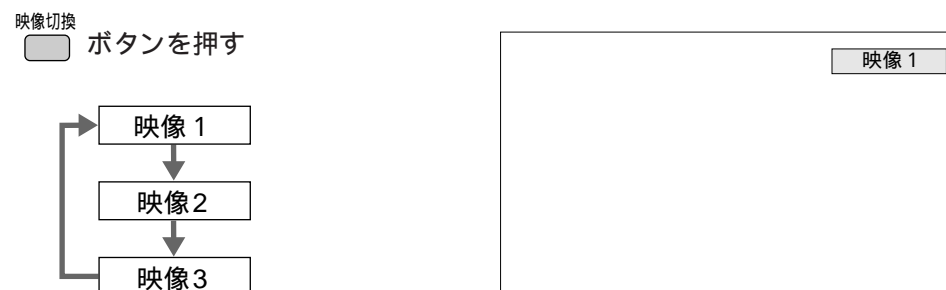
信号を切り換えて楽しむ

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

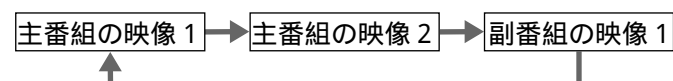
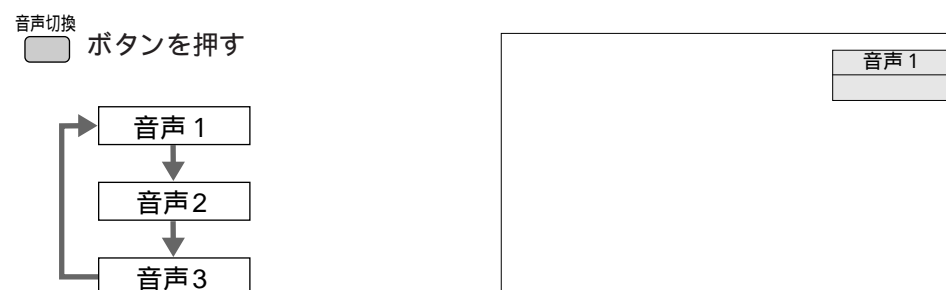
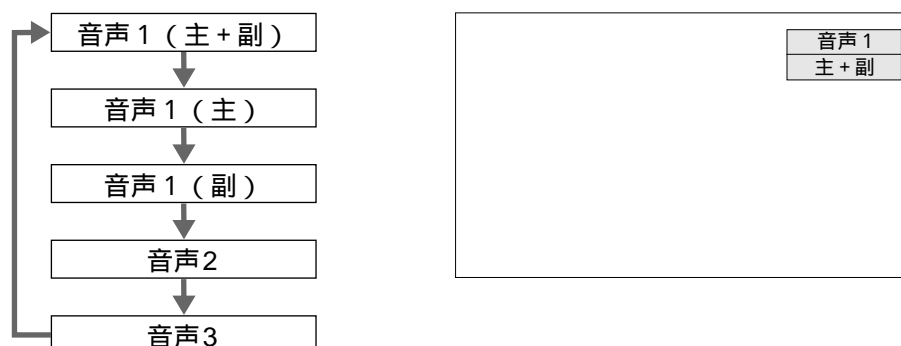
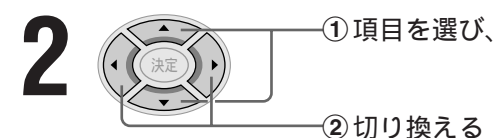
映像、音声信号を切り換えて楽しむ

番組により、映像や音声などの信号を切り換えて楽しむことができます。
切り換え可能な信号の内容は番組により異なります。また切り換えた信号が有料な場合もあります。

映像信号を切り換える場合

ボタンを押す

- 番組に複数の映像があれば、切り換えができます。
- マルチビュー放送の場合は主番組、副番組の切り換えができます。副番組は最大で2つあります。
  また、主番組、副番組に複数の映像がある場合も映像の切り換えができます。
  （例）主番組に2つの映像、副番組に1つの映像がある場合

音声信号を切り換える場合

音声切換 **ボタンを押す**

- 番組に複数の音声があれば、切り換えができます。
- 切り換えた音声が二重音声の場合は下図のように切り換わります。
  （例）音声1が二重音声の場合

二重音声について

二重音声には2種類あります。
- 二ヵ国語放送
  主音声（日本語）と副音声（外国語）を選んで聞ける情報（主音声で外国語、副音声で日本語が送信される場合もあります。）
- 音声多重放送
  主音声とは別の音声（副音声）を選んで聞ける情報

いろいろな信号を切り換えて楽しむ

映像信号、音声信号の他、データ放送やマルチビュー放送、字幕の信号を切り換えて楽しむことができます。
切り換えが可能な信号の内容は番組により異なります。また切り換えた信号が有料な場合もあります。

1 ❶ **画面に「番組ナビ」画面などのメニュー画面を表示していない状態で** 便利機能 **ボタンを押す**

❷ ① 信号切換 **を選び、**
② **押す**

2 ① **項目を選び、**
② **切り換える**

信号切換		
	マルチビュー	主番組
	映像	映像1
	音声	日本語
	二重音声	主＋副
	データ	データ1
	字幕	オフ　オン
	字幕言語	日本語　英語

マルチビュー	…マルチビュー放送の場合に、主番組、副番組の切り換えができます。
映像	…番組に複数の映像が存在する場合、別の映像に切り換えることができます。
音声	…番組に複数の音声が存在する場合、別の音声に切り換えることができます。
二重音声	…「主」／「副」／「主＋副」の切り換えができます。二重音声の情報がない場合は、切り換えても無効です。
データ	…番組に複数のデータが存在する場合、別のデータに切り換えることができます。
字幕	…字幕を表示したい場合は「オン」に切り換えます。字幕のない番組では、切り換えても無効です。
字幕言語	…字幕の言語（「日本語」／「英語」）を切り換えできます。切り換えた言語の情報がない場合は、切り換えても無効です。

- 切り換えた信号が有料サービスの場合は、「追加購入」画面が表示されます。画面の説明に従って、操作してください。

3 戻る **ボタンを押す（切換終了）**

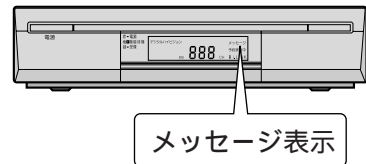
- 「信号切換」画面が消えます。

お知らせ
- 「二重音声」と「字幕」、「字幕言語」はチャンネルを変えても最後に設定した状態を保持します。
- 「字幕」と「字幕言語」の設定を切り換えると「システム設定」の「字幕」と「字幕言語」の設定も切り換わります。（91ページ参照）

メール、ボードを確認する

本機は、BS・110度CSデジタル放送からのメールと110度CSデジタル放送のボードを見ることができます。

メールを見る

メールとはBS・110度CSデジタル放送の受信者および加入者に送られるメッセージです。
未読メールがあるときには、本機前面のメッセージ表示が表示されます。メールの内容には電話回線の通信異常や、予約番組の無効内容、機能向上のためのダウンロード情報などもありますので、本機前面にメッセージ表示が表示されているときは、下記の手順で届いたメールの内容を必ず確認してください。

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

1 ❶ 番組ナビ ボタンを押す
❷ ① インフォメーション を選び、 ② 押す

2 ① メール を選び、 ② 押す

3 ① 確認したいメール項目を選び、 ② 押す

(例)

未読メール表示

既読メール表示

4 内容を確認する

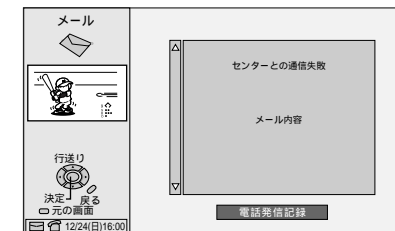
(例)

● 他のメールを読みたいときは 戻る ボタンを押し、手順**3**から操作してください。

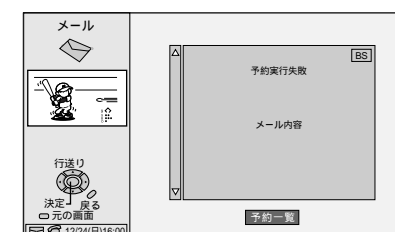
5 元の画面 ボタンを押す（確認終了）

●「メール」画面が消えます。

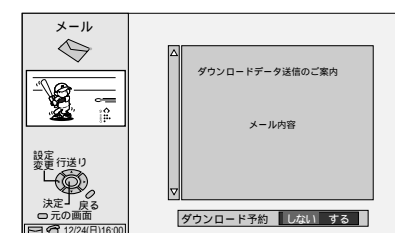
電話回線の通信異常通知

電話回線を使用した通信で異常があった場合に右のメールが届きます。

● 通信異常のメールが届いた場合は、電話回線の接続（25ページ参照）、電話設定（34ページ参照）を確認のうえ、正しく接続や設定を行ってください。電話回線の接続や設定に問題がない場合は、PPV（ペイ・パー・ビュー）の契約をしている放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。
● 決定ボタンを押せば「電話発信記録」画面が表示されます。（77ページ参照）

予約の警告、失敗の通知

予約が失敗した場合に右のメールが届きます。

● 決定ボタンを押せば「予約一覧」画面が表示されます。（66ページ参照）

ダウンロードの通知

ダウンロードの予約やダウンロードの実行結果のメールが届きます。ダウンロードについては102ページをご覧ください。

お知らせ

● B-CASカードが挿入されていないとメールを受信することができません。B-CASカードは本機に異常が発生しない限り抜かないでください。
● BS・110度CSデジタル放送局からのメールは合計で24通（各放送では最大13通）までしか保存できません。24通を超えると古いメールから自動的に削除されます。
ただし、ご愛用者登録のお願いのメールは、削除されません。

ボードを見る（110度CSデジタル放送受信時のみ表示）

ボードとは110度CSデジタル放送の受信者に対して送られるお知らせです。掲示板のようなもので、定期的に確認するようにしてください。

1 ❶ 番組ナビ ボタンを押す
❷ ① インフォメーション を選び、 ② 押す

2 ① CS1ボード または CS2ボード を選び、 ② 押す

● CS1ボード
…プラットワン
● CS2ボード
…スカイパーフェクTV！2

3 ① 確認したいボード項目を選び、 ② 押す

(例)

4 内容を確認する

(例)

● 他のボードを読みたいときは 戻る ボタンを押し、手順**3**から操作してください。

5 元の画面 ボタンを押す（確認終了）

●「ボード」画面が消えます。

ご使用まえに / 接続と準備 / 基本の使いかた / 応用の使いかた / こだわり設定 / その他

データ放送

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

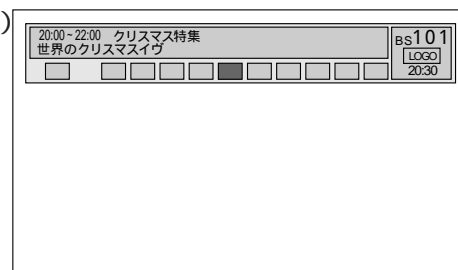
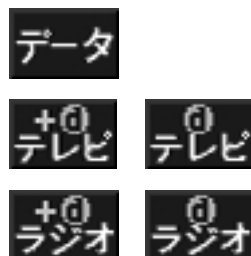
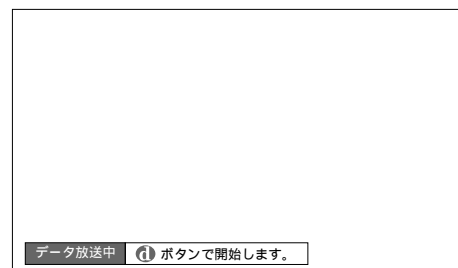
データ放送を楽しむ

データ放送の番組では、画面に表示される説明に従い操作することでご希望の情報を引き出すことができます。
データ放送の番組には次のものがあります。
- テレビ放送やラジオ放送と一緒にデータ放送が行われるもの
- 番組自体がデータ放送のもの（選局するとデータ放送画面が表示されます）
- 番組の途中からデータ放送が始まるもの
- 番組が始まった後から追加購入するもの（信号切換で購入操作を行う必要があります。）

データ放送の確認のしかた

画面表示 ボタンを押せば、番組の内容が表示されます。

下記いずれかのアイコンが表示されているときはデータ放送の番組です。

（例）
20:00～22:00 クリスマス特集
世界のクリスマスイヴ
BS101 LOGO 20:30

- 番組の途中でデータ放送が始まる場合は、次のような画面が表示されます。

操作のしかた

データ放送を楽しむには、データ ボタンを押してデータ放送画面を表示させてください。ただし、選局すれば自動的にデータ放送画面になる番組もあります。
データ放送の番組によって画面に専用の選択画面や数字入力画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

基本的な操作のしかた

❶ データ ボタンを押す
- データ放送画面が表示されます。

❷
① 項目を選び、
② 押す

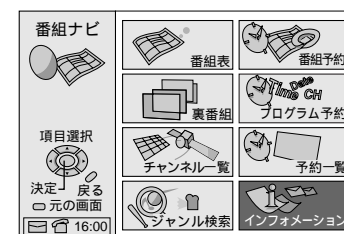
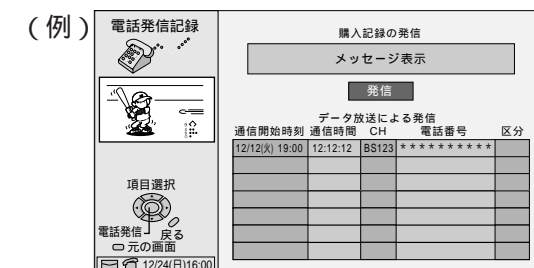
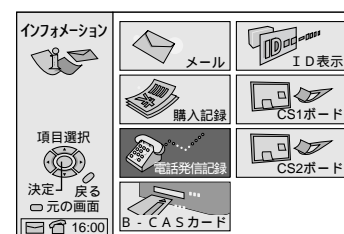
お願い
- 本機のボタン機能はデータ放送の番組で使用するときのみ機能が変わる場合があります。その場合の操作は、画面に表示される説明に従ってください。

お知らせ
- 操作のしかたは番組の内容によって異なります。
- データ放送の番組では、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合もあるため、通信中は 電源（電源）ボタン、テレビ操作用ボタン以外は本機の操作ができなくなる場合があります。
- データ放送の番組で電話回線を使用中には、同じ回線に接続の電話機などは使用できません。
- 元の画面 ボタンを押せば、チャンネルを選局した最初の状態に戻せます。
- 選局すると自動的にデータ放送が始まる番組のデータ放送を消すことができます。便利機能 ボタンを押し、▲▼ボタンで「データ放送表示オフ」を選んで、決定 ボタンを押してください。再度、データ放送を表示したい場合は、データ ボタンを押してください。

電話発信記録

本機からセンターへ発信した最も新しい内容の送信結果を確認することができます。電話発信記録では、購入記録の発信とデータ放送の番組から発信した記録が確認できます。また、番組の購入記録が送信できる場合には、発信もできます。

1 ❶ 番組ナビ ボタンを押す

❷
① インフォメーション を選び、
② 押す

2 ① 電話発信記録 を選び、
② 押す

（例）
- 購入記録が送信できる場合は 決定 ボタンを押せば、発信できます。
- i.LINK接続機器から本機を通じて電話発信を行ったとき、区分表示に i.LINK のアイコンが表示されます。

3 元の画面 ボタンを押す（確認終了）
- 「電話発信記録」画面が消えます。

番組やチャンネルのいろいろな選びかた

お好み選局

あらかじめチャンネルが選定されているプリセット（49ページ参照）以外によく視聴するチャンネルをお好み設定しておけば、簡単に選局できます。
また、プリセットのチャンネルの変更もできます。

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

お好み設定1（視聴中のチャンネルから設定）

（例）現在、視聴中のチャンネルをページ2／3のお好み番号②に設定する場合

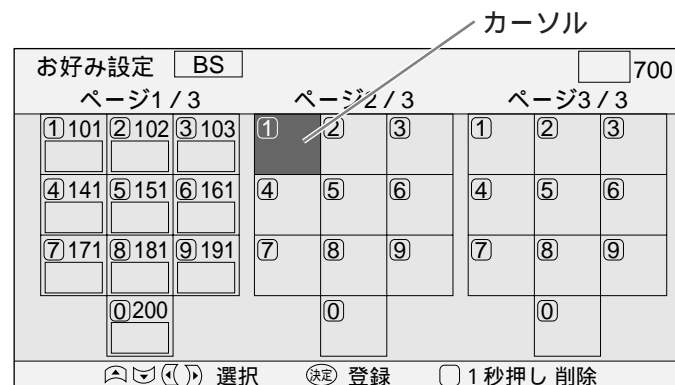
1 ＃ **ボタンを3秒以上押す**

●「お好み選局」画面が表示された後、3秒後に「お好み設定」画面に切り換わります。

カーソル

お好み設定　BS　700

ページ1／3			ページ2／3			ページ3／3		
①101	②102	③103	①	②	③	①	②	③
④141	⑤151	⑥161	④	⑤	⑥	④	⑤	⑥
⑦171	⑧181	⑨191	⑦	⑧	⑨	⑦	⑧	⑨
	⓪200			⓪			⓪	

選択　決定 登録　＃1秒押し 削除

2

① カーソルをページ2／3のお好み番号②へ移動させ、
② 押す

お好み設定　BS　700

ページ1／3			ページ2／3			ページ3／3		
①101	②102	③103	①	②	③	①	②	③
④141	⑤151	⑥161	④	⑤	⑥	④	⑤	⑥
⑦171	⑧181	⑨191	⑦	⑧	⑨	⑦	⑧	⑨
	⓪200			⓪			⓪	

選択　決定 登録　＃1秒押し 削除

便利機能

● 設定が終了すると「お好み設定」画面が消えます。

お知らせ

● お好み設定は、放送（BS、CS1、CS2）ごとに30チャンネルまで行えます。
● お好み設定を取り消したいときは取り消したいお好み番号へカーソルを移動させ、＃ボタンを1秒以上押せば取り消しができます。
●「お好み設定」画面を表示させたまま、約30秒間放置すると「お好み設定」画面が消えます。
● 臨時放送などお好み設定できないチャンネルもあります。

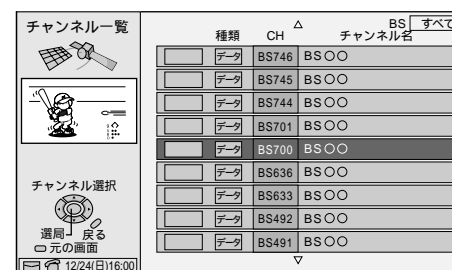
便利機能 マークは、便利機能 ボタンが使用できる画面です。（17ページ参照）

お好み設定2（チャンネル一覧から設定）

「チャンネル一覧」画面から選んだチャンネルをお好み設定できます。

1 「チャンネル一覧」画面を表示させる（80ページ参照）

2 **① チャンネルを選び、**

＃ **② 押す**

3 **① 設定したいお好み番号へカーソルを移動させ、**
② 押す

お好み設定　BS　700

ページ1／3			ページ2／3			ページ3／3		
①101	②102	③103	①	②	③	①	②	③
④141	⑤151	⑥161	④	⑤	⑥	④	⑤	⑥
⑦171	⑧181	⑨191	⑦	⑧	⑨	⑦	⑧	⑨
	⓪200			⓪			⓪	

選択　決定 登録　＃1秒押し 削除

● 設定できると「チャンネル一覧」画面に戻ります。他のチャンネルを設定する場合は、手順2から操作してください。

4 元の画面 **設定が終われば、押す**

●「チャンネル一覧」画面が消えます。

お好み選局

（例）ページ2／3のお好み番号②に設定した700チャンネルを選局する場合

1 ＃ **2回押して、2ページ目の「お好み選局」画面を表示させる**

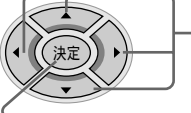
2 **① お好み番号②へカーソルを移動させ、**
② 押す

● 700チャンネルが選局されます。

お知らせ

●「お好み選局」画面が表示されているときは、数字ボタンでお好み番号を入力しても選局できます。
●「お好み選局」画面は3ページあります。ページを切り換えたい場合は、＃ボタンと＊ボタンを押してください。
●「番組表」画面、「番組予約」画面では、選んだチャンネルの番組一覧を表示できます。（50ページ参照）
●「チャンネル一覧」画面では、選んだチャンネルのお好み設定ができます。（左記参照）
●「お好み選局」画面を表示させたまま、約30秒間放置すると「お好み選局」画面が消えます。

番組やチャンネルのいろいろな選びかた

●黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

チャンネル一覧からチャンネルを選ぶ

チャンネルを一覧にして表示させることができます。
またチャンネル一覧から選局することもできます。

1 ❶ 番組ナビ ボタンを押す

❷ ① チャンネル一覧 を選び、
② 押す

2 ① チャンネルを選び、
② 押す

選局対象表示

選んだチャンネルで現在放送中の番組によって、以降の操作が異なります。
- 有料番組を選んだとき（52ページ参照）
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき（69ページ参照）

お知らせ
- 選局対象の設定により、表示される内容が変わります。（90ページ）
  表示内容を一時的に変えたい場合は、サービス切換ボタンを押せば、「選局対象」の設定を切り換えることができます。ただし「チャンネル一覧」画面をいったん消すと元の選局対象の設定に戻ります。
- 元の画面 ボタンを押せば、「チャンネル一覧」画面を消すことができます。

便利機能 マークは、便利機能 ボタンが使用できる画面です。
（17ページ参照）

裏番組から番組を選ぶ

視聴している番組の画面上へ、現在放送されている各チャンネルの番組名（裏番組）を表示させて、選ぶことができます。

1 裏番組 ボタンを押す

- 「裏番組」画面が表示されます。
  （18ページに記載の「番組ナビ」画面からの操作で「裏番組」画面を表示させることもできます。）

2 ① 視聴したい番組を選び、
② 押す

（例）

選んだ番組によって以降の操作が異なります。
- 有料番組を選んだとき（52ページ参照）
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき（69ページ参照）

お知らせ
- 裏番組 ボタンを押すごとに「裏番組」画面を表示させたり、消したりできます。
- 番組内容 ボタンで番組の詳細情報が表示できます。（71ページ参照）
- 選局対象の設定により、表示される内容が変わります。（90ページ参照）
  表示内容を一時的に変えたい場合は、便利機能 ボタンを押し、◀▶ボタンで「表示内容」の項目を切り換えて 決定 ボタンを押してください。ただし「裏番組」画面をいったん消すと元の選局対象の設定に戻ります。

前選局

現在選局しているチャンネルと前回選んでいたチャンネルを切り換えることができます。

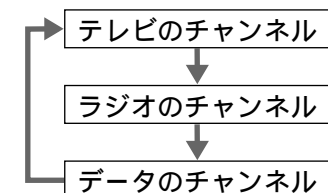
前選局 ＊ ボタンを押す

- 前回選んでいたチャンネルに戻ります。
- 再度、前選局 ＊ ボタンを押すと元のチャンネルに戻ります。

お知らせ
- 約3秒間以上視聴していないと、本機は選んでいたチャンネルとして記憶しません。
- 視聴制限の対象になるチャンネルを選んだときは暗証番号の入力が必要です。（69ページ参照）
- 前に選局していた番組が有料の場合、すでに購入済みであれば購入しなくても視聴できます。ただし、購入していなかった場合は購入操作が必要となります。有料番組の購入については52ページをご覧ください。

サービス切換

テレビ、ラジオ、データのサービスを切り換えることができます。

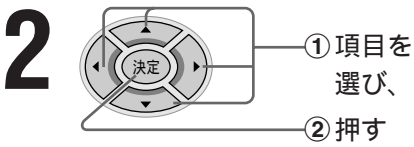
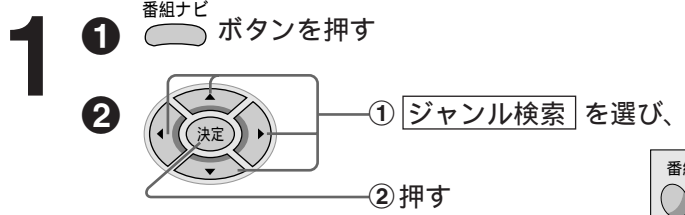
サービス切換 ボタンを押す

検索してから番組を選ぶ

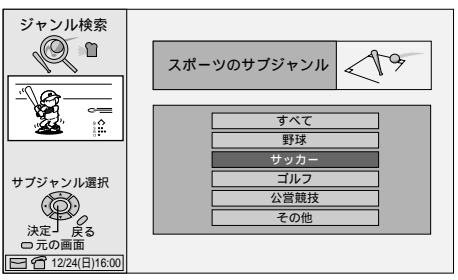
好きなジャンルの番組を検索して表示させ、選局や予約ができます。

1

❶ 番組ナビ ボタンを押す

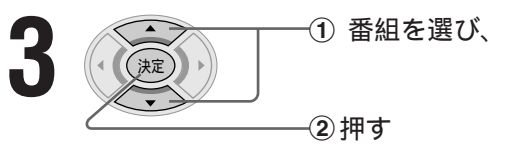
❷ ① ジャンル検索 を選び、
② 押す

2

① 項目を選び、
② 押す

「スポーツ」、「教養・情報」、「映画」、「その他」を選んだ場合は、さらにジャンル分けされたサブジャンル項目が表示されます。
▲▼ボタンで項目を選び、決定 ボタンを押してください。

● サブジャンル項目をすべて検索したい場合は、「すべて」を選んで 決定 ボタンを押してください。

3

① 番組を選び、
② 押す

（例）

「ジャンル検索結果一覧」画面

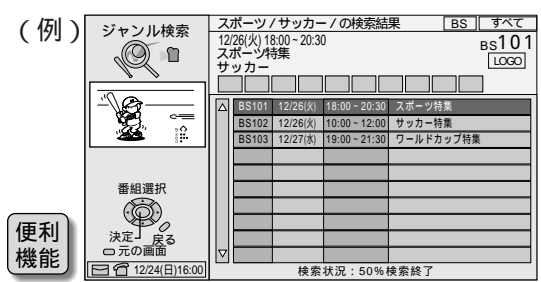
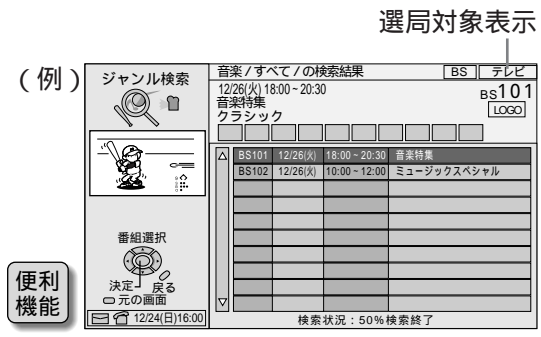
選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
● 有料番組を選んだとき（52ページ参照）
● 現在時刻以降の番組を選んだとき（55ページ参照）
● 視聴制限の対象になる番組を選んだとき（69ページ参照）

さらに検索対象を絞り込むことができます

「ジャンル検索結果一覧」画面で サービス切換 ボタンを押せば、選局対象（お好み、テレビ、ラジオ、データ、すべて）ごとに再検索できます。
（例）音楽番組の検索結果で多くのラジオ番組の中から
テレビ番組だけを絞り込む場合

サービス切換 ボタンを押し、選局対象表示を「テレビ」に切り換える

選局対象表示

（例）

「ジャンル検索結果一覧」画面

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

便利機能 マークは、便利機能 ボタンが使用できる画面です。
（17ページ参照）

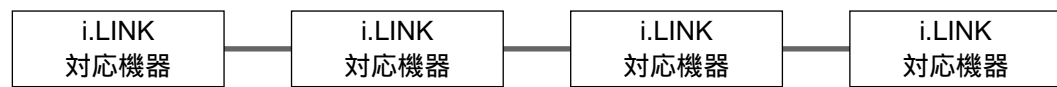
お知らせ

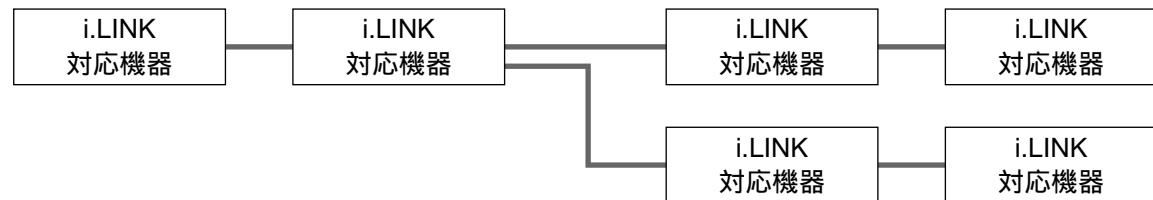
● 検索途中でも、表示されている番組があれば▲▼ボタンで番組を選び、決定 ボタンを押せば、選局や予約ができます。
● 検索が終了すれば、検索状況が「100%検索完了」と表示されます。検索項目によっては、検索に時間がかかる場合があります。
● 番組内容 ボタンでカーソル位置の番組詳細情報が表示できます。71ページをご覧ください。
● 戻る ボタンで1つ前の画面に戻せます。元の画面 ボタンで、各画面を消すことができます。

i.LINKについて

i.LINK（アイリンク）とは、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器に対して、操作なども行えるシリアル転送方式のデジタルインターフェース IEEE1394の呼称です。IEEE1394は米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
現在、100 Mbps／200 Mbps／400 Mbpsの転送速度があり、転送速度はi.LINK端子の周辺にそれぞれS100、S200、S400と表示されます。本機では最大200 Mbpsの転送が可能なため、S200と表示されています。（13ページ参照）
また、i.LINKは直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせず機器を接続していくことができます。
ケーブル1本で簡単に接続でき、高速で大量のデータを転送できるi.LINKは、今後さまざまなデジタルAV機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。

■i.LINKの接続方法

- i.LINK対応機器の接続はi.LINKケーブルでデイジー・チェイン型（数珠つなぎ）で接続します。最大17台まで接続することができます。

データは接続したすべてのi.LINK対応機器に流れます。
操作したいi.LINK対応機器の間に別のi.LINK対応機器が
接続されていても、機器とデータのやりとりや操作ができます。

- i.LINK端子が3端子以上ある機器の場合、途中から分岐してツリー型に接続することもできます。
ツリー型で接続の場合は、最大63台まで接続することができます。

本機で確認できるi.LINK対応機器は15台までです。

■本機で操作できるi.LINK対応機器は

本機では、当社製i.LINK対応D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーの基本的な操作のみができます。
本機を使用して当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーでデジタル録画したBS・110度CSデジタル放送を再生し、本機で視聴することができます。

■i.LINK接続上のお願い

- 本機は最大転送速度が200 Mbpsのため、S200対応以上の4ピンi.LINKケーブル（別売品）をご使用ください。
- i.LINK対応機器と接続してご使用中のときは、使用していない機器のi.LINKケーブルを外したり、接続したり、電源のオン／オフは行わないでください。映像・音声が乱れる場合や録画、再生に失敗する場合があります。
- 接続が輪（ループ接続）にならないようにしてください。データを送信したi.LINK対応機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。（27ページ参照）
- i.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継できない機器があります。接続するi.LINK対応機器の取扱説明書もご覧ください。また、本機では「i.LINK待機」の設定で電源オフ時のi.LINK制御の設定を切り換えできます。（93ページ参照）
- パソコンやパソコン周辺機器を接続していると誤作動を起こす場合があります。

i.LINK対応機器を操作する

本機ではi.LINKに対応した当社製D-VHSビデオデッキやハードディスクビデオレコーダーの基本的な操作が本機のリモコンで操作できます。27ページに記載のi.LINKの接続を行い、88ページ記載のi.LINK接続設定を確認のうえ、次の操作を行ってください。

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

操作パネルの表示のさせかた

本機でi.LINK対応機器を操作するには、操作パネルを表示させます。表示された操作パネルで▲▼◀▶ボタンと（決定）ボタンで操作できます。

機器操作パネルボタンで表示させる場合

［機器操作パネル］ボタンを押し、操作したいi.LINK対応機器の画面に切り換える

- D-VHSビデオデッキ1台とハードディスクビデオレコーダー1台を接続している場合は右記のように切り換わります。

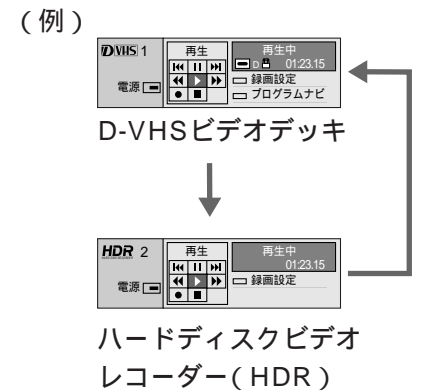
（例）

D-VHSビデオデッキ

ハードディスクビデオレコーダー（HDR）

［入力切換］ボタンで接続しているi.LINK機器の画面に切り換えることができます。

- D-VHSビデオデッキ1台とハードディスクビデオレコーダー1台を接続している場合は右記のように切り換わります。

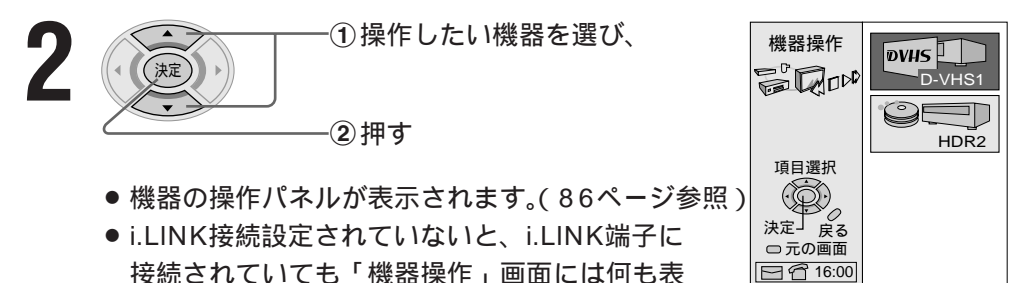
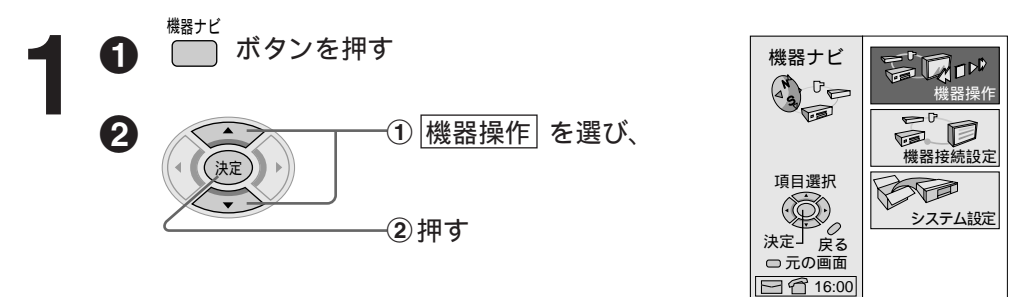
（例）
BSデジタル放送 → D-VHS → HDR

機器ナビボタンで操作画面を表示させる場合

BS・110度CSデジタル放送画面のときに下記の操作で表示させることができます。

1 ❶ **［機器ナビ］ボタンを押す**

❷

① **機器操作** を選び、
② **押す**

2 ① **操作したい機器を選び、**
② **押す**

- 機器の操作パネルが表示されます。（86ページ参照）
- i.LINK接続設定されていないと、i.LINK端子に接続されていても「機器操作」画面には何も表示されません。（88ページ参照）

お知らせ

- i.LINK対応機器の映像に切り換わると本機前面のチャンネル表示部は、「－－－」と表示されます。

D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダーを操作する

85ページに記載している方法で操作パネルを表示させてください。操作パネルで操作できるのは、当社製D-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー（HDR）合わせて2台です。

 ボタンで、操作したい機能にカーソルを移動させ、決定 ボタンを押してください。

（例）「D-VHS操作パネル」画面の場合

操作している機器の電源のオン／オフを切り換えます。オンの場合、赤い色が表示されます。

操作している機器の「i.LINK接続設定」で設定された番号表示

カーソルで選択している機能名表示

操作している機器の状態表示

再生時間表示

……カセット挿入済み表示

D ……録画テープの種類表示
D：D-VHSテープ
S：S-VHSテープ
表示なし：VHSテープ

……カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている表示（録画できません。）

※「HDR操作パネル」画面では、上記の内容は表示されません。

D VHS 1　電源　再生　再生中　D　01:23.15　録画設定　プログラムナビ

各操作パネルからBS・110度CSデジタル放送を録画するには

①BS・110度CSデジタル放送画面にする
②操作パネルを表示させる
- 機器操作パネルボタンで操作パネルを表示させます。（85ページ参照）

③録画する
- ●（録画）を選んで、決定 ボタンを押せば、録画が開始されます。

お願い

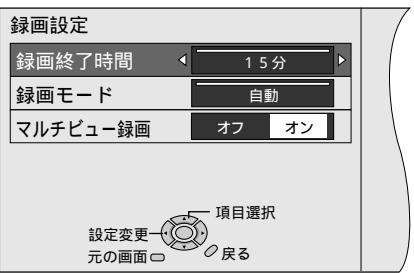
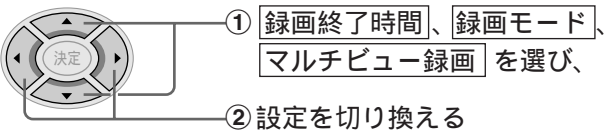
- 大切な番組を録画する場合は、予約設定で録画予約をしてください。操作パネルから録画を行うと、操作した画面が録画される場合があります。予約設定については、54ページをご覧ください。

お知らせ

- 選択した機能を実行すると次の操作が簡単に行えるように自動的にカーソルを移動させる場合があります。
- 録画中は「録画設定」画面を表示できません。
- 予約中のi.LINK対応機器の操作パネルは表示できません。
- 1台のi.LINK対応機器が録画中の場合、もう1台のi.LINK対応機器の操作パネルは表示できません。
- 操作する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 操作中は、本機の機能（チャンネル一覧など）が一部使用できなくなります。

録画設定

録画するときの録画時間などの設定を行います。

① **録画終了時間**、**録画モード**、**マルチビュー録画** を選び、
② **設定を切り換える**

録画終了時間

指定なし ……停止を押すか、テープがなくなるまで録画します。
番組終了まで ……現在視聴中の番組を録画します。
15分、**30分**、**60分**、**90分**、**120分**、**180分**…15分、30分、60分、90分、120分、180分間の録画をします。

録画モード

自動 ……デジタルハイビジョン放送を録画時は「HS」で記録し、デジタル標準テレビ放送は「STD」で記録をします。ただし、デジタル標準テレビ放送の場合でも、放送局側の設定情報により「HS」で記録される場合もあります。また、デジタル記録できない場合は、録画機器に設定している録画モードでアナログ録画されます。
標準、**3倍**、**5倍** …各録画時間で録画します。
設定した録画モードの機能がない場合は、録画機器に設定されている録画モードで録画されます。

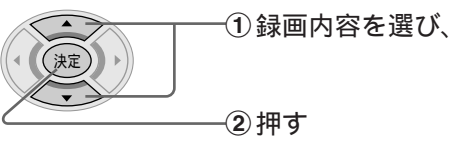
マルチビュー録画

オン ………マルチビュー放送の番組の場合に、副番組も同時に録画します。
オフ ………マルチビュー放送の番組の場合に、主番組のみ録画します。

プログラムナビ（「HDR操作パネル」画面では、プログラムナビは表示されません。）

操作している機器に登録されている録画内容を一覧表示し、選んで頭出し再生が行えます。

① **録画内容を選び、**
② **押す**

自動的に頭出しを行い再生します。

- 録画内容の情報を取得中にi.LINK対応機器側で操作を行うと一覧表示できない場合があります。
- 録画されている情報により、番組名が表示されない場合があります。

操作画面の消しかた

戻る **ボタンを押す**

- 操作画面が消えます。

BS・110度CSデジタル放送を見る

入力がi.LINK対応機器になっている場合

入力切換 **ボタンを押して、BS・110度CSデジタル放送に切り換える**

ご使用まえに　接続と準備　基本の使いかた　応用の使いかた　こだわり設定　その他

i.LINK対応機器の確認と設定

本機でi.LINK対応機器の操作や予約録画を行うには、「i.LINK接続設定」で「使用」を「する」に設定されている必要があります。本機で設定できるi.LINK対応機器はD-VHSビデオデッキ、ハードディスクビデオレコーダー合わせて2台です。

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

1 ❶ 機器ナビ ボタンを押す

❷ ① **機器接続設定** を選び、② 押す

2 ① **i.LINK接続設定** を選び、② 押す

3 接続しているi.LINK機器を確認する

（例）

機器名 …i.LINK接続されている機器の名称を表示。
D-VHS＋番号（接続した順番）…D-VHSビデオデッキ
HDR＋番号（接続した順番）……ハードディスクビデオレコーダー
その他の機器は「その他」と表示されます。

メーカー名 …i.LINK接続されている機器のメーカー名を表示。
本機で認識できない場合は「不明」で表示されます。

機種名 …i.LINK接続されている機器の機種名を表示。
本機で認識できない場合は「不明」で表示されます。

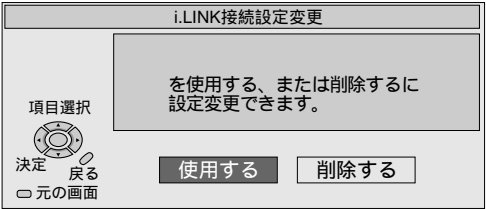
接続状態 …「オン」……電源オンの状態で接続されている。
「オフ」……i.LINKで制御できる電源オフの状態で接続されている。
「未接続」…i.LINKで制御できない電源オフの状態で接続されている。または、一度接続されたが現在は接続されていない状態。
「予約」……予約録画の待機状態または予約録画中の状態で接続されている。
「不明」……制御できない機器。または、「使用」を「しない」に設定している機器。

使用 …「する」……本機で制御する設定。
「しない」…本機で制御しない設定。
「不可」……本機で制御できない機器。

● 黄色表示の△▽マークがあれば、▲▼ボタンで表示送りをして確認できます。

i.LINK接続設定を変更する場合

❶ ① 設定変更する機器を選び、② 押す

❷ ① 変更項目を選び、② 押す

使用する … 本機で「使用する」に設定します。「使用しない」に設定されている場合にのみ表示されます。

使用しない … 本機で「使用しない」に設定します。「使用する」に設定されている場合にのみ表示されます。

削除する … この機器を「i.LINK接続設定」画面から削除できます。接続状態が「未接続」の場合にのみ表示されます。

4 元の画面 ボタンを押す

● 「i.LINK接続設定」画面が消えます。

お知らせ

● すでに2台のD-VHSビデオデッキまたはハードディスクビデオレコーダーが設定されている場合、3台目は「使用する」に設定できません。すでに設定されているどちらかの機器を「使用しない」に設定すれば、3台目を「使用する」に設定できます。

使いかたに合わせて設定

●黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

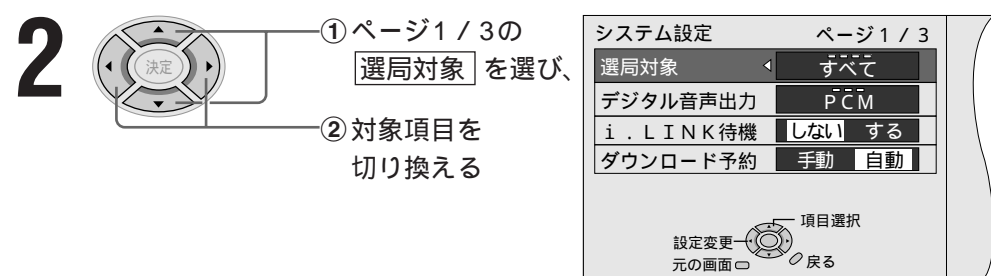
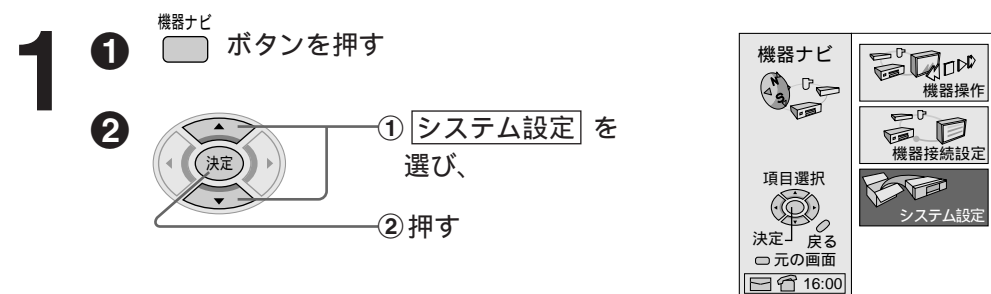
選局対象の設定

チャンネル△▽ボタンによる順送り選局や「裏番組」、「番組表」などで表示させるチャンネルを指定する設定ができます。

1 ❶ 機器ナビ ボタンを押す

❷ ① システム設定 を選び、
② 押す

2

① ページ1／3の 選局対象 を選び、
② 対象項目を切り換える

お好み …お好み設定されているチャンネルのみ選局したり、表示させることができます。

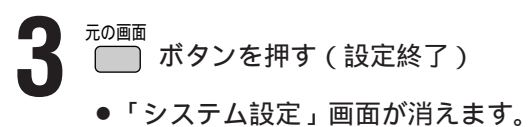
テレビ …テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。

ラジオ …ラジオ放送（音声）のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。

データ …データ放送のチャンネルのみ順送り選局したり表示させることができます。

すべて …現在放送されているすべてのチャンネルを順送り選局したり表示させることができます。

3 元の画面 ボタンを押す（設定終了）

●「システム設定」画面が消えます。

お知らせ

●設定した項目に該当するチャンネルが1つしかない場合はチャンネル△▽ボタンで切り換えできません。
●「お好み設定」については78ページをご覧ください。
●工場出荷時は「すべて」に設定されています。

字幕、文字スーパーの設定

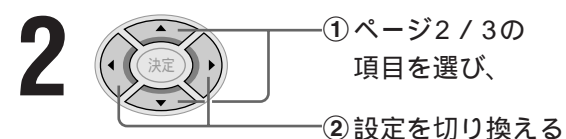
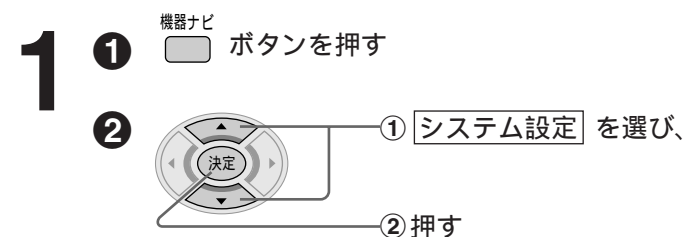
字幕のある番組、文字スーパーのある番組での表示設定ができます。

1 ❶ 機器ナビ ボタンを押す

❷

① システム設定 を選び、
② 押す

2

① ページ2／3の項目を選び、
② 設定を切り換える

●「システム設定」のページを送るには、▲▼ボタンでカーソルを移動させていけば、ページの切り換えができます。

字幕

オン …字幕を表示します。
オフ …字幕を表示しません。ただし、強制的に表示する字幕の場合は、この設定は無効になります。

字幕言語

日本語 …日本語の字幕を表示します。
英語 …英語の字幕を表示します。

文字スーパー

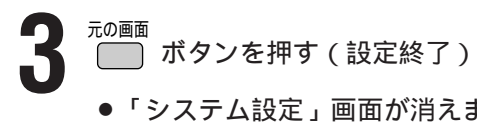
オン …文字スーパーを表示します。
オフ …文字スーパーを表示しません。ただし、強制的に表示する文字スーパーの場合は、この設定は無効になります。

文字スーパー言語

日本語 …日本語の文字スーパーを表示します。
英語 …英語の文字スーパーを表示します。

※文字スーパーは、視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面上に文字で表示します。

3 元の画面 ボタンを押す（設定終了）

●「システム設定」画面が消えます。

お知らせ

●設定しても送られてくる情報によっては設定が無効になる場合があります。
●「字幕」と「字幕言語」の設定は、「信号切換」画面でも切り換えることができます。（73ページ参照）
●工場出荷時は、「字幕」「文字スーパー」は「オフ」に設定されています。また、「字幕言語」「文字スーパー言語」は「日本語」に設定されています。

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

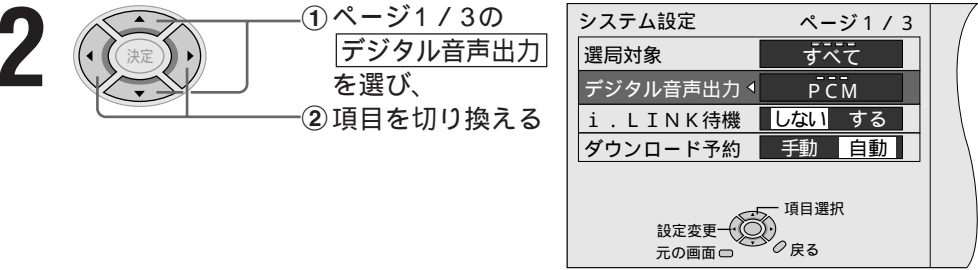
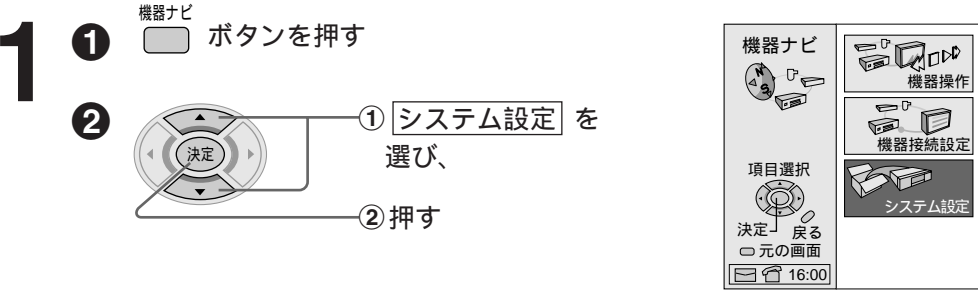
デジタル音声出力の設定

本機のデジタル音声出力（光）端子は、音声AACの音声データを出力することができます。音声AAC対応のオーディオ機器に接続すれば、サラウンド・ステレオの番組では、迫力ある音声をお楽しみいただけます。

1 ❶ 機器ナビ ボタンを押す

❷ ① システム設定 を選び、② 押す

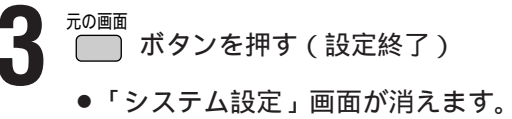
2

① ページ1／3の デジタル音声出力 を選び、
② 項目を切り換える

PCM …音声AACに対応していないオーディオ機器を接続の場合に設定します。

AAC …音声AACに対応しているオーディオ機器を接続の場合に設定します。

自動 …サラウンド・ステレオの番組の場合にのみ自動的に「AAC」に切り換わります。

3 元の画面 ボタンを押す（設定終了）

● 「システム設定」画面が消えます。

お願い

● 「AAC」に設定した場合、字幕放送やデータ放送の効果音が本機のデジタル音声出力（光）端子から出力されません。この場合は、「PCM」に設定してください。または、出力1、2、コンポーネントビデオ出力の音声端子をご使用ください。

お知らせ

● 工場出荷時は「PCM」に設定されています。

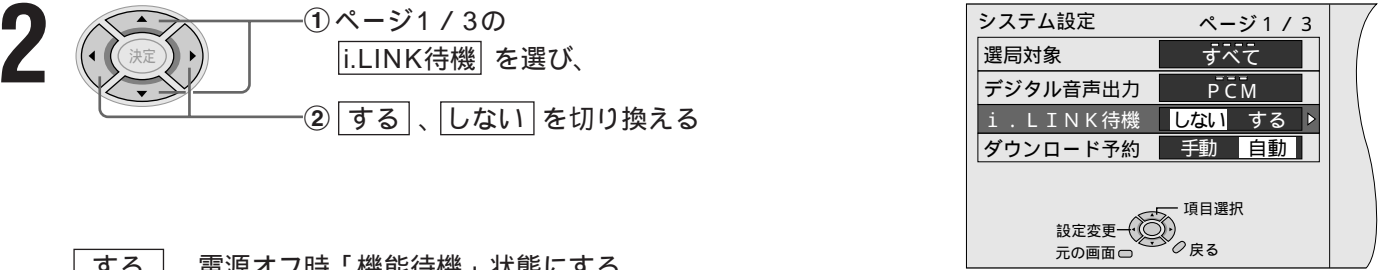
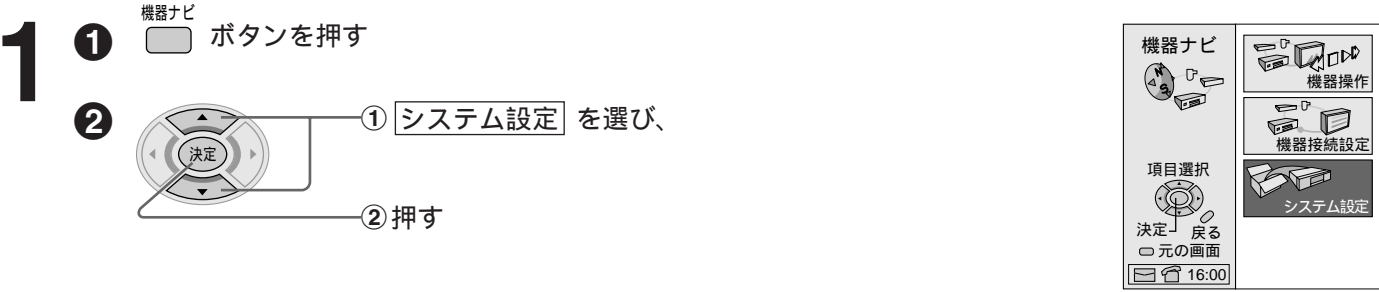
i.LINK待機の設定

本機では電源オフ時の設定として、i.LINKの接続機器からの制御を受け付ける「機能待機」の設定が選べます。i.LINK対応機器を接続していない場合は、消費電力が少なくなる「しない」に設定してください。

1 ❶ 機器ナビ ボタンを押す

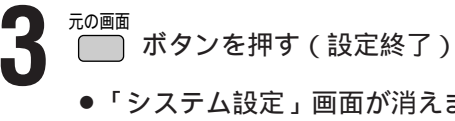
❷ ① システム設定 を選び、② 押す

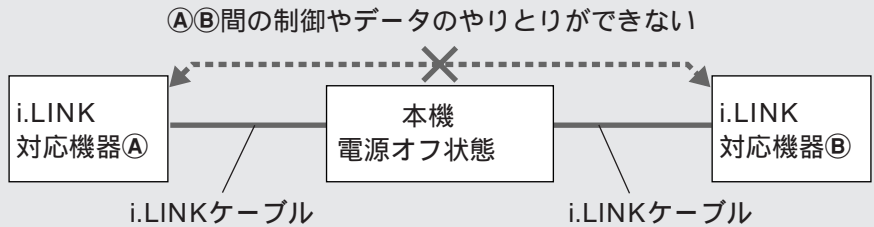
2

① ページ1／3の i.LINK待機 を選び、
② する 、しない を切り換える

する …電源オフ時「機能待機」状態にする。
電源オフにすると電源表示ランプが橙色に点灯し映像・音声などの信号出力を停止しますがi.LINK接続された機器からの制御の受け付けやデータの中継ができます。

しない …電源オフ時、「機能待機」状態にしない。
電源オフ時の消費電力を少なくします。電源オフにすると、電源表示ランプが赤色に点灯し映像・音声などの信号出力を停止します。またi.LINK接続された機器からの制御の受け付けやデータの中継はできません。

3 元の画面 ボタンを押す（設定終了）

● 「システム設定」画面が消えます。

お願い

● 複数のi.LINK対応機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「i.LINK待機」の設定を「しない」にして電源オフにすると、本機を中継して接続されている機器間の制御やデータのやりとりはできなくなります。この場合は本機のi.LINK待機の設定を「する」にすれば、データのやりとりができます。また、電源オン時にのみi.LINK対応機器を使用する場合は、「しない」に設定してご使用ください。

ご使用まえに
接続と準備
基本の使いかた
応用の使いかた
こだわり設定
その他

リモコンの数字ボタンで選局できるプリセット選局のチャンネルを自分の好きなチャンネルに設定できます。また、お好み選局や「選局対象」を「お好み」に設定したときのみ選局や表示ができる11～30までのチャンネル設定もできます。

チャンネル設定

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

1

❶ 機器ナビ ボタンを押す

❷ ① システム設定 を選び、② 押す

2

① ページ3／3の 初期設定 を選び、
② 3秒以上押す

●「システム設定」のページを送るには、▲▼ボタンでカーソルを移動させていけば、ページの切り換えができます。

3

① ページ2／2の チャンネル設定 を選び、
② 押す

●「初期設定」のページを送るには、▲▼ボタンでカーソルを移動させていけば、ページの切り換えができます。

4

① チャンネル設定したい放送を選び、
② 押す

● 45ページの「CS受信選択」を「無効」に設定している場合は、「CS1」「CS2」を選ぶことはできません。

5

（例） 5 ボタンに102チャンネルを設定する場合

❶ ① 設定したいリモコンの数字ボタン番号（5）を選び、
② カーソルをチャンネル番号欄に移動させる

● 0 ～ 9 ボタンを押してもリモコンの数字ボタン番号を選ぶことができます。

（例）

リモコンの数字ボタン番号欄　チャンネル番号欄

❷ ① 設定したいチャンネル番号（102）を選ぶ

（例）

● 続けて設定したい場合は、◀ボタンを押し、リモコンの数字ボタン番号欄に移動させ、❶からの手順で行ってください。

お知らせ

- チャンネル番号を選ぶには、▲▼ボタンで選択する他に、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力しても選べます。
- リモコンの数字ボタン番号欄の10は、リモコンの 0 ボタンの設定になります。
- リモコンの数字ボタン番号欄の11～30は、「選局対象」を「お好み」に設定したときのみ順送り選局や表示ができます。（90ページ参照）

6

戻る ボタンを押す（設定終了）

●「初期設定」画面に戻ります。
● 元の画面 ボタンを押しても設定終了することができます。この場合は「チャンネル設定」画面が消えます。

お知らせ

- お好み選局については78ページをご覧ください。

暗証番号の登録と視聴制限の設定

本機では、お客様の意志により番組に対して視聴制限をかけることができます。
視聴制限を有効にするには、暗証番号の登録が必要です。
視聴制限の設定をすると、番組が視聴年齢制限の対象になるときは番組名が「●●●」表示され、暗証番号の入力をしない限り番組を視聴したり、詳細情報も見ることができません。
視聴制限（視聴可能年齢／一番組限度額）の設定および暗証番号の登録・変更・取消しができます。

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

ステップ1

❶ 機器ナビ ボタンを押す ●「機器ナビ」画面が表示されます。

❷ ① システム設定 を選び、② 押す

ステップ2

① ページ3／3の 視聴制限設定 を選び、② 押す

●「システム設定」のページを送るには、▲▼ボタンでカーソルを移動させていけば、ページの切り換えができます。

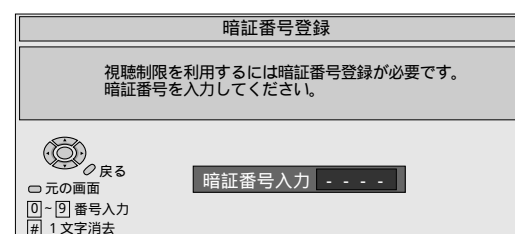
ステップ3

暗証番号を登録する

● 画面の説明に従って4桁の暗証番号を登録してください。
● 暗証番号をすでに登録している場合は、「暗証番号入力」画面が表示されます。4桁の暗証番号を入力してください。

● # ボタンを押すごとに最後の桁を取り消すことができます。

- 視聴可能年齢の設定
- 一番組限度額の設定
- 暗証番号変更
- 暗証番号取消し

● **次ページの各項目の設定を行ってください。**

ステップ4

元の画面 ボタンを押す

●「視聴制限設定」画面が消えます。

お願い

● 暗証番号を入力しても画面上では＊＊＊＊と表示されます。暗証番号は登録または変更された時点で忘れないように、メモをしておいてください。

視聴可能年齢の設定

番組によっては視聴できる対象年齢を制限しているものがあります。本機で視聴可能年齢を設定すると、設定年齢より高い視聴年齢制限の番組は、各一覧表などで番組名が「●●●」表示されます。
工場出荷時は「無制限」（制限がない状態）に設定されています。

① 視聴可能年齢 を選び、② 年齢を設定する

お知らせ

●「4才」から「19才」までの1才単位の設定と「無制限」の設定ができます。
●「無制限」に設定すると番組の対象年齢に関係なく番組が視聴できます。
●「視聴可能年齢」で設定した年齢より、視聴年齢制限の高い番組を視聴したいときには、視聴制限が一時解除されていない限り、暗証番号の入力が必要となります。

一番組限度額の設定

一番組限度額とは、有料番組や有料信号を購入する際に、料金が設定している一番組限度額より高額であれば、暗証番号を入力しない限り視聴（購入）できないようにする機能です。
工場出荷時は「無制限」（制限がない状態）に設定されています。

① 一番組限度額 を選び、② 金額を設定する

お知らせ

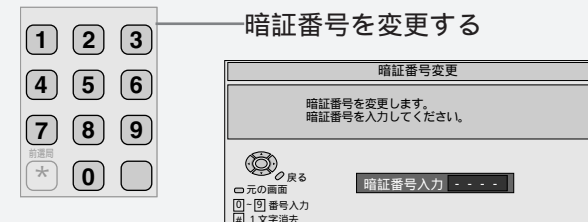
●「100円」、「500円」、「1000円」、「1500円」、「2000円」、「2500円」、「3000円」、「無制限」の設定ができます。
●「無制限」に設定すると、一番組の料金に関係なく番組を購入することができます。
●「一番組限度額」で設定した金額より高額の番組を視聴したいときには、暗証番号の入力が必要となります。

暗証番号変更

暗証番号の変更を必要とする場合のみ、次の手順で新しい暗証番号を入力してください。

1 ① 暗証番号変更 を選び、② 押す

●「暗証番号変更」画面が表示されます。

2 暗証番号を変更する

● 画面の説明に従って、変更操作をしてください。
● 暗証番号の登録が終われば、「暗証番号変更」画面が消え、「視聴制限設定」画面に戻ります。

お願い

● 暗証番号は変更された時点で忘れないように、メモをしておいてください。

お知らせ

● 暗証番号を入力しても画面上では＊＊＊＊と表示されます。

暗証番号取消し

暗証番号を取り消せば、再度暗証番号を登録するまで視聴制限の設定が無効になります。

① 暗証番号取消し を選び、② 押す

● 暗証番号取消しの確認画面が表示されます。画面の説明に従って暗証番号を削除してください。
● 暗証番号の取り消しが終われば、「システム設定」画面が表示されます。

お知らせ

● もう一度、視聴制限を有効にするときは、暗証番号の登録が必要です。再度、「視聴制限設定」を選んで暗証番号を登録してください。

Irシステムの設定

付属のIrシステムケーブルを使用すれば、本機と接続した録画機器で録画するための予約ができます。Irシステムが使用できる録画機器メーカーは下記のとおりです。(ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります。)

<連動予約が設定可能な録画機器メーカー>
松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NECのビデオデッキおよび当社製、パイオニア製のDVDレコーダー
● タイマー予約は、1989年以降発売の当社製タイマー予約機能付ビデオデッキ、DVDレコーダーのみに設定できます。
(連動予約、タイマー予約については56、57ページをご覧ください。)

26ページに記載のIrシステムケーブルを正しく接続、設置し、下記のIrシステムの設定とテストを行ってください。

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

ステップ 1

❶ 機器ナビ ボタンを押す ●「機器ナビ」画面が表示されます。

❷
① 機器接続設定 を選び、
② 押す

ステップ 2

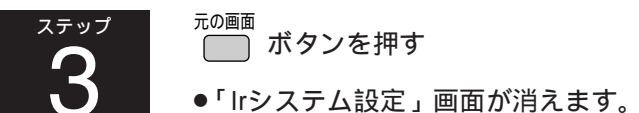
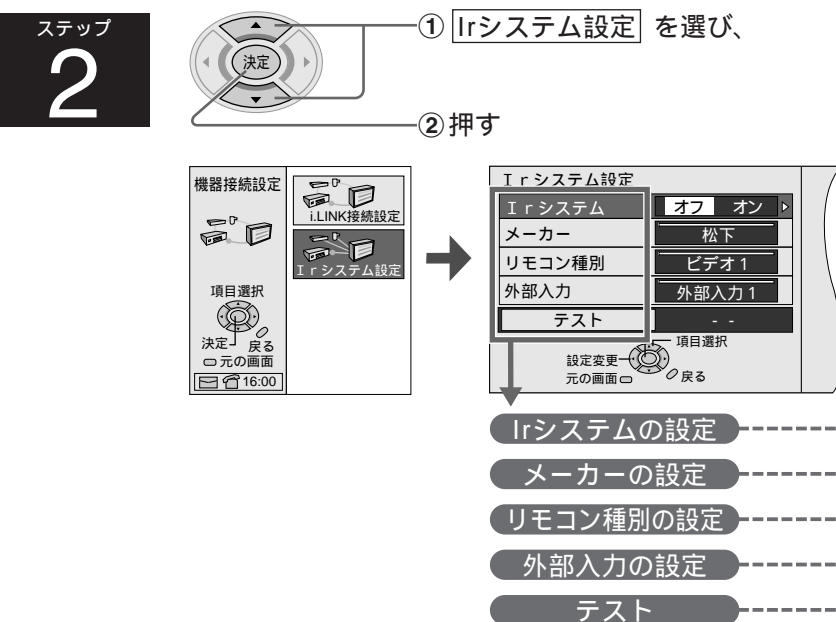
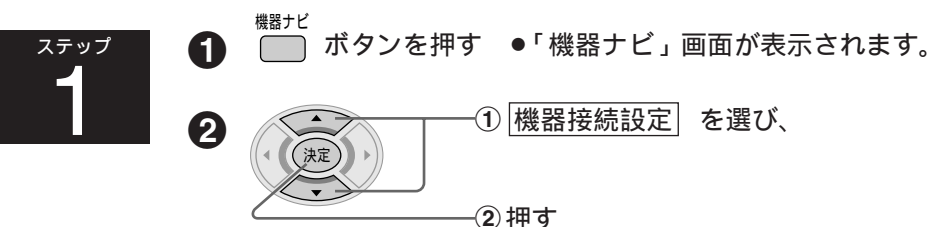
① Irシステム設定 を選び、
② 押す

- Irシステムの設定
- メーカーの設定
- リモコン種別の設定
- 外部入力の設定
- テスト

● **次ページの各項目の設定、テストを行ってください。**

ステップ 3

元の画面 ボタンを押す

●「Irシステム設定」画面が消えます。

お願い

● メーカーの設定を「松下」で、リモコン種別の設定が「ビデオ4」「ビデオ5」で動作する当社製ビデオデッキを接続された場合は、本機のタイマー予約機能は動作しません。連動予約機能を使うか録画機器側でタイマー予約の設定を行ってください。

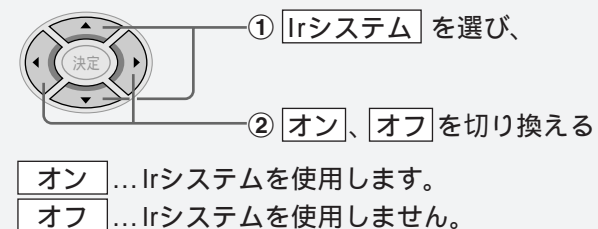
お知らせ

● Irシステムを使用した予約をしている場合は、Irシステムの設定変更はできません。
● テストの信号を送信しながらメーカーの設定などを変えることはできません。テストを実行中にカーソルを移動させると、テストは中止されます。

Irシステムの設定

Irシステムを使用するかしないかの設定を行います。
工場出荷時は「オフ」に設定されています。

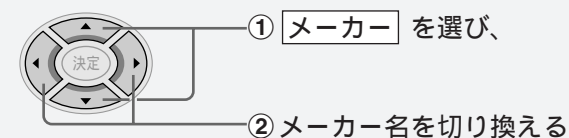
① Irシステム を選び、
② オン、オフ を切り換える

オン …Irシステムを使用します。
オフ …Irシステムを使用しません。

お知らせ

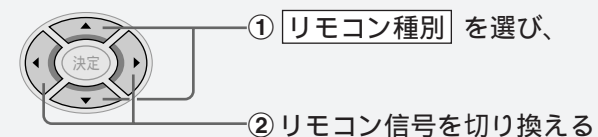
● Irシステムを「オン」にした場合は、メーカーの設定、リモコン種別の設定、外部入力の設定を行い、テストを行ってください。

メーカーの設定

本機に接続している録画機器メーカーを設定します。
本機で設定できる録画機器メーカーは、松下、ビクター、東芝、三菱、三洋、シャープ、ソニー、日立、アイワ、NEC、パイオニアです。(ただし、一部の商品によっては使用できない場合もあります。)
工場出荷時は「松下」に設定されています。

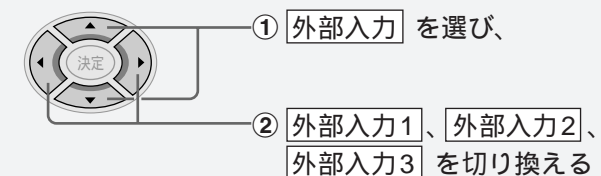
① メーカー を選び、
② メーカー名を切り換える

リモコン種別の設定

録画機器のリモコン信号にはメーカーによって複数ある場合があります。テストを実行しても録画機器が動作しない場合は、他のリモコン信号に切り換えて再度テストを行ってください。
工場出荷時は「ビデオ1」に設定されています。

① リモコン種別 を選び、
② リモコン信号を切り換える

● 各社とも複数のリモコン信号があるため、接続される録画機器が動作するリモコン信号に設定してください。

外部入力の設定

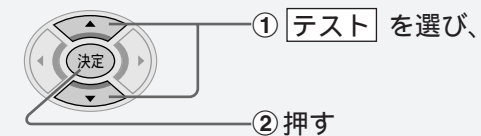
外部入力の設定は、タイマー予約する場合に必要です。メーカーの設定を「松下」にした場合でリモコン種別の設定を「ビデオ1〜3」「DVDレコーダー1〜3」にしたときのみ設定できます。
工場出荷時は「外部入力1」に設定されています。

① 外部入力 を選び、
② 外部入力1、外部入力2、外部入力3 を切り換える

お願い

●「外部入力」の設定は、必ず本機と接続している録画機器の外部入力端子番号に設定してください。この設定を間違えると本機でタイマー予約の設定をしてもBS・110度CSデジタル放送の番組は録画できません。

テスト

本機のIrシステムで録画機器の電源が「入」/「切」できるかどうかのテストを行います。
録画機器側が予約待機状態や予約録画実行中でないときに行ってください。
テストを実行すると録画機器に電源「入」/「切」のリモコン信号を繰り返し送信します。録画機器の電源が「入」/「切」するかどうか確認してください。

① テスト を選び、
② 押す

●「送信中」が表示され、電源「入」/「切」のリモコン信号が繰り返し送信されます。
● 送信を終了したい場合は、再度 決定 ボタンを押してください。

録画機器の電源が「入」/「切」しない場合は

① 録画機器が録画機器のリモコンで「入」/「切」できるか確認してください。
② Irシステムケーブルの接続と設置を確認してください。(26ページ参照)
③ リモコン信号が複数あるメーカーの場合、リモコン種別の設定を変えてみてください。
● テストのリモコン信号を受け付けない録画機器の場合は、本機のIrシステムは使用できません。Irシステムの設定を「オフ」にして、録画機器側で録画操作を行ってください。

リモコン信号の設定

本機のリモコンを使用中、万一本機以外の周辺機器が誤動作する場合には、本機のリモコン信号を変えて誤動作を防止することができます。
リモコン信号はリモコンと本機の両方での設定が必要です。工場出荷時は「A」に設定されていますが、この設定で周辺機器が誤動作しないときは設定変更の必要はありません。必要に応じて次の手順を守り、設定してください。

● 黒色のボタンは、この見開きページの説明で操作するボタンです。

1

❶ 機器ナビ ボタンを押す

❷ ① システム設定 を選び、② 押す

2

① ページ3／3の 初期設定 を選び、
② 3秒以上押す

●「システム設定」のページを送るには、▲▼ボタンでカーソルを移動させていけば、ページの切り換えができます。

3

① ページ2／2の リモコン設定 を選び、
② 押す

●「初期設定」のページを送るには、▲▼ボタンでカーソルを移動させていけば、ページの切り換えができます。

4 ＜リモコン側の設定＞

設定ボタンを先端の細いもので軽く押したまま、右図よりリモコン信号種別に対応するリモコンボタンを押す

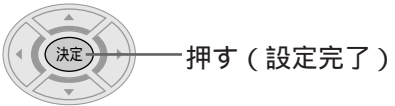
押したまま

リモコン信号種別

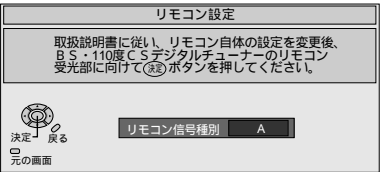
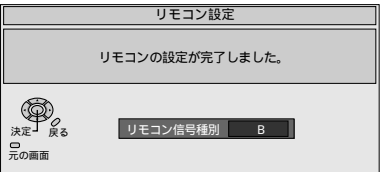
A
B
C

● 先のとがったものは使用しないでください。

5 ＜本機側の設定＞

押す（設定完了）

● リモコン側で設定した値に、本機側が自動設定されます。

（例）

新しく設定されたリモコン信号種別に表示が切り換わり、5秒後に「初期設定」画面へ戻ります。

お願い

●「リモコン設定」画面を表示させない状態でリモコン側の設定が変わると、リモコンで「リモコン設定」画面が表示できなくなります。この場合は**本機前面**の機器ナビボタン、▲▼ボタン、決定ボタンで「リモコン設定」画面を表示させ、手順**5**の操作をしてください。
● リモコン側の設定は乾電池の交換などで解除され「A」に戻る場合がありますので、乾電池交換後は必ず再設定をしてください。

テレビを操作するために

本機のリモコンにテレビメーカーを設定すると、設定したメーカーのテレビの主な操作（電源の入切、テレビ／ビデオの切り換え、チャンネルアップ／ダウン、音量調整）ができます。
ただし、一部動作しないテレビもあります。工場出荷時は松下（新1）に設定されています。

設定手順

設定ボタンを先端の細いもので軽く押したまま、表からテレビメーカーに対応するリモコンのボタンを選び、押してください。
このとき、リモコン上部の赤色表示ランプが点滅した場合、設定ボタンは押された状態になっていませんのでご注意ください。

押したまま

テレビメーカー	対応ボタン	テレビメーカー	対応ボタン
松下（新1）	1	松下（旧）	0
シャープ（II）	2	シャープ（I）	電源
ソニー	3	三菱（I）	∧
東芝	4	パイオニア	＋
日立	5	ビクター	入力切換
NEC（I）	6	NEC（II）	∨
三洋（I）	7	三洋（II）	−
三菱（II）	8	松下（新2）	消音
富士通ゼネラル	9	――――	――

（電源〜消音：テレビ操作用ボタン）

● 同一メーカーで対応ボタンが2種類以上ある場合は、動作する方に設定してください。
ただし、一部動作しないテレビもあります。
● 上記手順で設定した内容は、リモコンの乾電池の交換などで解除され「松下（新1）」に戻る場合がありますので、乾電池交換後は必ず再設定をしてください。
● 接続したテレビにリモコン機能がない場合は、本機のリモコンでも動作しません。

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは、衛星から送られてきたダウンロードデータを本機に取り込む（ダウンロードする）ことにより、本機自体の制御プログラムを書き換える機能です。
ダウンロードは、ダウンロードを行う設定になっていれば**電源オフ**のときに自動的にダウンロードを実行します。
（電源プラグをはずして電源「切」の状態にしないでください。ダウンロードが実行できません。）

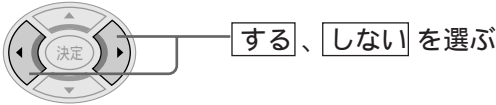
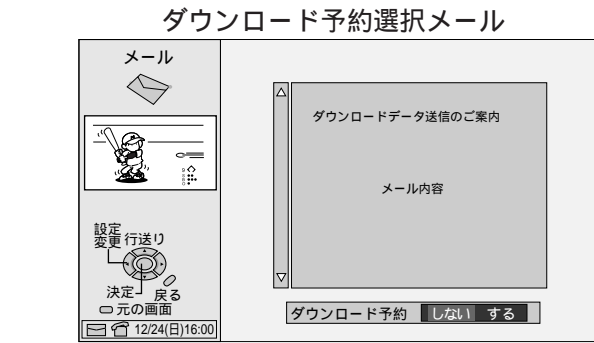
ダウンロードには、大きく分けて2種類あります。
1つは、機能向上などの**重要なダウンロード**、もう1つは、ダウンロードの内容によってお客様がダウンロードするかしないかの**選択ができるダウンロード**です。

- 重要なダウンロード情報が届いた場合、右記の「ダウンロード予約」の設定が「自動」なら、電源オフ状態時に自動的にダウンロードが行われます。
- お客様が選択するダウンロード情報や、右記の「ダウンロード予約」を「手動」に設定している場合に重要なダウンロード情報が届いた場合、ダウンロード予約選択メールが届きます。下記の手順でダウンロード予約の設定を行ってください。

ダウンロード予約選択メールが届いたら

本機に届いたダウンロード予約選択メールから「する」を選択すれば、ダウンロード予約が設定され、電源オフ状態時に、自動的にダウンロードが行われます。

ダウンロード予約選択メール

する、**しない** を選ぶ

する …ダウンロードを行う場合に選びます。
しない …ダウンロードを行わない場合に選びます。

- 戻る ボタンでメールの一覧画面に戻ります。

お知らせ

- ダウンロードは、電源オフにしないと実行されません。
- ダウンロードが終了すると、メールでダウンロードの実行結果が届きます。メールの表示方法については74ページをご覧ください。
- ダウンロードは、悪天候や電源プラグを抜いていると失敗する場合があります。

ダウンロード予約の自動／手動の設定

ダウンロードを行う場合に、重要なダウンロードは自動的に行うか、または、ダウンロード予約選択メールで「する」「しない」を選択してから行うかの設定ができます。工場出荷時は「自動」に設定されています。

1

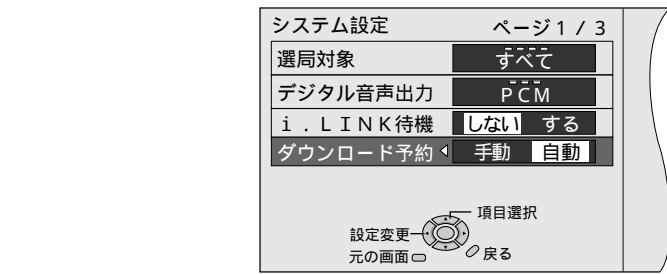
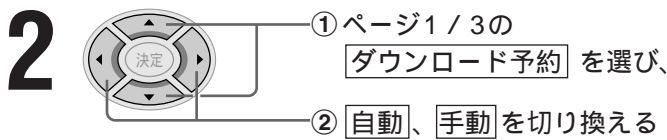
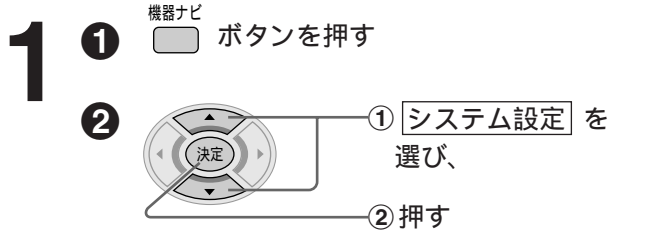
❶ 機器ナビ

ボタンを押す

❷

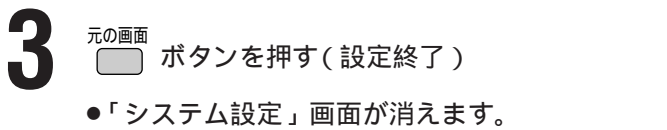
① **システム設定** を選び、
② 押す

2

① ページ1／3の **ダウンロード予約** を選び、
② **自動**、**手動** を切り換える

自動 …重要なダウンロード情報が届けば、電源オフ状態時に自動的にダウンロードを行います。（通常はこの設定でご使用ください。）

手動 …ダウンロード予約選択メールでダウンロードを行うかを選択します。（本機の性能改善など重要なダウンロードの場合でも、自動的には受けられなくなりますのでご注意ください。）

3 元の画面 **ボタンを押す（設定終了）**

- 「システム設定」画面が消えます。

アイコン一覧

本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって表示画面の情報をお知らせします。主なアイコンとその内容は次のとおりです。

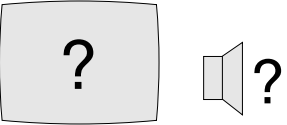
	アイコン	内容	アイコン	内容	アイコン	内容
番組情報関連	テレビ	テレビ放送（映像＋音声）の番組	ラジオ	ラジオ（音声）の番組（デジタルラジオ）	データ	データ放送の番組
	+ⓓテレビ	テレビ放送（映像+音声）番組で番組に合わせたデータ放送を行っているテレビ連動データ放送の番組	ⓓテレビ	テレビ放送（映像＋音声）番組で番組とは別のデータ放送を行っている番組	+ⓓラジオ	ラジオ（音声）番組で番組に合わせたデータ放送を行っているラジオ連動データ放送の番組
	ⓓラジオ	ラジオ（音声）番組で番組とは別のデータ放送を行っている番組	臨時	臨時ニュースなど予定外の番組	信号	映像、音声、データのいずれかを信号切り換えができる番組
	16:9 1125i	番組の映像信号情報（上：アスペクト比、下：信号方式）	字幕	番組の中に字幕（日本語／英語）の情報がふくまれている番組	20才~	視聴年齢制限がある番組（表示される年齢は4～20才まであります）
	デジタル×COPY	デジタルコピーガードがかかっている番組	デジタル1COPY	1回のみデジタルコピーが可能な番組	アナログ×COPY	アナログコピーガードがかかっている番組
	デジタル×出力	デジタル（i.LINK）出力していない番組	アナログ×出力	アナログ（出力1／2、コンポーネントビデオ出力）出力してない番組		
	主	二重音声信号があり「主」を選択している場合	副	二重音声信号があり「副」を選択している場合	主+副	二重音声信号があり「主＋副」を選択している場合
	ステレオ	ステレオ音声の番組	モノラル	モノラル音声の番組	マルチビュー	マルチビュー放送の番組
	有料	有料の信号を含む番組	無料	無料の番組	予	予約している番組
	視聴	「視聴」で予約している番組	録画	「録画」で予約している番組		本機が電話回線を使用中の場合
メール関連		お客様がまだ読まれていないメール（未読メール）		お客様が既に読まれたメール（既読メール）		
視聴制限関連	4才~	視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ設定している視聴可能年齢が表示されます。	有料	一番組限度額の設定より高い金額の番組を選んだ場合に「暗証番号入力」画面へ表示されます。		
予約一覧関連	視聴	予約方式が「視聴」の予約	録画	予約方式が「録画」の予約	録画 Ir	「連動予約」「タイマー予約」で設定した「録画」の予約
	録画 D-VHS	D-VHSビデオデッキで設定した「録画」の予約	録画 HDR	ハードディスクビデオレコーダーで設定した「録画」の予約	録画 i.LINK	外部のi.LINK機器から設定されている予約
	重複	予約時間が重なっており優先順位が低い予約	変更	予約した番組が放送開始時間を変更して予約が実行された番組	済	予約の実行が予定通り終了した予約
	済 メール	予約の実行に問題が起こった予約（メールで確認できます。）	実行中	現在、予約を実行している予約	¥	有料の番組（ペイ・パー・ビューの番組）
	リレー	イベントリレー予約が実行された予約	検索中	予約の開始時刻になっても番組が見つからず検索中の状態		
電話発信記録	i.LINK	i.LINK接続した機器から本機を通じて電話発信を行った				

- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

Name and functionality of principal parts

メッセージ表示一覧

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて「メッセージ」が表示されます。主なメッセージとその内容は下記の通りです。

メッセージ	内容
選局中です。しばらくお待ちください。	選局動作中です。
購入できません。電話の接続・設定を確認のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	購入記録が送信できず、B-CASカードの記録容量を超えている場合などに表示されます。電話回線の接続や設定を確認してください。（25、34ページ参照）
現在、受信できません。	受信するための送信データが異常の場合に表示されます。
視聴できません。 視聴するには、決定ボタンを押してください。	有料番組の購入をしなかった場合などに表示されます。 決定ボタンで、再度選局操作が行えます。
現在、このチャンネルは放送を休止しています。	放送を休止しているチャンネルを選んでいます。
降雨対応放送に切り替わりました。	雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合もあります。
緊急警告放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	緊急警告放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。
B-CASカードを正しく挿入してください。	B-CASカードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。本機専用のB-CASカードを正しく挿入してください。（29ページ参照）
アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	アンテナ電源の異常です。アンテナのケーブル線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか、アンテナ設定でアンテナ電源の設定が間違っていないか確認してください。（107ページ参照）
受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。	アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。

お手入れについて

キャビネットをいためないために次の点にお気をつけください。

- 殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけないでください。
  変質したり、塗料がはげることがあります。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。跡がつくことがあります。
- 汚れは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した布をかたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。

症　状	原因と処置
電源をオンにしたときや選局操作したときに「アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。」と表示され電源ボタン以外のボタン操作ができなくなる	● BS・110度CS-IF入力端子に接続されているアンテナのケーブル線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していませんか。 電源をオフにして、異常個所を調べ原因を取り除いてください。処置後は電源をオンにしたときに「アンテナとの接続に不具合があります。…」と表示されないことを確認してください。 ●「アンテナ設定」で「アンテナ電源」の設定が間違っていませんか。 電源をオフにしてからBS・110度CS-IF入力端子に接続されているケーブルを抜き、電源をオンにして「アンテナ電源」の設定を確認してください。（32ページ参照）
映像も音も出ない	●「アンテナ設定」は正しく設定や調整ができているか確認してください。 （32、33ページ参照） ● テレビ側の入力切り換え（テレビ／ビデオ）は間違っていないか確認してください。 ● 110度CSデジタル放送を受信する場合は、BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナをご使用ください。（22ページ参照） BSデジタル放送のみ受信する場合でも従来のBSアンテナによっては左記症状が出る場合があります。BSデジタルハイビジョンアンテナをご使用ください。
映像や音声が出なくなったり または時々出なくなる 映像が静止したり または時々静止する 映像にブロックノイズ、音声にノイズが出る	● アンテナの向きが、風や振動により変っていませんか、またはアンテナ線の劣化などが考えられます。 「アンテナ設定」で、アンテナ入力レベルが最大になる角度にアンテナを調整してください。（32、33ページ参照） ● 着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。 衛星放送は、雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積ると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどい場合には、全く受信できなくなることがあります。天候の回復を待ってください。 ● 110度CSデジタル放送を受信する場合は、BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナをご使用ください。（22ページ参照） BSデジタル放送のみ受信する場合でも従来のBSアンテナによっては左記症状が出る場合があります。BSデジタルハイビジョンアンテナをご使用ください。 ● 110度CSデジタル放送のチャンネルの中で左記症状が出る場合、110度CSデジタル放送のチャンネルで再度アンテナ入力レベル調整をしてください。アンテナ入力レベルの表示方法は、110度CSデジタル放送を受信中に便利機能ボタンを押して、▲▼ボタンで「アンテナレベル」を選んで決定ボタンを押してください。
有料放送の視聴ができない	● B-CASカードは正しく挿入されているか確認してください。（29ページ参照） ● 有料放送を視聴するための手続きはされていますか。 視聴契約手続きをしてください。 ● 電話回線の接続や設定は正しいか確認してください。（25、34ページ参照）
予約が実行されない	●「視聴」で予約して、電源がオフになっていませんか。 「視聴」で予約した場合、電源をオフにしていると予約が実行されません。オフから予約を実行したい場合は、「録画」で予約してください。（54ページ参照）
チャンネル番号や時刻が画面から消えない	● 画面表示ボタンを押して、画面表示が出る状態に設定していませんか。 チャンネル番号や時刻表示を消しておきたいときは、もう一度画面表示ボタンを押してください。（70ページ参照）
110度CSデジタル放送が受信できない	●「初期設定」の「CS受信選択」が「有効」に設定されているか確認してください。 （45ページ参照）

症　状	原因と処置
リモコンが操作できない	● リモコンの乾電池が消耗していないか確認してください。 ● 乾電池の極性（⊕、⊖）を逆にして入れていないか確認してください。（15ページ参照） ● 番組を予約するときに「録画」で予約した番組を視聴していませんか。「録画」を選択した番組の録画中や視聴中はリモコン操作を受け付けません。中止させたいときは、本機前面の電源ボタンを一度オフにしてから再度オンにしてください。リモコン操作が可能になります。ただし、録画や視聴を中止しても有料番組の場合は料金が請求されます。 ● リモコンの乾電池を交換しませんでしたか。乾電池を交換するとリモコン側の設定が解除される場合があります。本機前面の操作ボタンで「リモコン設定」画面を表示させ、リモコンと本機の設定を合わせてください。（100ページ参照） ● 操作したい機器に向けて、操作していますか。本機を操作するときは本機のリモコン受光部に向け、テレビを操作するときはテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。 ● リモコン側のみリモコン信号の設定変更を行っていませんか。この場合、本機前面の操作ボタンでリモコン信号の設定を行ってください。（100ページ参照） ● ダウンロードを行っていませんか。ダウンロードを行うと本機側のリモコン設定が工場出荷時に戻る場合があります。本機前面の操作ボタンでリモコン信号の設定を行ってください。(100ページ参照)
リモコンで他の機器が誤動作する	● リモコン信号の設定を変えてください。（100ページ参照）
横長映像や縦長映像になる 画面の上下に映像のない部分ができる	●「初期設定」での「接続テレビ設定」が、接続されているテレビに合ってるか確認してください（40～43ページ参照)。 ● ワイドテレビの場合、映像に合った画面モードに設定されていますか。接続されているワイドテレビの画面モードは映像の横縦比が正常に合うモードを選択してください。映像ソフトによっては画面の上下に映像のない部分が出るものもあります。
画面にノイズが出る	● UHF／VHFのアンテナ線が本機や本機のケーブル線と接近していませんか。UHF／VHFのアンテナ線はできるだけ本機や本機のケーブル線と離してください。また、UHF／VHFのアンテナ線にフィーダー線を使用していませんか。UHF／VHFのアンテナ線は75Ω同軸ケーブルをお使いください。
字幕や文字スーパーが出ない	●メニューや操作説明画面などを消してください。 ● システム設定の「字幕」や「文字スーパー」が「オフ」に設定されてないか確認してください。（91ページ参照） ● 字幕や文字スーパーのある番組を選局しているか確認してください。字幕の場合、字幕のアイコン（シンボルマーク）が表示された番組を視聴してください。
本機の天面に手を触れると熱い	● 本機は放熱のため天面の一部で温度が高くなります。品質、性能には異常ありません。風通しのよい所に設置してください。テーブルクロスなどで本機の通風孔をふさいだり、本機の上にビデオデッキなど他の機器を置かないでください。
画面に「購入できません。」などが表示され購入または予約ができない状態が続く	● 電話回線が正しく接続されているか確認してください。（25ページ参照） ●「電話設定」が間違っていないか確認してください。（34ページ参照） ● B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。（29ページ参照）

症　状	原因と処置
本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る	● 一部の電話機やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。
電話機にノイズ（雑音）が入る	● 一部の電話機やファクシミリで付属のモジュラー分配器を使用するとこの症状が出る場合があります。市販されている自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。
ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	● 電源をオンにすると、お買い上げいただいたお礼のメッセージが表示されませんか。ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。
Irシステムで録画機器の録画予約ができない	● Irシステムケーブルは正しく設置できているか確認してください。(26ページ参照) ●「Irシステム」の設定は正しいか確認してください。（98ページ参照） ● 録画機器は正しく準備できていますか。録画機器の電源や、ビデオカセットなどは必ず確認してください。
特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる	● 本機とアンテナを接続するとき、BSデジタル放送または110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか。BSデジタル放送または110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBS・110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。
急に画質や音質が少し悪くなった	● 降雨対応放送になっていませんか。雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。
i.LINK対応機器が操作できない	● 本機に対応していないi.LINK対応機器を接続していませんか。本機で制御できるi.LINK対応機器は当社製D-VHSビデオデッキとハードディスクビデオレコーダー合わせて2台です。 ● i.LINK接続設定で「使用」を「する」に設定されているか確認してください。（88ページ参照）
音声は出るが、チャンネルや番組によって映像が出ないまたは乱れた映像になる	● 本機のコンポーネントビデオ出力端子を使用していませんか。D端子出力設定がまちがっていないか確認してください。（42ページ参照） （例1）42ページに記載の当社製テレビなどの1125i方式のみに対応しているコンポーネントビデオ入力端子のテレビに接続している場合に、D端子出力設定を「1125i固定」以外にしていると、1125i方式以外の方式（750p、525p、525i）で放送されるチャンネルの映像が正しく表示されません。 （例2）D1映像端子のテレビに接続している場合に、D端子出力設定を「D3」にしていると、デジタルハイビジョン放送のチャンネルの映像が正しく表示されません。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず､お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は､サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは､「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このBS・110度CSデジタルハイビジョンチューナーの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

- 107〜109ページの表に従ってご確認のあと、直らないときはまず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー
品　番	
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

拠点	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

拠点	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	(0243)34-1301

首都圏地区

拠点	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-0171

中部地区

拠点	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	(059)255-1380

近畿地区

拠点	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

拠点	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	(083)986-4050

四国地区

拠点	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	(089)971-2144

九州地区

拠点	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	(0997)53-5101

沖縄地区

拠点	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0602